

平成22年6月24日

杏林大学外国語学部中国学科設置届出書

学校法人 杏林学園

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部の学科の設置							
フリガナ設置者	ガッコウキョリン ヲリンガクイン 学校法人 杏林学園							
フリガナ大学の名称	キョリンダいがく 杏林大学 (Kyorin University)							
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目20番2号							
大学の目的	<p>本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	外国語学部 (Faculty of Foreign Studies)	4	30	年次人	150	学士(中国語コミュニケーション学)	第1年次	東京都八王子市宮下町476番地
	中国語学科 (Department of Chinese Communication)			第3年次				
	計							
		30	15	150				
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	<p>保健学部 作業療法学科 平成23年4月学科設置予定(平成22年6月届出)</p> <p>外国語学部 英語学科[定員増] (10)</p> <p>外国語学部 中国語・日本語学科(廃止) (40) (3年次編入学定員) (13) 平成23年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は平成25年4月学生募集停止)</p> <p>外国語学部 応用コミュニケーション学科(廃止) (40) (3年次編入学定員) (2) 平成23年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は平成25年4月学生募集停止)</p>							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	外国語学部中国語学科	109科目	126科目	2科目	237科目	124単位		

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼任 教員		
			教授	准教授	講師	助教	計			助手
新 設 分	外国語学部		5	0	5	0	10	0	30	平成22年6月設 置届出
	中国語学科		(8)	(0)	(5)	(0)	(13)	(0)	(30)	
	計		5	0	5	0	10	0	30	
			(8)	(0)	(5)	(0)	(13)	(0)	(30)	
既 設	医学部		63	44	47	233	387	0	182	
	医学科		(63)	(44)	(47)	(233)	(387)	(0)	(182)	
組 織	保健学部		10	5	9	10	34	0	4	
	臨床検査技術学科		(10)	(5)	(9)	(10)	(34)	(0)	(4)	
設 の	保健学部		4	5	5	3	17	0	2	
	健康福祉学科		(4)	(5)	(5)	(3)	(17)	(0)	(2)	
概 要	保健学部		7	10	6	13	36	0	5	
	看護学科		(7)	(10)	(6)	(13)	(36)	(0)	(5)	
分	保健学部		4	4	1	4	13	0	1	
	臨床工学科		(4)	(4)	(1)	(4)	(13)	(0)	(1)	
要	保健学部		5	0	0	8	13	0	4	
	救急救命学科		(5)	(0)	(0)	(8)	(13)	(0)	(4)	
分	保健学部		4	3	3	4	14	0	0	
	理学療法学科		(4)	(3)	(3)	(4)	(14)	(0)	(0)	
概 要	保健学部		4	2	1	7	14	0	0	
	作業療法学科		(4)	(2)	(1)	(3)	(10)	(0)	(0)	
分	総合政策学部		9	8	2	0	19	0	23	
	総合政策学科		(9)	(8)	(2)	(0)	(19)	(0)	(23)	
要	総合政策学部		5	5	1	1	12	0	9	
	企業経営学科		(5)	(5)	(1)	(1)	(12)	(0)	(9)	
分	外国語学部		5	3	1	2	11	0	57	
	英語学科		(5)	(3)	(1)	(2)	(11)	(0)	(57)	
要	外国語学部		7	2	1	0	10	0	7	
	観光交流文化学科		(7)	(2)	(1)	(0)	(10)	(0)	(7)	
	計		127	91	77	285	580	0	294	
			(127)	(91)	(77)	(281)	(576)	(0)	(294)	
	合 計		132	91	82	285	590	0	324	
			(135)	(91)	(82)	(281)	(589)	(0)	(324)	
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種		専 任		兼 任		計		八王子 キャンパスのみ	
	事 務 職 員		46		9		55			
			(46)		(9)		(55)			
	技 術 職 員		0		2		2			
			(0)		(2)		(2)			
図 書 館 専 門 職 員		7		1		8				
		(7)		(1)		(8)				
そ の 他 の 職 員		1		1		2				
		(1)		(1)		(2)				
	計		54		13		67			
			(54)		(13)		(67)			

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	136,727.16m ²	m ²	m ²	136,727.16m ²					
	運 動 場 用 地	14,570.00m ²	m ²	m ²	14,570.00m ²					
	小 計	151,297.16m ²	m ²	m ²	151,297.16m ²					
	そ の 他	34,950.65m ²	m ²	m ²	34,950.65m ²					
合 計	186,247.81m ²	m ²	m ²	186,247.81m ²						
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		74,221.81m ² (74,221.81m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	74,221.81m ² (74,221.81m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	92室	121室	37室	9室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		中国語学科		10 室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	中国語学科	158,011〔53,862〕 (158,011〔53,862〕)	1,535〔668〕 (1,535〔668〕)	206〔44〕 (206〔44〕)	8,663 (8,663)	3,359 (3,359)	0 (0)			
	計	158,011〔53,862〕 (158,011〔53,862〕)	1,535〔668〕 (1,535〔668〕)	206〔44〕 (206〔44〕)	8,663 (8,663)	3,359 (3,359)	0 (0)			
図書館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
		5,342.13m ²		681	439,225					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
		12,894.53m ²		野球場一面 テニスコート8面 弓道場1 アーチェリー練習場1						
経費の 見積り 及び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費の中には、電子ジャーナル・データベースの費用を含んでいる。
		教員1人当り研究費等		708千円	708千円	708千円	708千円	千円	千円	
		共同研究費等		0千円	0千円	0千円	0千円	千円	千円	
		図書購入費	9,467千円	9,508千円	9,633千円	9,764千円	9,902千円	千円	千円	
	設備購入費	10,127千円	10,254千円	10,385千円	10,518千円	10,654千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,173千円	920千円	920千円	920千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。							

既設大学等の状況	大学の名称	杏林大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	医学部								
	医学科	6	111		576	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
	保健学部								
	臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛生学)	1.22	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	健康福祉学科	4	40	2年次 6 3年次 4	186	学士 (保健衛生学)	1.32	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	看護学科	4	100	2年次 2 3年次 8	382	学士 (看護学)	1.14	H6年度	東京都三鷹市新川 6丁目20番2号
	臨床工学科	4	40	-	160	学士 (臨床工学)	1.27	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救命学)	1.23	H19年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	理学療法学科	4	40	-	80	学士 (理学療法学)	1.21	H21年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	総合政策学部								
	総合政策学科	4	170	3年次10	720	学士 (総合政策学)	1.20	S59年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	企業経営学科	4	100	3年次 5	450	学士 (企業経営学)	1.14	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	外国語学部								
	英語学科	4	110	3年次 5	455	学士 (文学)	1.18	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	中国語・日本語学科	4	40	3年次13	231	学士 (文学)	0.74	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	応用コミュニケーション学科	4	40	3年次 2	390	学士 (文学)	1.09	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	観光交流文化学科	4	70	3年次 3	70	学士 (観光交流文化学)	1.34	H22年度	東京都八王子市 宮下町476番地
	附属施設の概要	該当なし							

別記様式第2号(その2の1)

教 育 課 程 等 の 概 要															
(外国語学部中国語学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 外国語科目	英語 - 1	1前	1											兼1	
	英語 - 2	1後	1											兼1	
	英語 - 1	1前	1											兼1	
	英語 - 2	1後	1											兼1	
	英語 - 1	2前	1											兼1	
	英語 - 2	2後	1											兼1	
	英語 - 1	2前	1											兼1	
	英語 - 2	2後	1											兼1	
	中国語 - 1	1前	1												兼3
	中国語 - 2	1後	1												兼3
	中国語 - 1	1前	1												兼3
	中国語 - 2	1後	1												兼3
	中国語 - 1	2前	1								2				兼1
	中国語 - 2	2後	1								2				兼1
	中国語 - 1	2前	1												兼3
	中国語 - 2	2後	1												兼3
	日本語 - 1	1前			1										兼2
	日本語 - 2	1後			1							1			兼1
	日本語 - 1	1前			1										兼2
	日本語 - 2	1後			1										兼2
	日本語 - 1	1前			1										兼2
	日本語 - 2	1後			1										兼2
	日本語 - 1	2前			1										兼2
	日本語 - 2	2後			1										兼2
	日本語 - 1	2前			1										兼2
	日本語 - 2	2後			1										兼2
	日本語 - 1	2前			1										兼2
	日本語 - 2	2後			1										兼2
	日本語 - 1	2前			1										兼2
	日本語 - 2	2後			1										兼2
日本語 - 1	2前			1										兼2	
日本語 - 2	2後			1										兼2	
小計(30科目)		-	16	14				-			2			兼18	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目A	異文化コミュニケーション	2前	2								1					
	日本文化論	2後		2					1							
	インテンシブ中国語 - 1	1前	1						2		2					
	インテンシブ中国語 - 2	1後	1						2		2					
	インテンシブ中国語 - 1	1前	1												兼2	
	インテンシブ中国語 - 2	1後	1												兼2	
	インテンシブ中国語 - 1	1前	1						1						兼1	
	インテンシブ中国語 - 2	1後	1						1						兼1	
	インテンシブ中国語 - 1	1前	1								2					
	インテンシブ中国語 - 2	1後	1								2					
	実用中国語演習	2前		1								1				
	実用中国語演習	2後		1								1				
	実用中国語演習	2前		1											兼1	
	実用中国語演習	2後		1											兼1	
	発展英語 - 1	3前		1											兼1	
	発展英語 - 2	3後		1											兼1	
	中国語文章表現法 - 1	3前		1											兼1	
	中国語文章表現法 - 2	3後		1											兼1	
	中国語聴解・討論 - 1	3前		1											兼1	
	中国語聴解・討論 - 2	3後		1											兼1	
	ゼミナール - 1	3前	2							3		2				
	ゼミナール - 2	3後	2							3		2				
	ゼミナール - 3	4前	2							3		2				
	卒業論文・課題指導	4通		4						3		2				
小計(24科目)	-		16	16	0				4		3				兼6	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目B	中国語学概論 - 1	2前	2												兼1
	中国語学概論 - 2	2後	2												兼1
	中国語音声学 - 1	3前	2						1						
	中国語音声学 - 2	3後	2						1						
	中国語コミュニケーション論 - 1	3前	2						1						
	中国語コミュニケーション論 - 2	3後	2						1						
	中国語通訳概論 - 1	2前	2								1				
	中国語通訳概論 - 2	2後	2								1				
	中国語翻訳概論 - 1	2前	2						1						
	中国語翻訳概論 - 2	2後	2						1						
	中国文学史 - 1	2前		2					1						
	中国文学史 - 2	2後		2					1						
	中国古典概説 - 1	2前		2											兼1
	中国古典概説 - 2	2後		2											兼1
	日中比較文化論 - 1	2前		2					1						
	日中比較文化論 - 2	2後		2					1						
	日中コミュニケーション研究 - 1	3前		2											兼1
	日中コミュニケーション研究 - 2	3後		2											兼1
	中国経済概論 - 1	3前		2											兼1
	中国経済概論 - 2	3後		2											兼1
	アジア経済論	3後		2											兼1
	中国政治外交論	3前		2											兼1
	実践中国語演習 - 1	3前		1											兼1
	実践中国語演習 - 2	3後		1											兼1
	実践中国語演習 - 1	3前		1											兼1
	実践中国語演習 - 2	3後		1											兼1
	実践中国語演習 - 1	4前		1											兼1
	実践中国語演習 - 2	4後		1											兼1
	実践中国語演習 - 1	4前		1											兼1
	実践中国語演習 - 2	4後		1											兼1
	時事中国語 - 1	3前		1							1				
	時事中国語 - 2	3後		1							1				
	商業中国語 - 1	3前		1											兼1
	商業中国語 - 2	3後		1											兼1
小計 (34科目)	-		20	36	0		-		2		1			兼10	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 関連 科目 A	比較文化論 - 1	2前		2											兼1
	比較文化論 - 2	2後		2											兼1
	比較文化論 - 1	2前		2											兼1
	比較文化論 - 2	2後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	2前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	2後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	2前		2							1				
	地域圏研究 - 2	2後		2							1				
	地域圏研究 - 1	2前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	2後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	2前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	2後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	2前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	2後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	2前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	2後		2											兼1
	国際関係論	2前		2											兼1
	国際関係論	2後		2											兼1
	経済原論	1前		2											兼1
	経済原論	1後		2											兼1
	西洋史 - 1	1前		2											兼1
	西洋史 - 2	1後		2											兼1
	中国史 - 1	1前		2											兼1
	中国史 - 2	1後		2											兼1
	日本史 - 1	1前		2											兼1
	日本史 - 2	1後		2											兼1
	言語学 - 1	1前		2											兼1
	言語学 - 2	1後		2											兼1
	言語と文化 - 1	1前		2											兼1
	言語と文化 - 2	1後		2											兼1
	神話学 - 1	1前		2											兼1
	神話学 - 2	1後		2											兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	1前		2											兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	1後		2											兼1
	英語総合講座 - 1	1前		2											兼1
	英語総合講座 - 2	1後		2											兼1
	英語特論 - 1	1前		2											兼1
	英語特論 - 2	1後		2											兼1
	コミュニケーション概論 - 1	1前	2												兼1
	コミュニケーション概論 - 2	1後	2												兼1
	基礎演習 - 1	1前	1									1			
	基礎演習 - 2	1後	1									1			
キャリア指導 - 1	2前	1							1						
キャリア指導 - 2	2後	1							1						
キャリア指導 - 1	3前	1												兼1	
キャリア指導 - 2	3後	1												兼1	
ホスピタリティ実習 - 1	1前	1												兼1	
ホスピタリティ実習 - 2	1後	1												兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	インターンシップ	2前		1											兼1
	インターンシップ	2後		1											兼1
	インターンシップ	2前		1											兼1
	インターンシップ	2後		1											兼1
	小計(52科目)	-	12	80	0	-			1		2				兼23 -
専門 関連 科目 B	ドイツ語 - 1	2前		1											兼1
	ドイツ語 - 2	2後		1											兼1
	ドイツ語 - 1	2前		1											兼1
	ドイツ語 - 2	2後		1											兼1
	ドイツ語 - 1	3前		1											兼1
	ドイツ語 - 2	3後		1											兼1
	フランス語 - 1	2前		1											兼1
	フランス語 - 2	2後		1											兼1
	フランス語 - 1	2前		1											兼1
	フランス語 - 2	2後		1											兼1
	フランス語 - 1	3前		1											兼1
	フランス語 - 2	3後		1											兼1
	スペイン語 - 1	2前		1											兼1
	スペイン語 - 2	2後		1											兼1
	スペイン語 - 1	2前		1											兼1
	スペイン語 - 2	2後		1											兼1
	スペイン語 - 1	3前		1											兼1
	スペイン語 - 2	3後		1											兼1
	インドネシア語 - 1	2前		1											兼1
	インドネシア語 - 2	2後		1											兼1
	インドネシア語 - 1	2前		1											兼1
	インドネシア語 - 2	2後		1											兼1
	インドネシア語 - 1	3前		1											兼1
	インドネシア語 - 2	3後		1											兼1
	韓国語 - 1	2前		1											兼1
	韓国語 - 2	2後		1											兼1
	韓国語 - 1	2前		1											兼1
	韓国語 - 2	2後		1											兼1
	韓国語 - 1	3前		1											兼1
	韓国語 - 2	3後		1											兼1
	口語英語 - 1	2前		1											兼1
	口語英語 - 2	2後		1											兼1
	口語英語 - 1	1前		1											兼1
	口語英語 - 2	1後		1											兼1
口語英語 - 1	1前		1											兼1	
口語英語 - 2	1後		1											兼1	
口語英語 - 1	1前		1											兼1	
口語英語 - 2	1後		1											兼1	
口語中国語 - 1	1前		1						1					兼1	
口語中国語 - 2	1後		1						1					兼1	
口語中国語 - 1	1前		1						1					兼1	
口語中国語 - 2	1後		1						1					兼1	
口語中国語 - 1	2前		1								1			兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	口語中国語 - 2	2後		1							1					
	口語中国語 - 1	2前		1							1					
	口語中国語 - 2	2後		1							1					
	小計(46科目)	-	0	46	0				2		2				兼13	-
専門関連科目C	哲学 - 1	1前		2											兼1	
	哲学 - 2	1後		2											兼1	
	宗教学 - 1	1前		2											兼1	
	宗教学 - 2	1後		2											兼1	
	歴史学 - 1	1前		2											兼1	
	歴史学 - 2	1後		2											兼1	
	文学 - 1	1前		2											兼1	
	文学 - 2	1後		2											兼1	
	音楽 - 1	1前		2											兼1	
	音楽 - 2	1後		2											兼1	
	日本国憲法	1後		2											兼1	
	法学	1前		2											兼1	
	政治学 - 1	1前		2											兼1	
	政治学 - 2	1後		2											兼1	
	地理学 - 1	1前		2											兼1	
	地理学 - 2	1後		2											兼1	
	経済学 - 1	1前		2											兼1	
	経済学 - 2	1後		2											兼1	
	数学 - 1	1前		2											兼1	
	数学 - 2	1後		2											兼1	
	物理学 - 1	1前		2											兼1	
	物理学 - 2	1後		2											兼1	
	化学 - 1	1前		2											兼1	
	化学 - 2	1後		2											兼1	
	生物学 - 1	1前		2											兼1	
	生物学 - 2	1後		2											兼1	
	心理学 - 1	1前		2											兼1	
	心理学 - 2	1後		2											兼1	
	統計学 - 1	1前		2											兼1	
	統計学 - 2	1後		2											兼1	
	情報処理	1前		2											兼1	
体育理論	1前		2											兼1		
体育実技 - 1	1前		1											兼1		
体育実技 - 2	1後		1											兼1		
	小計(34科目)	-	0	66	0										兼17	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門関連科目D	日本語教育概説	1前		2							1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼3	
	日本語教授法概論	1前		2							1					
	日本語学概論	1前		2					1							
	日本語音声学	1後		2							1					
	日本語文法論	1後		2					1							
	日本語意味論	1前		2					1							
	日本語教材教具論	1前		2												
	試験と評価	1後		2												
	日本語語彙論	1後		2					1							
	日本語文字表記概説	1前		2							1					
	日本語史	1後		2							1					
	日本人の言語行動	1前		2					1							
	異文化理解とコミュニケーション	1後		2												
	日本語教授法演習	1後		1												
	日本語教育実習	1後		1												
	日本語学演習	1後		1							1					
	日本語教育演習	1前		1							1					
小計(17科目)		-	0	30	0			-	2		3			兼3	-	
専門関連科目E	他学部設置科目															
合計(237科目)		-	64	288	0			-	5		5				兼72	-
学位又称号		学士(中国語コミュニケーション学)				学位又は学科の分野			文学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
124単位以上を修得しなければならない。 専門外国語科目は英語及び中国語(留学生は日本語から8単位選択)必修16単位 (履修科目の登録の上限:24単位(学期))								1学年の学期区分			2		期			
								1学期の授業期間			15		週			
								1時限の授業時間			90		分			

教 育 課 程 等 の 概 要																
(外国語学部中国語・日本語学科)																
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 外 国 語 科 目	英語 - 1	1前	1												兼1	
	英語 - 2	1後	1												兼1	
	英語 - 1	1前	1												兼1	
	英語 - 2	1後	1												兼1	
	英語 - 1	2前	1												兼1	
	英語 - 2	2後	1												兼1	
	英語 - 1	2前	1												兼1	
	英語 - 2	2後	1												兼1	
	中国語 - 1	1前	1							1						兼2
	中国語 - 2	1後	1							1						兼2
	中国語 - 1	1前	1							1						兼2
	中国語 - 2	1後	1							1						兼2
	中国語 - 1	2前	1									2				兼1
	中国語 - 2	2後	1									2				兼1
	中国語 - 1	2前	1													兼3
	中国語 - 2	2後	1													兼3
	日本語 - 1	1前		1												兼2
	日本語 - 2	1後		1								1				兼1
	日本語 - 1	1前		1												兼2
	日本語 - 2	1後		1												兼2
	日本語 - 1	1前		1												兼2
	日本語 - 2	1後		1												兼2
	日本語 - 1	2前		1												兼2
	日本語 - 2	2後		1												兼2
	日本語 - 1	2前		1												兼2
	日本語 - 2	2後		1												兼2
	日本語 - 1	2前		1												兼2
	日本語 - 2	2後		1												兼2
	日本語 - 1	2前		1												兼2
	日本語 - 2	2後		1												兼2
	日本語 - 1	2前		1												兼2
	日本語 - 2	2後		1												兼2
	インテンスイブ中国語 - 1	1前		1						2		2				
	インテンスイブ中国語 - 2	1後		1						2		2				
	インテンスイブ中国語 - 1	1前		1												兼2
	インテンスイブ中国語 - 2	1後		1												兼2
	インテンスイブ中国語 - 1	1前		1						1						兼1
	インテンスイブ中国語 - 2	1後		1						1						兼1
インテンスイブ中国語 - 1	2前		1								2					
インテンスイブ中国語 - 2	2後		1								2					
小計(38科目)		-	16	22	0				2		3				兼19	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 A	日本文化論	2前	2						1						兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼2 兼2 兼2 兼2 兼2 兼4
	異文化交流の実際	2後	2								1				
	民俗学	2前		2											
	東アジア対照言語学 - 1	3前		2							1				
	東アジア対照言語学 - 2	3後		2							1				
	朝鮮半島政治外交論	3前		2							1				
	実務英語 - 1	3前	1												
	実務英語 - 2	3後	1												
	交渉英語 - 1	3前	1												
	交渉英語 - 2	3後	1												
	ゼミナール - 1	3前	2						6		3				
	ゼミナール - 2	3後	2						6		3				
	ゼミナール - 3	4前	2						5		1				
	卒業論文・課題指導	4通		4					5		1				
	小計(14科目)	-	14	12	0				7		3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目B	日本語教育概説 - 1	2前	2								1				
	日本語教育概説 - 2	2後	2								1				
	日本語教授法概論 - 1	3前	2								1				
	日本語教授法概論 - 2	3後	2								1				
	日本語学概論 - 1	3前	2						1						
	日本語学概論 - 2	3後	2						1						
	日本語音声学 - 1	3前		2							1				
	日本語音声学 - 2	3後		2							1				
	日本語文法論 - 1	3前		2					1						
	日本語文法論 - 2	3後		2					1						
	日本語意味論 - 1	3前		2					1						
	日本語意味論 - 2	3後		2					1						
	日本語教材教具論	3前		2											兼1
	試験と評価	3後		2											兼1
	日本語語彙論	3前		2					1						
	日本語文字表記概説	3後		2							1				
	日本語史	3前		2					1						
	日本人の言語行動	3後		2					1						
	異文化理解とコミュニケーション	3前		2											兼2
	社会言語学 - 1	3前		2											兼1
	社会言語学 - 2	3後		2											兼1
	対照言語学 - 1	3前		2											兼1
	対照言語学 - 2	3後		2							1				
	認知言語学 - 1	3前		2											兼1
	認知言語学 - 2	3後		2											兼1
	言語獲得のメカニズム - 1	3前		2											兼1
	言語獲得のメカニズム - 2	3後		2											兼1
	バイリンガル教育論 - 1	3前		2											兼1
	バイリンガル教育論 - 2	3後		2											兼1
	日本語教授法演習 - 1	3前		1											兼1
	日本語教授法演習 - 2	3後		1											兼1
	日本語教育実習 - 1	3前		1											兼1
	日本語教育実習 - 2	3後		1											兼1
	日本語教育実習 - 1	3前		1											兼1
	日本語教育実習 - 2	3後		1											兼1
	日本語学演習 - 1	2前		1							1				
	日本語学演習 - 2	2後		1							1				
	日本語教育演習 - 1	2前		1							1				
	日本語教育演習 - 2	2後		1							1				
小計 (39科目)		-	16	52	0			-	4		3			兼11	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目C	中国語学概論 - 1	2前	2						1						
	中国語学概論 - 2	2後	2						1						
	中国人のコミュニケーションスタイル - 1	3前		2											兼1
	中国人のコミュニケーションスタイル - 2	3後		2											兼1
	中国語音声学 - 1	3前	2						1						
	中国語音声学 - 2	3後	2						1						
	中国語翻訳法 - 1	3前		2							1				
	中国語翻訳法 - 2	3後		2											兼1
	中国語通訳法 - 1	3前		2					1						
	中国語通訳法 - 2	3後		2					1						
	中国語通訳法 - 1	3前		2					1						
	中国語通訳法 - 2	3後		2					1						
	中国の自然地理・風俗習慣	2前	2								1				
	中国思想史	3前		2											兼1
	中国文学史 - 1	3前		2					1						
	中国文学史 - 2	3後		2					1						
	中国古典概説 - 1	3前		2											兼1
	中国古典概説 - 2	3後		2											兼1
	日中比較文化概論	3後		2					1						
	中国経済概論 - 1	3前		2											兼1
	中国経済概論 - 2	3後		2											兼1
	現代中国ビジネス事情	3前		2											兼1
	日中貿易論	3後		2											兼1
	アジア経済論	3後		2											兼1
	中国近現代史 - 1	3前		2											兼1
	中国近現代史 - 2	3後		2											兼1
	中国政治外交論	3前		2											兼1
	実用中国語演習	3前		1							1				
	実用中国語演習	3後		1							1				
	中国語文章表現法 - 1	3前		1											兼1
	中国語文章表現法 - 2	3後		1											兼1
	中国語聴解・討論 - 1	3前		1											兼1
	中国語聴解・討論 - 2	3後		1											兼1
	時事中国語 - 1	3前		1							1				
	時事中国語 - 2	3後		1							1				
	貿易中国語 - 1	3前		1											兼1
	貿易中国語 - 2	3後		1											兼1
	中国語ビジネス会話 - 1	3前	1												兼1
	中国語ビジネス会話 - 2	3後	1												兼1
	中国語情報処理 - 1	3前	1												兼1
	中国語情報処理 - 2	3後	1												兼1
小計(41科目)	-	-	14	54	0				4		2			兼11	-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門関連科目A	比較文化論 - 1	1前		2											兼1
	比較文化論 - 2	1後		2											兼1
	比較文化論 - 1	1前		2											兼1
	比較文化論 - 2	1後		2											兼1
	アメリカ社会論 - 1	1前		2											兼1
	アメリカ社会論 - 2	1後		2											兼1
	中国事情	1前		2											兼1
	韓国事情	1後		2							1				
	地域圏研究 - 1	1前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	1後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	1前		2							1				
	地域圏研究 - 2	1後		2							1				
	地域圏研究 - 1	1前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	1後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	1前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	1後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	1前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	1後		2											兼1
	地域圏研究 - 1	1前		2											兼1
	地域圏研究 - 2	1後		2											兼1
	国際関係論	1前		2											兼1
	国際関係論	1後		2											兼1
	経済原論	1前		2											兼1
	経済原論	1後		2											兼1
	西洋史 - 1	1前		2											兼1
	西洋史 - 2	1後		2											兼1
	中国史 - 1	1前		2											兼1
	中国史 - 2	1後		2											兼1
	日本史 - 1	1前		2											兼1
	日本史 - 2	1後		2											兼1
	言語学 - 1	1前		2											兼2
	言語学 - 2	1後		2											兼2
	言語と文化 - 1	1前		2						1					兼1
	言語と文化 - 2	1後		2						1					兼1
	日中文化交流史 - 1	1前		2											兼1
	日中文化交流史 - 2	1後		2											兼1
	日韓文化交流史 - 1	1前		2							1				
	日韓文化交流史 - 2	1後		2							1				
	神話学	1前		2											兼1
	文化人類学	1後		2											兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	1前		2											兼1
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	1後		2											兼1
英語総合講座 - 1	1前		2											兼1	
英語総合講座 - 2	1後		2											兼1	
英語特論 - 1	1前		2											兼1	
英語特論 - 2	1後		2											兼1	
コミュニケーション概論	1前		2											兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎演習 - 1	1前	1						2		1			兼1	
	基礎演習 - 2	1後	1						2		1			兼1	
	キャリア指導 - 1	2前	1											兼1	
	キャリア指導 - 2	2後	1						1					兼2	
	キャリア指導 - 1	3前	1											兼1	
	キャリア指導 - 2	3後	1						1					兼2	
	ホスピタリティ実習 - 1	1前	1											兼1	
	ホスピタリティ実習 - 2	1後	1											兼1	
	インターンシップ	2前		1											兼2
	インターンシップ	2後		1											兼2
	インターンシップ	2前		1											兼1
	インターンシップ	2後		1						1					
	小計 (59科目)	-	10	96	0				2		2			兼28	-
	専門関連科目 B	ドイツ語 - 1	2前		1										兼2
ドイツ語 - 2		2後		1										兼2	
ドイツ語 - 1		2前		1										兼3	
ドイツ語 - 2		2後		1										兼3	
ドイツ語 - 1		3前		1										兼1	
ドイツ語 - 2		3後		1										兼1	
フランス語 - 1		2前		1										兼4	
フランス語 - 2		2後		1										兼4	
フランス語 - 1		2前		1										兼4	
フランス語 - 2		2後		1										兼4	
フランス語 - 1		3前		1										兼1	
フランス語 - 2		3後		1										兼1	
スペイン語 - 1		2前		1										兼2	
スペイン語 - 2		2後		1										兼2	
スペイン語 - 1		2前		1										兼2	
スペイン語 - 2		2後		1										兼2	
スペイン語 - 1		3前		1										兼1	
スペイン語 - 2		3後		1										兼1	
インドネシア語 - 1		2前		1										兼1	
インドネシア語 - 2		2後		1										兼1	
インドネシア語 - 1		2前		1										兼1	
インドネシア語 - 2		2後		1										兼1	
インドネシア語 - 1		3前		1										兼1	
インドネシア語 - 2		3後		1										兼1	
韓国語 - 1		2前		1										兼2	
韓国語 - 2		2後		1										兼2	
韓国語 - 1		2前		1										兼2	
韓国語 - 2		2後		1										兼2	
韓国語 - 1	3前		1										兼1		
韓国語 - 2	3後		1										兼1		
情報英語	1前		1											兼1	
情報英語	2後		1											兼1	
情報中国語	1前		1											兼1	
情報中国語	2後		1											兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	情報日本語	2前		1											兼1
	口語英語 - 1	2前		1											兼1
	口語英語 - 2	2後		1											兼1
	口語英語 - 1	1前		1											兼1
	口語英語 - 2	1後		1											兼1
	口語英語 - 1	1前		1											兼1
	口語英語 - 2	1後		1											兼1
	口語英語 - 1	1前		1											兼1
	口語英語 - 2	1後		1											兼1
	口語英語 - 1	1前		1											兼1
	口語英語 - 2	1後		1											兼1
	中国語演習 - 1	2前		2											兼1
	中国語演習 - 2	2後		2											兼1
	中国語演習 - 1	2前		2											兼1
	中国語演習 - 2	2後		2											兼1
	中国語演習 - 1	1前		2											兼1
	中国語演習 - 2	1後		2											兼1
	中国語実習 - 1	1前		1							1				
	中国語実習 - 2	1後		1							1				
	中国語実習 - 1	1前		1					1						
	中国語実習 - 2	1後		1					1						
	中国語実習 - 1	1前		1							1				
中国語実習 - 2	1後		1							1					
小計 (57科目)		-	0	63	0				1		2			兼25	-
専門関連科目C	哲学 - 1	3前		2											兼1
	哲学 - 2	3後		2											兼1
	宗教学 - 1	3前		2											兼1
	宗教学 - 2	3後		2											兼1
	歴史学 - 1	3前		2											兼1
	歴史学 - 2	3後		2											兼1
	文学 - 1	3前		2					1						兼1
	文学 - 2	3後		2					1						兼1
	音楽 - 1	3前		2											兼2
	音楽 - 2	3後		2											兼2
	日本国憲法	3後		2											兼2
	法学	3前		2											兼2
	政治学 - 1	3前		2											兼1
	政治学 - 2	3後		2											兼1
	地理学 - 1	3前		2											兼2
	地理学 - 2	3後		2											兼2
	経済学 - 1	3前		2											兼1
	経済学 - 2	3後		2											兼1
	数学 - 1	3前		2											兼2
	数学 - 2	3後		2											兼2
物理学 - 1	3前		2											兼1	
物理学 - 2	3後		2											兼1	
化学 - 1	3前		2											兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
	化学 - 2	3後		2											兼1	
	生物学 - 1	3前		2											兼1	
	生物学 - 2	3後		2											兼1	
	心理学 - 1	3前		2											兼2	
	心理学 - 2	3後		2											兼3	
	統計学 - 1	3前		2											兼2	
	統計学 - 2	3後		2											兼2	
	情報処理	1前		2											兼2	
	体育理論	1前		1											兼2	
	体育実技 - 1	1前		1											兼2	
	体育実技 - 2	1後		1											兼2	
	小計 (34科目)	-	0	65	0				1						兼23	-
専門関連科目D	他学部設置科目															
合計 (282科目)		-	70	364	0				8		5				兼95	-
学位又称号		学士 (文学)			学位又は学科の分野				文学関係							
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
								1学年の学期区分				期				
								1学期の授業期間				週				
								1時限の授業時間				分				

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
英語 - 1		徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指します。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンブランクティスを行います。ダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化します。	
英語 - 2		徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指します。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンブランクティスを行います。ダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化します。	
英語 - 1		徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指します。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンブランクティスを行います。ダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化します。	
英語 - 2		徹底的な英文ダイアローグの音読・暗記を行ないながら、実践的な「使える・話せる英語」の習得を目指します。八王子キャンパスを舞台とした大学生活で遭遇するさまざまな状況を想定したダイアローグで構成されたテキストを用いて、重要表現のパターンブランクティスを行います。ダイアローグ全体を正しい発音で繰り返し音読練習を行い、さらに暗唱することによって英語の語感を養い、英語力を総合的に伸ばすための土台を強化します。	
英語 - 1		PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とします。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。 ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、文法を理解しながら文章全体を正しく読む 語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指します。	
英語 - 2		PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とします。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。 ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、文法を理解しながら文章全体を正しく読む 語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指します。	
英語 - 1		PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とします。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。 ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、文法を理解しながら文章全体を正しく読む 語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指します。	
英語 - 2		PEP#1で培った音声面にリーディングの要素を加え、総合的な英語力をのばすことを目的とします。杏林大学の教員による書き下ろしのテキストを使って演習を行う際、次の4点に留意する。 ディクテーションによってヒアリング力を向上させる、音読練習によって滑らかに朗読する力を養う、文法を理解しながら文章全体を正しく読む 語彙力を強化する。週2回の連続授業を通じて、PEP#2では大学生としての英語基礎力の完成を目指します。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門外国語科目	中国語 - 1	ピンイン、四声など中国語の発音の基礎を中心に習得します。基礎的な語彙・文法事項を少しずつ学んでいきます。聞く、話す、読む、書くバランス良く学ぶ学習方法の確立を目指します。1～4セメスターの2年間、週2コマの授業を行い、中国語の入門から初級・中級までを学びます。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。1～3セメスターでは中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な語彙・文法事項を少しずつ学んでいきます。4セメスターでは、中級レベルの文章読解の訓練を行います。2セメスター終了時には日常挨拶、簡単な対話、初級レベルの文法事項の習得を目指します。4セメスター終了時には日常会話、初級から中級レベルの文法事項の習得を目標とします。「中国語 - 1」と「中国語 - 1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行います。中国語の発音練習からはじめて、単語や文法事項を少しずつ学んでいきます。	
	中国語 - 2	春学期に引き続き、発音の定着を図りつつ、中国語の基本的な語彙・文法事項を学習し、学んだ内容を聞き取れる、読める、話せる、書けることを目指します。「中国語 - 1」、「中国語 - 1」の続きの授業です。春学期同様、「中国語 - 2」と「中国語 - 2」はリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。2セメスター終了時には初級レベルの中国語の習得が可能です。	
	中国語 - 1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学びます。初級レベルの日常会話や、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。「中国語」「中国語」にひきついて基礎の中国語を学びます。「中国語 - 1」と「中国語 - 1」をリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。	
	中国語 - 2	中級レベルの文章を読みこなせる力を養成し、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下敷きに、中級レベルの文章を読みこなせる練習をする。同時に、学んだ文章を活かして、中国語で身近なことについて表現するロールプレーを行う。	
	中国語 - 1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学びます。初級レベルの日常会話や、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。「中国語」「中国語」にひきついて基礎の中国語を学びます。「中国語 - 1」と「中国語 - 1」をリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。	
	中国語 - 2	中級レベルの文章を読みこなせる力を養成し、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下敷きに、中級レベルの文章を読みこなせる練習をする。同時に、学んだ文章を活かして、中国語で身近なことについて表現するロールプレーを行う。	
	中国語 - 1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学びます。初級レベルの日常会話や、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。「中国語」「中国語」にひきついて基礎の中国語を学びます。「中国語 - 1」と「中国語 - 1」をリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。	
	中国語 - 2	中級レベルの文章を読みこなせる力を養成し、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下敷きに、中級レベルの文章を読みこなせる練習をする。同時に、学んだ文章を活かして、中国語で身近なことについて表現するロールプレーを行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日本語 - 1	音として聞き取ったものの意味を調べることができる。・音として聞き取ったものを文字化することができる。・未知の語彙であっても文脈からその意味を類推することができる。・自らの聞き取りの弱点に気づくことができる。・新しく学んだ語彙を発音できる。本授業では、大学生が講義を聞き授業に参加する際に必要な聴解力を身につけることを目標とする。あわせて講義や発表を聞きとる際に必要な漢字・語彙の学習も行う。未知の語彙であっても、音として聞き取り辞書ツールその他で意味や表記を自律的に調べられるようになることも目的とする。	
	日本語 - 2	主として聴解力を向上させるための講座である。大学生が講義や発表を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。本授業では、話されたことがらのなかにでてきた未知の語彙を音として聞きとって調べたり、聞きとれない部分を周囲の状況から類推するなど、大学生が講義を聞くのに必要な聴解力を身につけることを目指す。また、講義や発表を聞くために必要な漢字・語彙の学習も併せて行う。	
	日本語 - 1	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な基礎的な読解技術を身につけることを目指す。本授業では、文章の論理構造に関する知識の学習、情報検索やアウトライン作成などの読解スキルを学ぶ。また、論理的な文章を読むために欠かせない文法に関する知識を学び、比較的短い文章を正確に読むことを目指す。	
	日本語 - 2	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文などの論理的な文章を読むのに必要な基礎的な読解技術を身につけることを目指す。本授業では、文章の論理構造に関する知識の学習、情報検索やアウトライン作成などの読解スキルを学ぶ。また、論理的な文章を読むために欠かせない文法に関する知識を学び、比較的短い文章を正確に読むことを目指す。	
	日本語 - 1	主として書く力を向上させるための講座である。大学生がレポートを書くのに必要な基礎的な作文能力を身につけることを目指す。本授業では、文体と書き言葉、文章の構成、段落内の構成、テーマの述べ方、引用の仕方、意見の述べ方など、論理的文章の作成に必要な基本的技能を学ぶ。また、レポートを書くのに欠かせない文法事項を復習し、文作成練習を行う。	
	日本語 - 2	主として書く力を向上させるための講座である。大学生がレポートを書くのに必要な基礎的な作文能力を身につけることを目指す。本授業では、文体と書き言葉、文章の構成、段落内の構成、テーマの述べ方、引用の仕方、意見の述べ方など、論理的文章の作成に必要な基本的技能を学ぶ。また、レポートを書くのに欠かせない文法事項を復習し、文作成練習を行う。	
	日本語 - 1	主として書く力を向上させるための講座である。この授業では、大学生がレポートや研究発表要旨、卒業論文などを書くのに必要な客観的な文章を書く能力を身につけることを目指す。本授業では、論理的文章の展開パターンや、学術的文章でよく使われる文型や表現を学ぶ。具体的には、引用、図表の提示、原因の考察、同意と反論など、学術論文を書くのに役立つ文型・表現を学習する。	
	日本語 - 2	主として書く力を向上させるための講座である。この授業では、大学生がレポートや研究発表要旨、卒業論文などを書くのに必要な客観的な文章を書く能力を身につけることを目指す。本授業では、論理的文章の展開パターンや、学術的文章でよく使われる文型や表現を学ぶ。具体的には、引用、図表の提示、原因の考察、同意と反論など、学術論文を書くのに役立つ文型・表現を学習する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日本語 - 1	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文、新聞社説等の論理的な文章を読むのに必要な読解力の向上を目指す。本授業では、文章の構造に関する知識や文法知識を学びながら、大意を把握したり、必要な情報を読み取ったりする練習を行う。また、読解のスキルを学び、要約や発表などの課題をこなすことで、読んだ素材の概要をアウトプットする。新聞記事や雑誌記事を主に扱う。学期末の発表は自ら興味をもった記事を探し、背景や内容の説明、問題点の明示、考察を行うものとする。	
	日本語 - 2	主として読解力を向上させるための講座である。大学生が専門書、論文、新聞社説等の論理的な文章を読むのに必要な読解力の向上を目指す。本授業では、文章の構造に関する知識や文法知識を学びながら、大意を把握したり、必要な情報を読み取ったりする練習を行う。また、読解のスキルを学び、要約や発表などの課題をこなすことで、読んだ素材の概要をアウトプットする。新聞記事や雑誌記事を主に扱う。学期末の発表は自ら興味をもった記事を探し、背景や内容の説明、問題点の明示、考察を行うものとする。	
	日本語 - 1	大学生として必要な情報を検索し、実際の学生生活や研究活動に生かすことができる。親しい友人間の携帯メール文とはことなる、一社会人としてふさわしいメール文とはどのようなものか考える。留学生にとっては、日本社会との接点のひとつとして、日本人学生との交流を円滑に進めていく一助となる。日本国内国外を問わず積極的に安全に効果的に移動し、各自専門に関する生きた知識や経験を獲得できるようになる。本授業では、学術的な情報検索を中心に検索実習を行う。また、学生として知っておくべき社会動向に関しても各種メディアのホームページ閲覧を通じて情報検索を行う。授業では、検索演習の他に、検索結果の報告と結果に対する各自の見解を、短く発表することと、短いレポートにして提出することを課す。合わせて、各自が興味のある事柄について積極的に検索し、学生生活に役立てることも目標とする。	
	日本語 - 2	各自の専攻分野に関する学術的な情報検索ができる。親しい友人間の携帯メールとはことなる、一社会人としての大学生らしいメール本文とはどのようなものか考える。日本人学生との交流や討論に役立つような予備知識を得る。国内外の移動が円滑にできるよう準備できる。本授業では、学術的な情報検索を中心とした検索実習を行う。同時に学生として社会とのつながりを認識するために各種メディアのホームページ(以下HPと略す)の閲覧も行う。授業では、ミニ発表とミニレポートの形で、検索の結果と結果に対する各自の見解をまとめる作業も行う。各自が興味のある事柄や知っておくべき事柄を自主的に検索してことを通じて、自律学習の基礎を身につけることを目的とする。合わせて、国内外を問わず、積極的に安全に移動し、専攻分野に関する生きた知識や経験を積むも目標とする。	
	日本語 - 1	当時の時代、社会背景を理解したうえで古典を読み、日本の文化・習慣・価値観などを学ぶ。特に、現代の日本人にとって常識である知識・語彙・慣用句などを強化し、大学・社会に必要な知識を身につけることを目的とする。主に現代語で日本の古典を読む。その基礎知識としての地理、歴史なども学ぶ。前期の範囲は、縄文時代から鎌倉時代初期までで、主に貴族について取り上げる。	
	日本語 - 2	当時の時代、社会背景を理解したうえで古典を読み、日本の文化・習慣・価値観などを学ぶ。特に、現代の日本人にとって常識である知識・語彙・慣用句などを強化し、大学・社会に必要な知識を身につけることを目的とする。主に現代語で日本の古典を読む。その基礎知識としての歴史なども学ぶ。後期の範囲は、平安時代後期から江戸時代後期までで、主に武士と庶民について取り上げる。	
	異文化コミュニケーション	文化的背景の異なる人たちが実際に展開する相互作用としてのコミュニケーション活動には、どのような問題があり、それをいかに解明し、改善策を提示していけばいいのだろうか。そのためには、自文化と相手の異文化の特性を総合的に理解すると同時に、コミュニケーションの過程と構成要素、それらに与える文化の影響に関する知識と理解が必要である。授業では、身近な誤解、失敗、すれ違いに関するケースを題材に学び、異文化コミュニケーションの概念や考え方を理解することを目指す。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日本文化論	日本文化の特色とは何かと考えられるようになることを目標とします。古代から現代に至るまでの日本文化について、言語生活・衣生活・住生活・食生活等々の視点から考察します。異文化交流によって日本文化の何が変わったのか、何が変わらなかったのかということについても考えます。毎回、小レポートを課しますので、必ず翌週に提出してください。	
	インテンシブ中国語 - 1	発音と文法の基礎を固めることが目標です。P・Qクラスは、月曜から金曜まで毎日1コマ、週5コマの授業で、1年間で中国語の初級を学びます。本学部オリジナルテキストを使って、授業時間中に十分な練習ドリルを行うことにより、着実に力が着くようにプログラムされています。春学期は、中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な単語・文法事項を学んでいきます。テキストの約半分を終える予定です。「中国語 - 」「中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行います。	
	インテンシブ中国語 - 2	テキストを学び終わるのが目標です。基礎文法・基本語彙をしっかりと習得しましょう。「中国語 - 」「中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」の続きの授業です。春学期と同様、月曜から金曜まで、毎日1コマ、週5コマの授業があります。授業中に十分な練習ドリルを行うことによって着実に力が着くようにプログラムされています。「中国語 - 2」「中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」はリレー式で授業を行います。	
	インテンシブ中国語 - 1	中国語の基礎の文法や語彙をしっかりと復習して、中国語検定4級合格を目指します。中国語検定4級の受験対策を行います。練習問題を解きながら、文法の総復習や作文練習、文章読解を中心に中国語検定4級受験に必要な中国語の基礎の力を養成します。毎回、課題を解いてきてもらい、授業では答え合わせや間違いの多かった問題・注意すべき項目についての解説を行います。また、授業中に過去問題を数回分解いてもらいます。受講生は必ず中国語検定試験を受験するようにしてください。受講にあたっては、「中国語 - 」を終了していること(あるいは中国語インテンシブコースで1年間学び終えていること)が望ましいです。	
	インテンシブ中国語 - 2	中国語の基礎の語彙や文法事項に加えて、常用性の高い構文を学び、中国語検定3級合格を目指します。中国語検定3級の受験対策を行います。練習問題を解きながら、文法の総復習や作文練習、文章読解に加え、常用性の高い構文についても学ぶなど、中国語検定3級受験に必要な中国語力を養成します。毎回、課題を解いてきてもらい、授業では答え合わせや間違いの多かった問題・注意すべき項目についての解説を行います。また、授業中に過去問題を数回分解いてもらいます。受講生は必ず中国語検定試験を受験するようにしてください。受講にあたっては、中国語検定4級に合格しているかそれと同等の力を有していることが望ましいです。	
	インテンシブ中国語 - 1	発音と文法の基礎を固めることが目標です。P・Qクラスは、月曜から金曜まで毎日1コマ、週5コマの授業で、1年間で中国語の初級を学びます。本学部オリジナルテキストを使って、授業時間中に十分な練習ドリルを行うことにより、着実に力が着くようにプログラムされています。春学期は、中国語の発音の基礎の習得からはじめ、基礎的な単語・文法事項を学んでいきます。テキストの約半分を終える予定です。「中国語 - 」「中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」は同じテキストを使い、リレー式で授業を行います。	
	インテンシブ中国語 - 2	テキストを学び終わるのが目標です。基礎文法・基本語彙をしっかりと習得しましょう。「中国語 - 」「中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」「インテンシブ中国語 - 1」の続きの授業です。春学期と同様、月曜から金曜まで、毎日1コマ、週5コマの授業があります。授業中に十分な練習ドリルを行うことによって着実に力が着くようにプログラムされています。「中国語 - 2」「中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」「インテンシブ中国語 - 2」はリレー式で授業を行います。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目 A	インテンシブ中国語 - 1	中国語の基本的な語彙・文法事項に加えて常用性の高い構文についても学びます。初級レベルの日常会話や、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。「中国語」「中国語」にひきついて基礎の中国語を学びます。「中国語 - 1」と「中国語 - 1」をリレー式で、週2コマ授業を行います。本学部のオリジナルテキストを使って、授業中に十分な練習ドリルを行うことによって、無理なく、着実に力がつくようにプログラムされています。	
	インテンシブ中国語 - 2	中級レベルの文章を読みこなせる力を養成し、身近なことを学んだ文型で表現できることを目指します。これまでに学んだ中国語の基本的な語彙・文法項目・構文を下敷きに、中級レベルの文章を読みこなせる練習をする。同時に、学んだ文章を活かして、中国語で身近なことについて表現するロールプレーを行う。	
	実用中国語演習	中国語の基礎の文法や語彙をしっかりと復習して、中国語検定4級合格を目指します。中国語検定4級の受験対策を行います。練習問題を解きながら、文法の総復習や作文練習、文章読解を中心に中国語検定4級受験に必要な中国語の基礎の力を養成します。毎回、課題を解いてきてもらい、授業では答え合わせや間違いの多かった問題・注意すべき項目についての解説を行います。また、授業中に過去問題を数回分解いてもらいます。受講生は必ず中国語検定試験を受験するようにしてください。受講にあたっては、「中国語」を終了していること(あるいは中国語インテンシブコースで1年間学び終えていること)が望ましいです。	
	実用中国語演習	中国語の基礎の語彙や文法事項に加えて、常用性の高い構文を学び、中国語検定3級合格を目指します。中国語検定3級の受験対策を行います。練習問題を解きながら、文法の総復習や作文練習、文章読解に加え、常用性の高い構文についても学ぶなど、中国語検定3級受験に必要な中国語力を養成します。毎回、課題を解いてきてもらい、授業では答え合わせや間違いの多かった問題・注意すべき項目についての解説を行います。また、授業中に過去問題を数回分解いてもらいます。受講生は必ず中国語検定試験を受験するようにしてください。受講にあたっては、中国語検定4級に合格しているかそれと同等の力を有していることが望ましいです。	
	実用中国語演習	中国語検定2級合格を目指す。やや難度の高い文章を読みながら、語彙や文法事項を整理し、作文練習等も行って、中国語検定2級受験に必要な中国語能力を養成する。毎回、課題として中国語の文章を自宅で訳し、授業では、一緒に日本語訳を確認したり、語彙や文法事項の解説を行う。また、授業中に過去問題を数回分解く。受講者は必ず中国語検定試験を受験する必要がある。また、受講者は中国語検定3級に合格しているかそれと同等の能力を有していることが望ましい。	
	実用中国語演習	通訳案内士試験(中国語)合格を目指す。難度の高い文章を読みながら、語彙や文法事項を整理し、作文練習等も行って、通訳案内士試験(中国語)受験に必要な中国語能力ならびに関連分野の知識を深める。過去問題の検討も含めて、幅広い能力を磨く。受講者は必ず通訳案内士試験(中国語)を受験すること。受講者は中国語検定2級に合格しているかそれと同等の能力を有していることが望ましい。	
	発展英語 - 1	プリントや映像資料などの教材を利用して、英語を聞く力・読む力を中心に学習していく。用いる教材は受講者の興味や関心を考慮して選ぶ。ビジネス英語に限定せず、さまざまな英語に触れることで、英語を運用する能力を高める。	
	発展英語 - 2	プリントや映像資料などの教材を利用して、英語を聞く力・読む力を中心に学習していく。用いる教材は受講者の興味や関心を考慮して選ぶ。また、英作文の力について基礎的な訓練を行う。ビジネス英語に限定せず、さまざまな英語に触れることで、英語を運用する能力を高める。聞く力・読む力に加えて、英作文の基礎についても集中的に学習する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語文章表現法 - 1	中国語総合力の更なるレベルアップを図ります。いろいろな中国語の文章表現法を紹介し、中国語で文章を書く能力を高め、これまで学習してきた中国語の知識を実用的なものにしていくことを目的とします。また、勉強を通じて、現在中国の社会情勢と人々の生活の変貌ぶりを知ることができれば、と思っております。	
	中国語文章表現法 - 2	中国語総合力のさらなるレベルアップを図ります。いろいろな中国語の文章表現法を紹介し、中国語で文章を書く能力を高め、これまで学習してきた中国語の知識を実用的なものにしていくことを目的とします。また、勉強を通じて、現在中国の社会情勢と人々の生活の変貌ぶりを知ることができれば、と思っております。	
	中国語聴解・討論 - 1	中国語総合力のさらなるレベルアップを図ります。中国語のカセット・テープやビデオなどを利用して、その背景や、中国の実情、中国の文化、中国人の国民性と考え方もも理解してもらいます。聞く力を向上させる。さらにその内容について、中国語で意見を述べ討論ができるように訓練する。	
	中国語聴解・討論 - 2	中国語総合力のさらなるレベルアップを図ります。中国語のカセット・テープやビデオなどを利用して、その背景や、中国の実情、中国の文化、中国人の国民性と考え方もも理解してもらいます。聞く力を向上させる。さらにその内容について、中国語で意見を述べ討論ができるように訓練する。	
	ゼミナール - 1	中国の各分野に関する基礎知識を身につけること。学期初めの自分の中国語ならびに日本語の運用能力の実態を認識し、1年後には、検定の級で示すなら、1段階上に到達することを目指す。積極的に各活動に参加してゼミ全体の力の向上に貢献する。中国の文化事象についてゼミ生の興味を喚起し、論文のテーマ選定のきっかけを作ることを目指し、各種の資料を読みこんでいきます。また、学外のスピーチコンテストへの参加や、学園祭で発表する語劇の練習をするなど、中国語の運用能力を高める活動を行います。	
	ゼミナール - 2	学園祭での演劇発表を通じて、中国語表現の一層の発展と、忌憚のない議論を闘わせることのできる集団の構築を図る。小論文を書けるようにし、プレゼンテーションの技法を身につける。卒業論文のテーマ決定に向けて各自の意識を高める。9月と10月は、学園祭でのゼミ発表の準備・実施・総括をします。学園祭での演劇発表を通じて、中国語表現の総合学習と、忌憚のない議論を闘わせることのできる集団の構築を図ります。11月以降は、卒業論文の執筆に向けて、小論文の執筆訓練やプレゼンテーションの練習をします。卒業論文のテーマ決定に向けて各自の意識を高めていきます。	
	ゼミナール - 3	論文執筆のための各自の作業を指導に従って進め、第8セメスター修了時には、全員が卒業論文を完成させることを目指します。学園祭では、後輩を指導して、全員で舞台を完成させるためのリーダーシップを発揮することを求めます。論文執筆のための作業を段階を追って進めます。テーマの決定、先行研究の調査方法、立論の方法、執筆上の留意点など、進捗状況に合わせて適宜指導します。毎回の授業では、各自が選んだテーマについての研究の進捗状況について、ゼミメンバーの前で中間発表し、最終的に卒業論文の完成につなげます。学園祭では、3年生が出演する中国語劇の舞台の日本語への同時通訳を担当します。自らの中国語学習の仕上げであるとともに、後輩を指導して、全員で舞台を完成させるためのリーダーシップを発揮することが求められます。	
	卒業論文・課題指導	論文執筆のための個別指導を受けて、論文とはどのようなものかを理解し、第8セメスター修了時には、全員が卒業論文を完成させるように、着実に準備を進めること。論文執筆のための指導をします。テーマの決定、先行研究の調査方法、立論の方法、執筆上の留意点など、進捗状況に合わせて適宜指導します。毎回の授業では、各自が選んだテーマについての研究の進捗状況について、ゼミメンバーの前で中間発表し、最終的に卒業論文を仕上げます。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語学概論 - 1	1セメにおいては、主として漢字の形、音、義について理解させる。1学年で習得した基礎知識をもとに、中国語の諸相、特徴を考察する。	
	中国語学概論 - 2	2セメでは、語法を主に中国語の特徴を理解させる。また中国語法の歴史の変遷に触れる。前期に引き続き中国語の諸相、特徴を考察する。	
	中国語音声学 - 1	北京語の音声の構造を理論的に理解する。実践面では、初・中級者は、日本語母語話者が中国語を学ぶ際に特徴的であると指摘されている発音上の難点の克服を目指す。上級者は、朗読とスピーチの練習を通じて、より高度な音声表現を体得する。中国語を一定程度学んできた諸君を対象にして、中国語の発音について理論と実践の両面から学ぶ。一般音声学と中国語音声学の研究成果にもとづいて、北京語の音声のしくみを理論的に解明する。共通語である「普通話(プートンホワ)」の音声面での基盤が北京語である所以である。実践訓練としては、受講生一人一人の発音の状態をチェックしたうえで、必要な矯正と適切な練習を通して、中国語(普通話)の正しい発音習慣を確立することをめざす。	
	中国語音声学 - 2	北京語の音声の構造を理論的に理解する。実践面では、初・中級者は、日本語母語話者が中国語を学ぶ際に特徴的であると指摘されている発音上の難点の克服を目指す。上級者は、朗読とスピーチの練習を通じて、より高度な音声表現を体得する。本講座は「中国語音声学 - 1」の継続である。中国語を一定程度学んできた諸君を対象にして、中国語の発音について理論と実践の両面から学ぶ。一般音声学と中国語音声学の研究成果にもとづいて、北京語の音声のしくみを理論的に解明する。共通語である「普通話(プートンホワ)」の音声面での基盤が北京語である所以である。実践訓練としては、受講生一人一人の発音の状態をチェックしたうえで、必要な矯正と適切な練習を通して、中国語(普通話)の正しい発音習慣を確立することをめざす。	
	中国語コミュニケーション論 - 1	「コミュニケーション概論」「異文化コミュニケーション」の授業で既に学んだ基礎の上に、日中間の異文化コミュニケーションをどのように実践するかといういわば応用編である。さまざまな情報授受のありかた、メディアに関する知識、ITリテラシー、日中間の異文化コミュニケーションの問題点などを多角的に考察する。また、国際会議における通訳者の役割についての実体験を伴った理解を目指すために、関連講座で扱っている教材を素材にしてそれらの講座内容と有機的に結びつけることによる効果を期したい。	
	中国語コミュニケーション論 - 2	「コミュニケーション概論」「異文化コミュニケーション」の授業で既に学んだ基礎の上に、日中間の異文化コミュニケーションをどのように実践するかといういわば応用編である。さまざまな情報授受のありかた、メディアに関する知識、ITリテラシー、日中間の異文化コミュニケーションの問題点などを多角的に考察する。また、国際会議における通訳者の役割についての実体験を伴った理解を目指すために、関連講座で扱っている教材を素材にしてそれらの講座内容と有機的に結びつけることによる効果を期したい。	
	中国語通訳概論 - 1	基礎的な逐次通訳に必要な中国語の表現力を養成し、逐次通訳の基礎的な技法の習得を目的とする。簡単な逐次通訳演習を通して、中国語の語彙を増やし、構文力を高め、クリアな発音で自然な表現力を身につける。	
	中国語通訳概論 - 2	基礎的な逐次通訳に必要な中国語の表現力を養成し、逐次通訳の基礎的な技法の習得を目的とする。簡単な逐次通訳演習を通して、中国語の語彙を増やし、構文力を高め、クリアな発音で自然な表現力を身につける。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	中国語翻訳概論 - 1	基礎的な翻訳技法を学ぶ。原文の読み込みから正確な複文、定型文への翻訳手順を習得する。	
	中国語翻訳概論 - 2	基礎的な翻訳技法を学ぶ。原文の読み込みから正確な複文、定型文への翻訳手順を習得する。	
	中国文学史 - 1	有史以来唐代までの中国文学の概要を知る。中国の歴史は長いので、その文学史となると、膨大です。この講座では、膨大な中国文学の簡単な見取り図のような情報を提供します。基本的なことさえわかれば、あとは興味の赴くまま、広大な中国文学の山河を迷わずに逍遥できるでしょう。	
	中国文学史 - 2	宋代から清朝末までの中国文学の概要を知る。中国の歴史は長いので、その文学史となると、膨大です。この講座では、膨大な中国文学の簡単な見取り図のような情報を提供します。基本的なことさえわかれば、あとは興味の赴くまま、広大な中国文学の山河を迷わずに逍遥できるでしょう。	
	中国古典概説 - 1	訓点・添え仮名(送り仮名)付の易しい漢文を読解出来る様になることを目標とする。訓読法を用いて中国古典語(漢文)を読解する。	
	中国古典概説 - 2	訓点・添え仮名(送り仮名)付の易しい漢文を読解出来る様になることを目標とする。訓読法を用いて中国古典語(漢文)を読解する。	
	日中比較文化論 - 1	年中行事の比較によって、日中の文化の影響関係を知る。日本と中国は長い交流の歴史があり、漢字を共有するだけでなく、文化の基盤をも共有してきた。例えば、日本における「お月見」は旧暦の八月十五日夜の満月を觀賞し、お団子を食べる習慣であるが、この習慣は中国にもあり、その由来を求めるとどうやら唐代に始まったらしいことがわかる。現代の日中の文化はあまり接点がないかのように見えるが、実はさまざまな点で同じルーツを持っている。この授業では、歳時を通して、日中の文化を比較していきます。	
	日中比較文化論 - 2	年中行事の比較によって、日中の文化の影響関係を知る。日本と中国は長い交流の歴史があり、漢字を共有するだけでなく、文化の基盤をも共有してきた。例えば、日本における「お月見」は旧暦の八月十五日夜の満月を觀賞し、お団子を食べる習慣であるが、この習慣は中国にもあり、その由来を求めるとどうやら唐代に始まったらしいことがわかる。現代の日中の文化はあまり接点がないかのように見えるが、実はさまざまな点で同じルーツを持っている。この授業では、歳時を通して、日中の文化を比較していきます。	
	日中コミュニケーション研究 - 1	この授業を通して、少しでも日本と中国との相互理解を促進することを目指している。日本人と中国人のコミュニケーションの違いについて、講義すると同時に、受講する学生に演習の形で発表してもらったこともある。なお、受講する学生のレベルによっては授業計画内容が前後あるいは変更することもある。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 科 目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	この授業を通して、少しでも日本と中国との相互理解を促進することを目指している。日本人と中国人のコミュニケーションの違いについて、講義すると同時に、受講する学生に演習の形で発表してもらうこともある。なお、受講する学生のレベルによっては授業計画内容が前後あるいは変更することもある。	
	中国経済概論 - 1	計画経済から市場経済への転換に成功し、世界の経済大国に発展した中国経済の軌跡と現状を基礎的に理解する。春学期は国内経済に重点を置く。中華人民共和国は1949年の建国から61年が経過している。この間に経済制度は1978年を境界として、それまでの社会主義計画経済制度から、その後の社会主義市場経済制度へと大きく転換した。現在ではGDP(国内総生産)世界2位、貿易額世界3位の経済大国になった。21世紀に入り経済のグローバル化が進む中で、中国経済の動向は日本を含め、世界経済の動向に大きな影響を与えるようになってきている。このように躍進する中国経済の現状を概説する。春学期では主として国内経済について、全体的な市場経済化の歩み及び計画経済時代と比較しながら、農業、工業、金融、物流など主要分野の現状について説明する。	
	中国経済概論 - 2	計画経済から市場経済への転換に成功し、世界の経済大国に発展した中国経済の軌跡と現状を基礎的に理解する。秋学期は対外経済に重点を置く。中華人民共和国は1949年の建国から61年が経過している。この間に経済制度は1978年を境界として、それまでの社会主義計画経済制度から、その後の社会主義市場経済制度へと大きく転換した。現在ではGDP(国内総生産)世界2位、貿易額世界3位の経済大国になった。21世紀に入り経済のグローバル化が進む中で、中国経済の動向は日本を含め、世界経済の動向に大きな影響を与えるようになってきている。このように躍進する中国経済の現状を概説する。秋学期では主として対外経済について、全体的な市場経済化の歩み及び計画経済時代と比較しながら、貿易、外資導入、対外進出など主要分野の現状について説明する。	
	アジア経済論	地域として捉えた場合の東アジアにおける経済成長・貿易・投資パターンの特徴、および個別の東アジア各国における経済発展の経緯、特性、現在の政策課題に関する理解を深めることを目標とします。東アジアにおける国境を超えたモノ、カネ、ヒトの流れは一層活発化してきています。日本にとっても、東アジア諸国は無視できない輸出市場となり、反対に日本は他の東アジア諸国にとって主要な輸出市場となっています。日本企業は割安な労働力や新たな市場を求めて次々と東アジアに進出し、国際競争力を維持するうえで最適な生産・流通ネットワークをアジア・ワイドで構築し続けています。また、東アジアからは高い賃金を求めて多くの労働者が来日し、日本からも多くのビジネスマンがアジアを訪れています。従来、東アジア各国は経済的な相互依存関係を緊密化させながら経済成長を遂げてきましたが、各国の発展の経緯、成長の成功要因、政治体制、直面している政策課題は必ずしも一様ではありません。本講義では、いま世界の中で最もダイナミックに変化を遂げている東アジアの経済に焦点をあて、同地域における貿易・投資構造の変遷、および各国の経済発展の経緯や特性などについて学びます。	
	中国政治外交論	主に第2次世界大戦以降の中国圏政治外交の動態がテーマである。中国圏の政治外交の歴史的変遷と構造に対する基本的な知識の習得が到達目標である。中国圏の二つの国家、中国と台湾が含まれる。日本にとって、両国は永遠に引越すことの無い隣人達であり、関係のよし悪しにかかわらず今後も付き合い続けざるを得ない相手である。また、日本の経済及び安全保障に直接大きな影響を及ぼす要素でもある。本講義では、第2次世界大戦以降の彼らの政治構造について講じる。特に、中国における目覚ましい経済成長に伴う社会変動をもたらした共産党一党独裁体制の変容や、台湾における自由民主主義体制の確立に伴うエスニティー・アイデンティティー政治について焦点をあてるものとする。	
実践中国語演習 - 1	基礎的な逐次通訳に必要な日本語の表現力を養成し、逐次通訳の基礎的な技法の習得を目的とする。簡単な逐次通訳演習を通して、中国語のリスニング力を養い、日本語の語彙を増やし、自然な表現力を身につける。(通訳:中国語 日本語)		

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	実践中国語演習 - 2	基礎的な逐次通訳に必要な日本語の表現力を養成し、逐次通訳の基礎的な技法の習得を目的とする。簡単な逐次通訳演習を通して、中国語のリスニング力を養い、日本語の語彙を増やし、自然な表現力を身につける。(通訳：中国語 日本語)	
	実践中国語演習 - 1	中国語の文章を正確に読解でき、発想や構文上の特徴を把握し、適切な日本語に訳すプロセスを習得する。(翻訳：中国語 日本語)	
	実践中国語演習 - 2	中国語の文章を正確に読解でき、発想や構文上の特徴を把握し、適切な日本語に訳すプロセスを習得する。(翻訳：中国語 日本語)	
	実践中国語演習 - 1	出迎えから視察見学などのアテンド通訳の基礎的なスキルとマナーを学ぶ。関連知識について理解を深め、定型文をマスターし、訳出する中国語は構文上の大きなミスがなく、その場にふさわしい言葉使いを身につける。(通訳：日本語 中国語)	
	実践中国語演習 - 2	出迎えから視察見学などのアテンド通訳の基礎的なスキルとマナーを学ぶ。関連知識について理解を深め、定型文をマスターし、訳出する中国語は構文上の大きなミスがなく、その場にふさわしい言葉使いを身につける。(通訳：日本語 中国語)	
	実践中国語演習 - 1	各分野の実務翻訳を通して、原文への理解力、専門知識についてのリサーチ能力を養い、こなれた適切な表現力を見つける。(翻訳：日本語 中国語)	
	実践中国語演習 - 2	各分野の実務翻訳を通して、原文への理解力、専門知識についてのリサーチ能力を養い、こなれた適切な表現力を見つける。(翻訳：日本語 中国語)	
	時事中国語 - 1	授業終了時には、中国語の代表的な新聞である「人民日報」等の読解を目標とする。中国語のニュースを正しく読解し、中国語の語感を養い、中国の今を理解するための授業である。中国語のニュースを正確に音読できるように練習をしたうえ、新聞によく用いられる語句や文型の学習に重点を置き、テーマ別に関連記事の読解と応用練習を行う。また、ニュースの背景を理解するための検索方法も指導する。授業は、音読を含めた新聞の常用語句や文型の学習と、最新のトピックや新語の習得の両面から指導を行う。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	時事中国語 - 2	授業終了時には、中国語の代表的な新聞である「人民日報」等の読解を目標とする。中国語のニュースを正しく読解し、中国語の語感を養い、中国の今を理解するための授業である。中国語のニュースを正確に音読できるように練習をしたうえ、新聞によく用いられる語句や文型の学習に重点を置き、テーマ別に関連記事の読解と応用練習を行う。また、ニュースの背景を理解するための検索方法も指導する。授業は、音読を含めた新聞の常用語句や文型の学習と、最新のトピックや新語の習得の両面から指導を行う。	
	商業中国語 - 1	様々なビジネス場面における定型表現をマスターする。中国ビジネスに対する知識を身につける。日中貿易を取り巻く情勢を理解する。様々な実務の場面を想定して、中国語表現を学ぶ。ビジネス書簡・関連文書・ビジネス現場での口頭表現を扱う。	
	商業中国語 - 2	様々なビジネス場面における定型表現をマスターする。中国ビジネスに対する知識を身につける。「商業中国語 - 1」に続く授業である。日中貿易を取り巻く情勢を理解する。様々な実務の場面を想定して、中国語表現を学ぶ。ビジネス書簡・関連文書・ビジネス現場での口頭表現を扱う。	
	比較文化論 - 1	目に見えない、または気づかない現象を認識することができる、またはその試みをする。同時に異文化に対する理解力をもつことを目標とする。文化を考え、学生諸君にそれを比較することの意味を問かける講座である。各時間、文化に係わる現象を取り上げ、日常のなかで、歴史のなかで文化現象がどのようにあらわれてくるのかを考えたい。	
	比較文化論 - 2	目に見えない、または気づかない現象を認識することができる、またはその試みをする。同時に異文化に対する理解力をもつことを目標とする。文化を考え、学生諸君にそれを比較することの意味を問かける講座である。各時間、文化に係わる現象を取り上げ、日常のなかで、歴史のなかで文化現象がどのようにあらわれてくるのかを考えたい。	
	比較文化論 - 1	日本と世界、過去と現在の事物を比較検討して、深い教養を身につける。身近にある事物に対し鋭い問題意識をもって比較文化論の立場から検討をくわえます。コーヒーと紅茶の文化誌、おとぎ話の起源、八王子の歴史、歌謡曲と世相などが講義のテーマになります。このほか興味深いテーマがあれば、随時講義していきます。	
	比較文化論 - 2	外国人の日本研究と日本人の外国体験のあり方を検討し、日本とは何かを考える。外国人の日本研究と日本人の外国体験の問題を中心にすえ、時おり、これ以外の興味深いトピックをとりあげる。中国、朝鮮、西欧の日本研究の諸問題を検討し、日本人の海外体験の問題を述べる。異文化に接した日本人と外国人がどのような比較文化論をのこしたか検討する。	
	地域圏研究 - 1	高校までにほとんど学ぶことがなかったであろう中国近代史を通じて、現代中国を考察する視点を身につけることが到達目標である。中国近代政治史を講義する。中華民国成立前夜から中華人民共和国成立までの政治史の流れが講義の内容である。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	地域圏研究 - 2	高校までにほとんど学ぶことがなかったであろう中国現代史を通じて、現代の中国を考察する視点を身に付けることが到達目標である。中国現代政治史を講義する。中華人民共和国成立から現在までの政治史の流れが講義の内容である。	
	地域圏研究 - 1	今、世界はグローバル化している。EUだけでなく、アジアの方でも東アジア共同体が打ち出されている。もはや各個人は一国の国民でありながら、各国をつなぎ合わせた拡張した領域で生きていかなければならなくなった。このような状況で、日本人・韓国人だけでなくアジア人・世界人として生きていくためには、広い視野をもち、他の国の社会事情を知り、さらに理解することが必要になる。そこで、東アジアの中でも昔から交流があり、歴史的にも深い関係を持つ韓国について、政治・経済・社会・文化・言語・歴史などをその地域特有の事情から理解していく。これは発展的な日韓関係、東アジア共同体構築に向けての広い視野を持つにもつながると考える。	
	地域圏研究 - 2	地域研究1では、韓国人の視野から韓国事情を歴史・政治・経済・文化・言語に分けて考察した。これに引き続き地域研究2では、世界各国ではどのように韓国が研究されているのか、さらに時代ごとにどう変化しているのかを考察し、韓国人の視野とどう異なるかを明らかにし、より総合的・分析的に韓国を理解していく。これはEU、ASEN、東アジア共同体のように、地域共同体化していく21世紀を生きていくために必要な「他の国への理解」なのである。	
	地域圏研究 - 1	It is hoped that through this course students will learn a great deal about the United States and various issues of importance in American society. In the beginning of this course, students will learn about the United States government. Then, we will discuss various complex issues and problems facing American society. Some of the issues that we will deal with have a long history, and as such an effort will be made to provide students with a good deal of background information on these issues. On the other hand, there will also be an attempt to include as much information on current events in the United States as is possible. 和訳 本講義を通して、学生諸君にはアメリカ社会に関わる多くのことを学んでもらいたい。授業ではまず、アメリカ政府について学習し、その後アメリカ社会が直面する複雑かつ多様な諸問題について議論していく。取り上げる問題の中には長い歴史があるものもあり、学生諸君には関連する背景的な情報が多く提供される。また、アメリカにおける時事的な情勢についても扱っていく。	
	地域圏研究 - 2	It is hoped that, through this course, students will learn a great deal about American society. As in the first semester, we will discuss various complex issues facing American society. However, this semester there will be a greater emphasis on current political debate in the United States. As such, when discussing issues, we will often focus on how the two major political parties as well as individual politicians approach these issues. 和訳 本講義を通して、学生諸君にはアメリカ社会に関わる多くのことを学んでもらいたい。春学期は、アメリカ社会が直面する複雑かつ多様な諸問題について議論していくこととなるが、秋学期はアメリカでの最新の政治討論について取り上げる。個人の政治家だけではなく二大政党が諸問題に対してどのようなアプローチをとっているのかということに着目して議論をする予定である。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	地域圏研究 - 1	現在世界的に進行している構造変化にラテンアメリカが与えている影響を理解することで、世界的な構造変化の質を理解することができるが、そのために必要なラテンアメリカと世界史の歴史的な関係を諸段階毎に理解することを目指す。ラテンアメリカを学ぶには、ラテンアメリカが世界史の歩の中でどのような世界的な関係を有してきたかを知ることが重要である。授業では、グローバル化の歴史的起点を「大航海時代」と捉えて、ラテンアメリカがグローバル化のプロセスとどのように関わってきたかを、20世紀前半までの歴史を軸として把握することを目指す。	
	地域圏研究 - 2	授業では、「新自由主義」経済モデルが採用され、その後反「新自由主義」政権が発足したラテンアメリカの主要国における1980年代以後の動向を理解することを目指す。ラテンアメリカにおいては、1990年代末以後に反「新自由主義」を掲げる政権が続々と登場して、このような動向が世界的に大きな構造変化が生じさせてきた。この構造変化をよりよく理解するために主要なラテンアメリカ各国の1980年代以降の現代史を学ぶ。	
	地域圏研究 - 1	政治・経済両面におけるEU設立の意義を理解すること。本講義では、第二次世界大戦以降のヨーロッパの政治および経済の歩みと、ECの形成過程との関連性を見てゆくことによって、90年代に至ってEUを誕生させた現代ヨーロッパの姿を説明します。EUは、今なお、政治における国民国家体系と経済における市場経済との調和点を模索しています。EUを事例として、政治と経済が交錯する現代という時代をも考えてゆきます。	
	地域圏研究 - 2	経済と政治におけるEUの役割を理解すること。本講義では、EUと加盟国から構成されているEUのユニークな仕組みと政策について説明します。EUは、多層的かつ複合的なメカニズムを持つと共に、様々な領域で法を制定し、政策を実施してきました。EUの仕組みと活動を見てゆくことで、現代ヨーロッパにおける国際機構の役割を考えます。	
	地域圏研究 - 1	オセアニアの伝統的社会の在り方や先住民族の文化についての理解を深める。地球の全表面積の3分の1を占める広大な太平洋に点在するオセアニアは、自然環境から、民族、文化、歴史、経済に至るまで極めて多様性に富んだ地域です。前期では、伝統的オセアニアをテーマに、オーストラリア、ニュージーランド、及びメラネシア、ポリネシア、ミクロネシア地域における先住民族の共同体社会やそのアイデンティティの在り方と慣習を、後半は西欧との接触による植民地化の歴史とその影響を、人類学的視点から考察します。授業では、随時撮影した写真や関連のビデオなどからオセアニアを紹介し、その人々や文化、歴史にアプローチしていきます。	
	地域圏研究 - 2	現代オセアニアの国々の社会や文化の在り方を理解する。オーストラリアやニュージーランドという白人が多数を占める先進諸国と、メラネシア、ポリネシア、ミクロネシアにおける先住民族を主体とした発展途上の島嶼国からなるオセアニアは、19世紀後半から20世紀初頭における西欧や日本などによる植民地化を経て、近年に入って形成された若い国々です。II期では、現代オセアニアをテーマに、ネーションとエスニシティとの関わりから、各地域で如何に国家形成が成されていったか、そしてその後の社会的変動がネーションの在り方を如何に変えていったかを、民族関係やその文化の在り方を中心に考察します。授業では、随時ビデオや写真などを見ながら、オセアニアの国々や人々、その文化にアプローチしていきます。	
	国際関係論	国際社会の現状に関する理解と問題意識を高め、問題点のあり方について理解を深めることを目標とする。特に、新聞の国際面で報じられる諸事件の背景や関連性が理解できるようになることを目指す。グローバル化時代における集団安全保障システムのあり方を考えることを目的とする。授業では、国際問題に関する問題意識を養いながら、国際関係が成立した19世紀後半にさかのぼって、冷戦構造が終焉する1980年代までの集団安全保障システムの推移について学ぶ。また、毎回の授業の冒頭で、その週に起きた国際情勢関連の事件について解説する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	国際関係論	国際社会の現状に関する理解と問題意識を高め、問題点のあり方について理解を深めることを目標とする。特に、新聞の国際面で報じられる諸事件の背景や関連性が理解できるようになることを目指す。ポスト冷戦期における国際的な集団安全保障の問題を、国際経済面と国際政治システムの現状を通じて理解することを目指す。また、並行的に地球規模の諸問題(地球温暖化、人口、食糧、水資源、エネルギー資源等)についても学んでいく。毎回の授業の冒頭で、その週に起きた国際情勢関連の事件について解説する。	
	経済原論	新聞やテレビの経済ニュースを理解できるようになると共に、公務員試験への基礎を習得することを目的とする。マクロ経済学の入門講義である。公務員試験を念頭に置いて、好況や不況といった、一国経済の全体的な変動のメカニズム、および政府の財政・金融政策について論ずる。	
	経済原論	経済学的なものの考え方に親しみ、公務員試験への基礎知識を提供する。ミクロ経済学の入門講義である。公務員試験を念頭に置いて、需要と供給のメカニズム、およびその応用について論ずる。また、併せて、経済学的なものの考え方や、分析手法の特徴にも親しんで欲しいと思っている。	
	西洋史 - 1	ヨーロッパ史についての基本的な知識を確立し、政治や社会、文化についての理解を深める。古代ギリシアから中世後期(14世紀)までのヨーロッパ史を概観しながら、歴史とは何かについて考える。ヨーロッパ文明の構成要素として、ギリシア・ローマの古典文化、キリスト教、ゲルマン民族の精神、の三つがあげられる。これら三つが、どのようにしてヨーロッパ世界の形成に貢献してきたかについて考える。また、日本やアジア諸国のお手本としてのヨーロッパ世界が、過去に戦争と統合を繰り返しながら現在に至った点も、明らかにしたい。	
	西洋史 - 2	ヨーロッパ史についての基本的な知識を確立し、政治や社会、文化についての理解を深める。中近世(14~17世紀)のヨーロッパ史を概観しながら、歴史とは何かについて考える。近世ヨーロッパでは、三十年戦争(1618~1648年)とウェストファリア条約の結果、古代・中世から存在した、「ヨーロッパ世界は一つの、統一された世界である」という理想が放棄され、ヨーロッパは個々の主権国家へと分断されていく。ここでは、神聖ローマ帝国やフランス、イングランドなどの諸国が、どのようにして主権国家へと発展し、現在のドイツ、フランス、イギリスの起源となったかについて考える。	
	中国史 - 1	中国古代史上の基礎的な知識を身に付けることを目標とする。中国史全般の基礎は、実に古代史に在る。本講では、中国古代史上の基礎的事項を逐次解説する。	
	中国史 - 2	中国古代史上の基礎的な知識を身に付けることを目標とする。中国史全般の基礎は、実に古代史に在る。本講では、中国古代史上の基礎的事項を逐次解説する。秋学期は戦国時代を対象とする。	
	日本史 - 1	高等学校で日本史を未習の者や留学生の諸君にも、理解できる日本の歴史を講義したい。全てが基本的レベルではないが、わかりやすさを重視するので安心して受講してほしい。本講義は、近代以前の日本史の概説を行う。本年度は、原始・古代の7世紀の大化改新までの歴史の展開を講義する予定。高等学校までの学習とは異なり、具体的史料を用いつつ、「なぜ」「どうして」という考えることを重視する授業を行いたい。	
	日本史 - 2	高等学校で日本史未習の者や留学生諸君にも、理解できるように講義する。だからといって全て基礎的レベルとはいえないが、わかりやすさを第一に講義したい。本年度も昨年度に引き続き、日本近現代史の概説を行う。本年度は、日中戦争下の社会を具体的に考察した上で、アジア・太平洋戦争までの動向を講義する予定。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 関連 科目 A	言語学 - 1	言語学という学問を全く知らない友達に「言語学とはこういうことを研究する分野で、こういう下位分野があり、それぞれ、こういうことを研究しているのだ」ということを、簡潔にでよいので、正確に説明できることを目標にする。「言語学」という学問に馴染みのない受講生を対象に、言語学とはどのようなことを研究しているかを紹介し、体験してもらおうクラス。前期の言語学1と後期の言語学2はつながっているために、合わせて履修することが望ましい。	
	言語学 - 2	言語学という学問を全く知らない友達に「言語学とはこういうことを研究する分野で、こういう下位分野があり、それぞれ、こういうことを研究しているのだ」ということを、簡潔にでよいので、正確に説明できることを目標にする。「言語学」という学問に馴染みのない受講生を対象に、言語学とはどのようなことを研究しているかを紹介し、体験してもらおうクラス。前期の言語学1と後期の言語学2はつながっているために、前期から続けて履修することが望ましい。	
	言語と文化 - 1	この講義によって、言語とは何か、文化とは何かについて考えられるようになり、人間のもつ偏見から解放された物の見方を身につけます。また日本人とは何か、日本語とは何かがわかります。類人猿に文化があるか、動物に言葉があるか、いわゆる文明を知らない民族の風習をビデオで見て、考える。日本人はどこから来たか。日本語はどこから来たか。縄文人、弥生人、アイヌ、ヤマト、倭人は何か。卑弥呼は何語を話していたのか。奈良時代の日本語はどのように書かれていたのか。	
	言語と文化 - 2	人間の知恵はどのように蓄積されはじめ、日本人はそれをどのように変化させたのかを知ることによって、日本の将来、世界の将来について考えることが可能になるでしょう。一見、関係のなさそうなものが、どのような関係にあるかを考えることによって、言葉と文化を観察する。古代人の笑いと愛と涙は現代人のものと違うのかなども考える。	
	神話学 - 1	現代において神話を学ぶことの意味とは何なのか。現代の我々と古代の神話はいかに関わりがあるのか。それをこの授業の中で見つけ出すことが目標である。世界各国の神話を概観し、それぞれの神話に現れるモチーフをまずつかみ、それらが現代の社会や作品においてどのように取り入れられ、あるいは脱神話化されているかを見ていく。なお、授業では、英雄神話と絡んでよく取り扱われるアーサー王伝説や叙事詩なども含めて扱う。	
	神話学 - 2	春学期に引き続いて、世界各国の神話を扱っていくが、春学期よりも個々のモチーフに重点を置いてみていく。地域的に発展したモチーフ、逆に扱われなくなったモチーフについて文化人類学的な視点から考察を行なう。また、現代における神話の定義の問題について考えていくが、その過程で宗教と神話との関係も考察の対象となる。	
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	To raise awareness of issues which affect countries in the developing and developed worlds, while also building on English language skills. This course will explore Global Issues through the lives and work of musicians and singers from a variety of countries. Lectures will deal with the music and life of a particular artist against the backdrop of events in his or her country. 和訳 本講義は、様々な国々出身の歌手やミュージシャンの人生や仕事を題材とし「世界問題」に関して学んでいく。講義では、母国での出来事を背景とした特定のミュージシャンあるいは歌手の音楽や人生について取り上げる予定である。宿題は、講義の中から生じる調査すべき問題について課されることとなるだろう。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	<p>To raise awareness of issues which affect countries in the developing and developed worlds, while also building on English language skills. This course will explore Global Issues through the lives and work of musicians and singers from a variety of countries. Lectures will deal with the music and life of a particular artist against the backdrop of events in his or her country.</p> <p>和訳 本講義は、様々な国々出身の歌手やミュージシャンの人生や仕事を題材とし「世界問題」に関して学んでいく。講義では、母国での出来事を背景とした特定のミュージシャンあるいは歌手の音楽や人生について取り上げる予定である。宿題は、講義の中から生じる調査すべき問題について課されることとなるだろう。</p>	
	英語総合講座 - 1	<p>Students will realize the importance of culture in language use and thus be more proficient in their use of a second and/or third language. This course is designed to improve students' listening comprehension. Each week the instructor will provide a short lecture on a British city which will be repeated with necessary cultural explanations and guidance as well as worksheets to allow students growing understanding of the topics. A secondary goal is exposure to current events and social issues and the way people talk about these topics in English. By the end of the course students should feel confident about listening to a variety of different styles and accents.</p> <p>和訳 本講義は2人の講師が担当するが、初回の授業で担当講師については説明される予定である。授業は学生諸君の聴解力(リスニング力)の向上を目指して組み立てられ、毎週イギリスのある都市に関する簡潔な講義を行い、必要な文化的説明と当該トピックの理解を促進するワークシートが提供される。また、時事情勢や社会問題に触れ、英語でそれらの問題について語ることも目指す。終講までには、多様な話し方や発音を聞き取ることに自信を持つことができるようになっているはずである。</p>	
	英語総合講座 - 2	<p>Students will realize the importance of culture in language use and thus be more proficient in their use of a second and/or third language. Each week students will listen and discuss different aspects of the historic film, and learn new vocabulary & expressions. In classroom activities such as role playing and pair work, students will practice speaking and improve their confidence and speed. Through written work, quizzes, and research, students will improve their grammar, listening skills, and vocabulary.</p> <p>和訳 本講義は2人の講師が担当するが、初回の授業で担当講師については説明される予定である。授業は学生諸君の聴解力(リスニング力)の向上を目指して組み立てられ、毎週イギリスのある都市に関する簡潔な講義を行い、必要な文化的説明と当該トピックの理解を促進するワークシートが提供される。また、時事情勢や社会問題に触れ、英語でそれらの問題について語ることも目指す。終講までには、多様な話し方や発音を聞き取ることに自信を持つことができるようになっているはずである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	英語特論 - 1	<p>Professor Dillon: The purposes of this class are to improve listening comprehension skills in English and increase student awareness of American culture in terms of historical traditions, tourism, and social issues. This class presents a geographical tour of the United States focusing on six major regions, including area highlights, traditions and current issues. Professor Shoji: The goal of this class is to widen students' understanding of how modern and traditional food production affects our daily life and health. Classes will involve PowerPoint lectures and video. Homework will include student preparation for quizzes on class content.</p> <p>和訳 本講義はS. ShojiとT. Dillonの2人が担当するが、初回の授業で最初の担当者について説明される予定である。Shoji講師は「食品」「ワインと文化」について扱い、それらを世界的規模で考察することを第1の目標とする。近代の農業とファーストフードが私たちの健康、社会的交流、教育、そして文化的独自性にどのように影響しているのかを知ることが第2の目標である。テレビ番組や映画クリップを通して、伝統的かつ近代的な食糧事情を考えていく。一方、Dillon講師は「コメディと文化」について扱う。ある特定の文化でおもしろいとされることは、その文化の価値観や視点に関する多くのことを伝えうる。テレビが出てきてから、連続ホームコメディは何億人もの人々が毎週欠かさず見ることとなった。授業では多くの有名な番組からの例を用い、ホームコメディの歴史と要素を考察する。授業は講義とテレビ映像の鑑賞から成り、その感想を書くことと語彙の予習が宿題となる予定である。</p>	
	英語特論 - 2	<p>Professor Dillon: This class aims at improving Listening Comprehension through popular music. The lyrics of English songs provide insights into both language and culture. This class will focus on developing listening comprehension skills through the study of popular songs divided by genre. Each class will involve hearing practice and vocabulary study. Professor Shoji: This class focuses on Adventure travel and global money. Students will learn how their lives are impacted daily by international cultures and businesses. Through international movies students will hopefully gain a better understanding of other people and cultures.</p> <p>和訳 本講義はS. ShojiとT. Dillonの2人が担当するが、初回の授業で最初の担当者について説明される予定である。Shoji講師は「アドベンチャー・トラベル」について扱い、学生諸君が様々なアドベンチャー・トラベルについて学ぶことを目的とする。今日、それは観光事業の中で最も人気のある分野の1つである。第2の目的は、アドベンチャー・スポーツ・文化を組み合わせる旅行計画を立てることである。毎週、映画を通して様々なアドベンチャーに関わる経験を探索していく。一方、Dillon講師は「ポピュラー音楽」を通して聴解力(リスニング力)の向上を図る。英語の歌の歌詞は、言語と文化に対する洞察を与えてくれるため、授業では1950年代、1960年代、1970年代のポピュラー音楽を勉強することを通して、聴解力の向上に焦点を当てていく。毎回の授業では、聞き取り練習と語彙学習を行い、同時に扱うアーティストの人生についても垣間見る予定である。</p>	
	コミュニケーション概論 - 1	<p>コミュニケーションとは何かという問いを解決するために様々なコミュニケーションの現場を丹念に考察していく。わたしたち人間と他の動物たち(特にヒト以外の霊長類)のコミュニケーションの質的な相違を考えることからスタートし、人間のコミュニケーションの諸相を概観しながら、コミュニケーションの背後にあるメカニズムを体系的に考えていく。最終的には<文化>と<ことば>の密接な関係を多くの事例を参考にしながら解き明かしていきたい。</p>	
	コミュニケーション概論 - 2	<p>引き続きコミュニケーションとは何かという問いに応えるべく、さまざまなコミュニケーションの場を考察していく。「語」や「文法」と「自然なコミュニケーション」の間には、大きなギャップが存在していることは誰でもわかるが、それは何かと問われればなかなか答えられない。15回の講義を通して、自分自身の英語・中国語学習を振り返り、より効果的な学習ができるようヒントを少しでも多く得てもらいたい。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	基礎演習 - 1	新入生を対象とし、高校教育から大学教育へのスムーズな移行と基礎力養成を目指す。1 Semesterでは、基礎学力と大学生活に必要な基本的能力の養成に力点を置いた教育を進めていく。基本的にはクラス単位の授業形態を取るが、全クラス合同の授業や、パソコン教室を利用する複数クラス合同のIT授業も取り入れる。クラス単位の授業は、漢字テスト、各回のテーマ、という二部構成とする。漢字検定の資格取得を推奨する。	
	基礎演習 - 2	大学生生活の充実とキャリア指導への橋渡しとする。2 Semesterでは、引き続き基礎学力養成に力点を置くとともに、グループワーク、発表、討論も取り入れて自己を表現し、さらに他者との関わりを深めることも目指す。基本的にはクラス単位の授業形態を取るが、全クラス合同の授業や、パソコン教室を利用する複数クラス合同のIT授業も取り入れる。クラス単位の授業は、漢字テスト、各回のテーマ、という二部構成とする。漢字検定の資格取得を推奨する。	
	キャリア指導 - 1	大学生生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。授業形態は以下の3種類の組合せとなる。各分野の第一線で活躍する人たちを外部講師として招聘し講義していただく。各分野で活躍する卒業生による講義。就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる。	
	キャリア指導 - 2	大学生生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。授業形態は以下の3種類の組合せとなる。各分野の第一線で活躍する人たちを外部講師として招聘し講義していただく。各分野で活躍する卒業生による講義。就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる。	
	キャリア指導 - 1	実際の就職活動をまじかに控え、実業社会の活きた情報に接することで就業意識のさらなる向上を図ることを目的とする。同時に実業社会で求められる一般知識・教養についても学びながら、人間力(特にコミュニケーションスキル)の向上を図る。	
	キャリア指導 - 2	学生諸君の就業意識の涵養、進路に係る心がけ、を目的とし、日本社会の現状を外来講師の先生を中心として抗議します。通常の講義と異なり、毎回、学外から講師をお呼びし、日本の企業、経済、マナー等々の話題を通じて、社会との接点を身につけるテーマを提供します。	
	ホスピタリティ実習 - 1	この講義では対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を確認しながら、サービス産業の産業価値としてのホスピタリティを多面的に考察することが目的です。サービスの生産には人が密接に係わっています。サービスは価値として取引されるものであり、サービスの提供者が求められた役割を遂行するときその人は事業サービスを構成する商品の一つとなります。すなわち、サービス提供者の人格やその人のホスピタリティの良否が商品価値を左右する重要因子となります。現代の日本社会はものつくりの時代から無形のサービスに価値をもとめる時代へとシフトしています。日本のサービス社会では、今や良質のホスピタリティは広範に求められる産業資源のひとつなのです。この講義では対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を確認しながら、サービス産業の産業価値としてのホスピタリティを多面的に考察していきます。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	ホスピタリティ実習 - 2	対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を習得し、サービス産業におけるホスピタリティを多面的に理解することを目的とする。サービスの生産には人間が密接に係わっています。サービスは取引される事業機能であり、従業員が求められた役割を遂行するときその人は事業サービスを構成する商品の一つとしてみなされることとなります。すなわち、従業員の業務機能のみならず人格やその個人のホスピタリティの良否が事業商品の質を左右する重要因子として働きます。現代の日本社会はものづくり社会からサービス社会にシフトしています。サービス社会を考えると、今や良質のホスピタリティは現代社会に広範に求められる産業資源のひとつなのです。この講義では対人関係において必要なマナーやエチケットの基礎を確認しながら、サービス産業の産業価値としてのホスピタリティを多面的に考察していきます。	
	インターンシップ	学生は在学中が、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行う。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外する。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。原則として、インターンシップⅠは国内での企業研修、インターンシップⅡは海外での研修・実習を対象とする。研修・実習を中心として、派遣先・内容に合わせた事前事後指導を担当教員が行う。詳しくはそれぞれのガイダンス(説明会)に参加して確認すること。	
	インターンシップ	学生は在学中が、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行う。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外する。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。原則として、インターンシップⅠは国内での企業研修、インターンシップⅡは海外での研修・実習を対象とする。研修・実習を中心として、派遣先・内容に合わせた事前事後指導を担当教員が行う。詳しくはそれぞれのガイダンス(説明会)に参加して確認すること。	
	インターンシップ	社会人キャリア育成アセスメントの内容を振り返り、ワークショップ形式の講義ならびにプロジェクト学習を通じて、アセスメントで問われていた社会人キャリア力に関する実践的理解を深める。経済産業省が定義する、社会が求める力としての「社会人基礎力」を実践的に学ぶカリキュラムです。「社会人基礎力」を、単に講義を通じた知識として覚えるのではなく、楽しく参加できるワークやインタビューを通じて体感することを目的としています。参加者の方には、カリキュラムの最初と最後に社会人キャリア力育成アセスメントを受けていただきます。結果チャートにより、ご自身の強みや弱みを自己認識した上で、強みを活かし、弱みを強みに変えるきっかけを手に入れていただきたいと考えています。	
	インターンシップ	インターンシップとは、学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことである。ただし、教育実習・医療実習・看護実習等特定の資格取得を目的として実施するものは除外するのが一般的である。職業観・就労意識の醸成、将来のキャリアを考える機会、社会や企業に対する理解度向上、人間的成長、自分自身の適性、持ち味の確認、異世代とのコミュニケーション機会につながることを目標とする。	
	ドイツ語 - 1	ドイツ語文法の基礎(発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、定形第二位)を理解する。はじめてドイツ語を学ぶ学生を対象とします。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解きます。まとめとして練習問題の解説をします。必要に応じて簡単な会話なども学びます。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	ドイツ語 - 2	ドイツ語文法の基礎(発音、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格変化、人称代名詞、定形第二位、定形の後置)を理解する。ドイツ語の初級文法を引き続き学びます。動詞の現在人称変化と名詞の格変化を理解している学生が対象となります。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解きます。まとめとして練習問題の解説をします。必要に応じて簡単な会話なども学びます。	
	ドイツ語 - 1	まずはドイツ語の発音を正確に覚えることを目標にする。初めてドイツ語を学ぶ学生を対象とし、簡易なテキストを用いて、ゆっくりと、確実に、ドイツ語の文法を理解してゆく。	
	ドイツ語 - 2	ドイツ語に慣れる。強いていうなら、ドイツ語検定試験5級に合格可能なドイツ語力。ドイツ語 - 1の続きとなる授業。同じテキストを用いて再帰動詞まで説明する。	
	ドイツ語 - 1	ドイツ語文法(名詞の複数形、形容詞の格変化、助動詞)を理解する。ドイツ語初級文法(動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格支配、人称代名詞)をすでに学んだ学生が対象となります。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解きます。最後に練習問題の解説をします。必要に応じて簡単な会話なども学びます。	
	ドイツ語 - 2	ドイツ語文法(定形の後置、zu不定詞句、分離動詞と非分離動詞、動詞の3要形、現在完了、過去の人称変化、受動文など)を理解する。ドイツ語初級文法(動詞の現在人称変化、名詞の格変化、前置詞の格支配、人称代名詞、数詞、形容詞の格変化、命令文、語法の助動詞)をすでに学んだ学生が対象となります。ドイツ語文法の基礎をゆっくり説明したあとで、練習問題をいっしょに解きます。まとめとして練習問題の解説をします。必要に応じて簡単な会話なども学びます。	
	フランス語 - 1	今までフランス語を学習した経験のない学生を対象として、フランス語の発音や基本的な文法事項の説明と、フランス語を聞き、話し、書く能力を充実させることを目的とします。授業の具体的な目標は、主に、正しいフランス語の発音ができるようになること、動詞の現在形の活用を覚えること、名詞や形容詞の変化や冠詞の使い分けに慣れることなどです。	
	フランス語 - 2	今期の授業では、過去や未来について語ること、関係代名詞を用いて、より複雑な文章を作ること、仮定の表現や丁寧な表現を覚えることなどを具体的な目標にします。「フランス語 - 1」「フランス語」を履修した学生を対象に、引き続きフランス語の発音や基本的な文法事項の習得、またフランス語の文を読み、話し、書く力を養うことを目指します。履修者は「フランス語 - 1」「フランス語」の単位取得者に限ります。	
	フランス語 - 1	目的は、フランス語を自分の道具として使えるようになること。すなわち、1 フランス語で自己紹介する。2 基本動詞の現在形を用いた文を正しく聞き取り、発音し、自分で作文する。3 文法の鍵となる性数の一致や人称と数による変化の仕組みをおおまかに理解する。はじめてフランス語を学ぶ学生を対象に、会話と文法の基礎を学習します。基本的な文を、まずは映像と共に、次は音声だけで、聴き取って理解できるようにします。また発音の規則を守って正しく読むこと、初歩的な文法を用いた文を自分で組み立てて述べることができるように、繰り返し練習します。授業中での反復練習だけでなくしっかりと復習することが必要です。学期中に1度フランスのインターネット事情を紹介する時間をとり、ネット上で提供されているフランスやフランス語に関する情報を扱うための基礎知識を身につけます。また「フランス語圏」について知る機会を持つようにします。実用フランス語検定5級の受験を考えている学生へ対しては指導も行います。積極的な参加の姿勢を求めます。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	フランス語 - 2	フランス語を自分の道具として使えるようになること。具体的には、1 基本動詞の現在形・過去形・未来形を用いた文を聞き取り、発音し、自分で作文する。2 数字を用いた表現を身につける。春学期に引き続き、基本的な会話と文法の基礎を学習します。習った表現を応用して色々なことを話せるよう、実際に声を出して発音し、文を組み立てる練習をします。基本的な単語や動詞の活用などはまずその日のうちに一度暗記してしまうことが大切です。授業の中での反復練習だけでなくしっかり復習することが必要です。学期中に1回、フランス語でカードや手紙を書く練習をする時間を設けます。また フランス語の歌をひとつ覚えて歌えるようにします。実用フランス語検定5級の受験を考えている学生へに対しては指導も行います。頭の中で納得するだけでなく声を出し会話する、自分の手で書いてみる、という積極的な参加の姿勢を求めます。原則的に少なくとも1学期フランス語を学んだ人を対象としますが、この学期から始める人も受け入れます。ただし1学期分を追いつくための相応の自宅学習が必要です。	
	フランス語 - 1	フランス語 を終えた学生を対象に、フランス語の理解や運用の能力をさらに高めるために、過去や未来の様々な時制の表現や仮定法、接続法など、フランス語文法のより高度な事柄を学習します。フランス語 が主に現在の行為や出来事を表現する現在形を扱っていたのに対して、この授業では、様々な過去形や未来形の動詞の使い分けに習熟することを最大の目標とします。履修者は「フランス語 -1、2」「フランス語 -1、2」「フランス語、」の単位取得者に限ります。	
	フランス語 - 2	フランス語 が主に現在の行為や出来事を表現する現在形を扱っていたのに対して、この授業では、様々な過去形や未来形の動詞の使い分けに習熟することを最大の目標とします。フランス語 - 1に引き続き、さらに高度なフランス語文法の学習を通して、より広範なフランス語の理解力や運用能力を身に付けます。この授業では、仮定表現に必要な条件法や主観的な内容を述べる際に用いる接続法、さらに歴史や物語の記述に使う直説法単純過去形などの動詞の使い方を理解し、実際に使えるようになることを主な目標とします。履修者は「フランス語、」の単位取得者に限ります。	
	スペイン語 - 1	At the end of the semester the students will be able to use the grammar learned in the class not only in a written way but also in conversation. At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of Spanish Culture using videos, music and other resources. 和訳 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で自己紹介や基本的な質疑応答ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語 - 2	At the end of the semester the students will be able to use the grammar learned in the class not only in a written way but also in conversation. At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of Spanish Culture using videos, music and other resources 和訳 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で短い会話ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	スペイン語 - 1	At the end of the semester the students will be able to use the grammar learned in the class not only in a written way but also in conversation. At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of Spanish Culture using videos, music and other resources. 和訳 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で自己紹介や基本的な質疑応答ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語 - 2	At the end of the semester the students will be able to use the grammar learned in the class not only in a written way but also in conversation. At this basic level course the students will learn basic notions of the language. At the end of the semester they will be able to introduce themselves, and to make and answer basic questions in Spanish. The teacher will combine grammar classes with the teaching of Spanish Culture using videos, music and other resources 和訳 基礎クラスである本講義ではスペイン語の基礎的な概念を学び、学期終了までにはスペイン語で短い会話ができるようになるだろう。映像・音楽・その他の教材を使い、文法の授業とスペイン文化の指導を組み合わせる予定である。	
	スペイン語 - 1	授業では、読解を中心としながら、文法面では直接法の現在形と過去形の復習、及び未来形の活用と使用法の理解を深めることを目指す。国連公用語の一つであるスペイン語は、アメリカ合衆国におけるヒスパニック系社会の拡大もあり、今や英語、中国語に次ぐ国際語である。授業では、スペイン語文法の修得を中心として基礎から応用へと学んでいく。	
	スペイン語 - 2	スペイン語の応用力(読解力、会話力)の増進を目指す。特に、新聞社会面の読解と、日常会話力の習得を目指す。前期に修得した基礎学力をベースに、さらに単語、熟語を増やして読解力を増進させるとともに、会話にも力を入れる。またスペイン語映画を鑑賞して、スペイン語の聴取能力を高めるとともに、会話力の向上を図る。	
	インドネシア語 - 1	初級インドネシア語の基礎として、基礎会話の能力の取得を目標に学ぶ。そのためにまず、発音をマスターし、よく使う基本単語と日常会話で使われる表現を学ぶ。授業では、発音を繰り返し発音することにより、発音の特徴を覚える。また、日常会話でよく使われる表現を通じて、自然に会話の基礎が身につくように学ぶ。	
	インドネシア語 - 2	インドネシア語 - 1を履修した学生が更に会話能力を高め、簡単な会話が話せるようになることを目標に学ぶ。また、日常会話でよく使われる表現を学びながら、自然に日常会話が身につくようにする。授業では、テキストに沿って旅行の場面場面でよく使われている表現を学び実践力を養う。	
	インドネシア語 - 1	基本的なインドネシア語を理解し、基本的な文章が書けるようになることを目標に学ぶ。インドネシア語の発音の特徴を学びながら、基本的な文章を正確に書けるようにする。授業では、毎回異なる会話のテーマを取り上げるので、この会話を通してインドネシアの生活文化・習慣も学ぶ。また、練習問題をを通してインドネシア語の基本的な理解力アップを図る。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 関連 科目 B	インドネシア語 - 2	インドネシア語 - 1を履修した学生が日常生活に必要なインドネシア語を理解し、口語で表現し、基本的な文章を自分の意思で表現できるよう基本をしっかりと学ぶ。授業では、基本的な文法を少しずつ取り上げながら多くの例文を挙げる。また、練習問題を通して更なるインドネシア語の理解力アップを図る。	
	インドネシア語 - 1	インドネシア語 - 2を履修した学生が更にインドネシア語を理解するため、口語で表現し、自分の意思を文章で表現できるように学ぶ。そして、テキストで学んだ文法事項に加えて読み物も学ぶのでこれらを理解し、インドネシア語の動詞もよく理解することでインドネシア語の総合力アップを図る。授業では、テキストと読み物と練習問題を通して、自分の意思を的確に文章で表現したり話せるように学ぶ。	
	インドネシア語 - 2	インドネシア語 - 1を履修した学生が自分の意思を正確なインドネシア語で話し、書き、読めるように総合的な能力アップを図る。更に動詞をしっかりと覚えましょう。インドネシア語 - 1同様、テキストに加えて練習問題を学ぶので、自分の意思を正確に話し、書き、読めるようにする。	
	韓国語 - 1	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。春学期のための講座である。発音の法則や文法の理解し、会話でよく使われる多様な表現が身に付けられるように学習していく。それにあわせて現代の日常生活に関する韓国文化も紹介する。	
	韓国語 - 2	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。春学期に引き続いて、基本的な韓国語会話を中心に授業を行う。また基本的な文法事項を用いた会話が自由にできるような能力をつけることを目標とする。それにあわせて日常生活等の韓国文化を紹介する。	
	韓国語 - 1	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。韓国語の読み書きができる学習者のための講座である。発音の法則や文法の理解し、会話でよく使われる多様な表現が身に付けられるように学習していく。それにあわせて現代の日常生活に関する韓国文化も紹介する。	
	韓国語 - 2	韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。韓国語は日本語ネイティブにとって一番早く習得できる外国語である。授業では発音や文法に対する説明は最低限にとどめ、すぐに話せることを目標に、韓国語会話の基本フレーズを学習する。	
	韓国語 - 1	比較的高度な韓国語の会話能力を身につけることを目標とする。「聞く」と「話す」の練習を徹底的にする。教科書の中、とくに本文の会話の表現文型を用いて練習し、それによって表現能力を高めると同時に韓国の文化や社会事情を理解する。事前に学習テーマを与え、それをもって話し合うことも試みる。	
	韓国語 - 2	春学期に続き、より高度な韓国語として、自分の考えや感情を相手に伝えられる韓国語コミュニケーション能力を身につけることを目標とする。「聞く」と「話す」の練習を徹底的にする。教科書の中、とくに本文の会話の表現文型を用いて練習し、それによって表現能力を高めると同時に韓国の文化や社会事情を理解する。事前に学習テーマを与え、それをもって話し合うことも試みる。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	口語英語 - 1	<p>The goal of this class is to improve student fluency with the expressions and grammatical patterns used in the “A Practical English Program” textbook. This course is intended for the second year students who wish to further practice under the instruction of a native speaker of English what they have learned in PEP#1 (English I & English II) the previous year. Each classroom session will include review and expansion of PEP#1 vocabulary and expressions, pattern practice and spontaneous speaking activities. The class will also include extra, outside listening comprehension practice. The maximum number of students acceptable for this class is 25, so should there be more applicants appropriate arrangements will be made prior to the commencement of the course.</p> <p>和訳 本講義は、昨年度PEP#1(英語 および英語)で学習したことを、今度はネイティブスピーカーの下でさらに練習を積み重ねたいと希望する2学年の学生を対象としている。毎回の授業は、PEP#1で出てきた語彙や表現の復習と発展、パターン練習、自発的なスピーキング練習から成る。履修者は25名を上限とし、それを超える場合には授業開始前に選考を行うこともある。</p>	
	口語英語 - 2	<p>The goal of this class is to improve student fluency with the expressions and grammatical patterns used in the “A Practical English Program” textbook. This course is intended for the second year students who wish to further practice under the instruction of a native speaker of English what they have learned in PEP#1 (English I & English II) the previous year and in the spring term of this year. Each classroom session will include review and expansion of PEP#1 vocabulary and expressions, pattern practice and spontaneous speaking activities. The class will also include extra, outside listening comprehension practice.</p> <p>和訳 このクラスの目的は、PEPで学んだ表現や文法パターンを実際の会話の中で定着させることにある。特に2年生でPEP# 1のテキストをさらに上級レベルで学びたいと考える学生に適している。</p>	
	口語英語 - 1	<p>オックスフォード在住のネイティブ・スピーカーが、現地で使われている英語や文化・生活習慣についてさまざまな授業を行う(6回)。14回の中の8回は日本人による授業で、ネイティブ・スピーカーによる授業内容を補完する。イギリス、そしてオックスフォードについて、現地の歴史や伝統についての話も交えつつ少しずつ学生を英語での受け答えに慣らしていく。中の6回は遠隔授業で、現地との時差を勘案しながら進めるため、夜間に学校に来てもらうことが前提となる。この授業の一部はオックスフォード海外研修に行く学生のためにもデザインされているが、その他の学生も履修が可能である。</p>	
	口語英語 - 2	<p>オックスフォード在住のネイティブ・スピーカーが、現地で使われている英語や文化・生活習慣についてさまざまな授業を行う(6回)。14回の中の8回は日本人による授業で、ネイティブ・スピーカーによる授業内容を補完する。イギリス、そしてオックスフォードについて、現地の歴史や伝統についての話も交えつつ少しずつ学生を英語での受け答えに慣らしていく。中の6回は遠隔授業で、現地との時差を勘案しながら進めるため、夜間に学校に来てもらうことが前提となる。この授業の一部はオックスフォード海外研修に行く学生のためにもデザインされているが、その他の学生も履修が可能である。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	口語英語 - 1	TOEICのリスニングを中心に行うクラス。460点を取得することが外国語学部では1年次の目標であるが、この授業ではリスニング・セクションで250点を取得できることを目指す。英語I・IIで習った表現などがTOEICのリスニング・セクションに直接出てくることなどを確認し、英語を日本語に訳すのではなく、そのまま英語としての情報処理をするトレーニングを行う。高校程度の知識から大学の知識へ移行する大切な内容なので、予習復習を怠ることなく、英語を毎日聞くという習慣確立のためにも役立ててもらいたい授業である。	
	口語英語 - 2	TOEICのリスニングを中心に行うクラス。500点を取得することが外国語学部では2年次の目標であるが、この授業ではリスニング・セクションで300点以上を取得できることを目指す。英語III・IVで習った表現などがTOEICのリスニング・セクションに直接出てくることなどを確認し、英語を日本語に訳すのではなくそのまま英語としての情報処理をするトレーニングを行う。特にPart IVではビジネスの現場で使用される表現の中でも難易度の高いものも出てくるので、予習復習を怠ることなく、高得点取得のために役立ててもらいたい授業である。	
	口語英語 - 1	この授業は英語合宿を通し、英語漬けの2泊3日を過ごすことにより日本国内に居ながらにして高い英語力を養うことを主眼とする。ネイティブ・スピーカーによるアクティビティ、日本教員による英語での日本紹介のテクニックなど、普段の90分授業では体験できない密度の濃い英語体験を積んでいく。合宿最終日には参加者全員が英語によるプレゼンテーションを行い、それぞれのテーマで取り組んだ合宿の成果を発表する。	
	口語英語 - 2	この授業は英語合宿を通し、英語漬けの2泊3日を過ごすことにより日本国内に居ながらにして高い英語力を養うことを主眼とする。ネイティブ・スピーカーによるアクティビティ、日本教員による英語での日本紹介のテクニックなど、普段の90分授業では体験できない密度の濃い英語体験を積んでいく。合宿最終日には参加者全員が英語によるプレゼンテーションを行い、それぞれのテーマで取り組んだ合宿の成果を発表する。	
	口語中国語 - 1	中国語初級文法を習得したものを対象に、会話中心に授業を展開します。身近な話題を場面ごとに設定し、対話形式で訊く、話す、繰り返して練習することによって、初級レベルの会話力を身に付けることを目指します。中国語の運用力の向上を目標とします。学んだ語彙や文法を日常の様々な場面で表現できることを目指します。	
	口語中国語 - 2	中国語初級文法を習得したものを対象に、会話中心に授業を展開します。身近な話題を場面ごとに設定し、対話形式で訊く、話す、繰り返して練習することによって、初級レベルの会話力を身に付けることを目指します。中国語の運用力の向上を目標とします。学んだ語彙や文法を日常の様々な場面で表現できることを目指します。	
	口語中国語 - 1	初級から中級レベルの学生を対象に、リスニングとスピーキングに重点をおいて授業を進めます。様々なトピックをめぐって、論理的な会話の展開や中国語らしい抑揚のある表現方法を学んでいきます。一つのテーマについて、自分の考えや意見を論理的に且つ中国語らしい発音で表現できることを目指します。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	口語中国語 - 2	初級から中級レベルの学生を対象に、リスニングとスピーキングに重点をおいて授業を進めます。様々なトピックをめぐって、論理的な会話の展開や中国語らしい抑揚のある表現方法を学んでいきます。一つのテーマについて、自分の考えや意見を論理的に且つ中国語らしい発音で表現できることを目指します。	
	口語中国語 - 1	既に習得された中級レベルの文法や語彙を活かして、日常会話から、様々な場面を想定してロールプレーを行い、中国語の発話力、コミュニケーション能力を養う。(中検4級～3級)	
	口語中国語 - 2	既に習得された中級レベルの文法や語彙を活かして、日常会話から、様々な場面を想定してロールプレーを行い、中国語の発話力、コミュニケーション能力を養う。(中検4級～3級)	
	口語中国語 - 1	一つの話題に沿って、中国語で自分の考えをまとめて、大勢の前で堂々とスピーチする、或いはプレゼンテーションを行う能力を養成する。(中検3級～2級)	
	口語中国語 - 2	一つの話題に沿って、中国語で自分の考えをまとめて、大勢の前で堂々とスピーチする、或いはプレゼンテーションを行う能力を養成する。(中検3級～2級)	
	哲学 - 1	本講義はいわば「哲学入門」への「入門」をめざす。「哲学的」に考えるとは、なにをどうすることなのか、これについて徹底的に学ぶことを目的とする。具体的には、古代から近代における代表的な哲学者をテーマとして取り上げ、彼らの論考を追体験しつつ、哲学的思索の特質を把握していく。	
	哲学 - 2	本講義では、哲学的「人間学」について特に取り扱っていく。哲学者ヘラクレイトスとソクラテスによる古代ギリシアにおける「人間学」的展開、人間学の方法、デイルタイとシェーラーの所説に見られる「人間観」「人生観」「世界観」や、身体論、「心」「意識」「自己」などについて議論・思索を進めていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	宗教学 - 1	いわゆる3大宗教を中心に、宗教が現代社会の中でどのような位置を占めどのような形で存在しているかについて受講者が適切な認識を得、それを通じて異文化および自文化に対する理解を深めることを目的とする。現代の日本では、宗教はややもすると「恐いもの」「うさんくさいもの」とみられがちである。しかし、世界の多くの地域では必ずしもそうではない。アメリカ大統領が、就任式で聖書に手を置いて宣誓するなど、宗教はその社会の規範や文化とも結びつく重要な要素とされ肯定的に捉えられている。しかし、そのことがまた宗教がしばしば紛争の種になる理由でもある。そうした点をふまえ、この授業では、世界のおもな宗教について、それらの成り立ちと現代世界の中での存在形態について概観する。	
	宗教学 - 2	受講者が現代日本社会と自らの行動の中に宗教的な要素があることを自覚し、その理由を知ることで、日本の社会文化に対する理解を深めることを目標とする。現代の日本では宗教に対し恐い、うさんくさいなど否定的な印象を持つ人が少なくない。しかし、そうした人々も自分では気づかずに宗教的な行為を行っていることが多い。なぜ、そういう状況があるのか。日本の宗教の歴史から検討する。	
	歴史学 - 1	ハプスブルク帝国とヨーロッパの関係について、基本的な知識を獲得し、ヨーロッパ周辺の世界について理解を深める。ハプスブルク帝国とヨーロッパ世界の関係について考える。ハプスブルク家は、中央ヨーロッパの広大な地域を支配した貴族家門である。この家は、旧ソ連(1917~1991年)以前に東ヨーロッパ地域を統合することができた唯一の国家とあってよい。19世紀にはフランス・ヨーゼフ帝をかすがいとして、諸民族をまとめ上げた。1991年にベルリンの壁が崩壊し、東西冷戦が終了すると、東ヨーロッパは多民族が入り交ざる地域として、姿を現すことになった。そのさい、この複雑な地域を統合する原則として、かつてのハプスブルク帝国が有していた統治の枠組みが注目されつつある。ここでは、ハプスブルク家の諸君主の事跡を解説しながら、この帝国の統治組織や統治原則について、考えてみたい。	
	歴史学 - 2	イスラーム世界の歴史と文化について基本的な知識を獲得し、ヨーロッパ文明との関係について理解を深める。ヨーロッパの隣人であるイスラーム世界の宗教や社会、統治の仕組みについて解説する。7世紀にアラビア半島に成立したイスラーム帝国は、その後10世紀までの短期間に、世界帝国を形成した。強大な軍力に支えられたイスラーム世界の拡大は、「力による布教」という誤解を生み、現代のイスラーム理解についても、不適切なイメージをもたらした。ここでは、イスラーム世界の中に、異文化を認め、共生していく融和の原則が生きていたことを明らかにしたい。	
	文学 - 1	ドイツ文学の代表的な作家ゲーテの作品に親しみ、教養を身につける。また、文章表現力を養成する。ドイツの文学者ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの作品のなかから、旅行記『イタリア紀行』と戯曲『ファウスト』第一部を主に取り上げて論じる。	
	文学 - 2	ドイツ文学の代表的な作家ゲーテの作品に親しみ、教養を身につける。また、文章表現力を養成する。ドイツの文学者ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの作品のなかから、書簡体小説『若きウェルテルの悩み』、戯曲『ファウスト』第二部を主に取り上げて論じる。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	音楽 - 1	作品成立の背景を知ることが音楽を理解する上での重要なアプローチの一つであること、そして、音楽が「芸術」という特別な枠組みの中のみで語られるのではなく、社会の様々な物事と結びついていることを理解する。クラシック音楽作品の成立には様々な外的要因が関与しており、作曲家は自身の創作意欲とは別に、それらの要因を十分に考慮して作品を書く必要があった。この講義では、主にバロック・古典派の時代の作品を取り上げ、そのような外的要因と作品成立の関連を論じていく。前半では楽器に注目し、楽器の持つ特性や楽器の発展が与えた作品への影響を見ていく。そして、後半では音楽の「受容」という視点から、シンフォニーやコンチェルトなどの各ジャンルが社会やコンサートにおいてどのような役割を果たしていたのかを見ていく。更に、今日では様々なアプローチによる演奏をコンサートやCDで聴くことができるため、我々が音楽を聴くにあたり、どのような点に注目していけばよいかについても言及し、聴き手としてより深い音楽の理解へと結びつける。	
	音楽 - 2	作品成立の背景を知ることが音楽を理解する上での重要なアプローチの一つであること、そして、音楽が『芸術』という特別な枠組みの中のみで語られるのではなく、社会の様々な物事と結びついていることを理解する。クラシック音楽作品の成立には様々な外的要因が関与しており、作曲家は自身の創作意欲とは別に、それらの要因を十分に考慮して作品を書く必要があった。この講義では、主にバロック・古典派の時代の作品を取り上げ、社会情勢(たとえば政治的変動や経済状態)や作曲家を取り巻く環境が音楽に与えた影響について国ごとに概観していき、なぜそのような音楽が生まれ出されたのか、時代が求めた音楽はどのようなものだったのかという点を軸に、外的要因と作品成立の関連を論じていく。	
	日本国憲法	日本国憲法を中心とする法制度について、本年度採り上げたトピックに即して理解を深める。法の解釈の方法を習得する。自力で日常的な法律に関する調べ物ができるようにする。*教職履修者が多いことに鑑みて、日本国憲法・教育法規の体系的な理解にも留意する。この授業では、日本国憲法の概要を講義することに留意しながらも、毎年異なるトピックを採り上げて人権との関連性を考えてきた。3学部合同科目の性質上、専門的な解釈論よりも実社会との関連性を重視してきたからである。04年は「ホスピタリティ」・05年は「差別」・06年は「教育」・07年は「アジア」・08年は「死」・09年は「宗教」であった。本年度は、「組織と個人」をテーマとして講義をすすめてゆきたい。日本国憲法はそれ自体がおおきく「統治機構」と「人権」に分かれており、国家における組織と個人の問題を語るという構成になっている。ところが、現実の日本社会においては、個人の問題を前面に押し出す生き方を志向すると、組織の論理によってそのような生き方を我儘とカテゴライズされ、切り捨てるといった思考様式が「オトナ」の志向として尊ばれる傾向にある。本講義では、近代憲法の持つ個人の価値への志向性を肯定的に見直す作業を通じ、法律学としての憲法論の理解に努めたい。	
	法学	本講義では、各種の法制度や論点の分析を通じて、そこでの法的な問題点を明らかにするとともに、解決のための考え方を身につけることを目的とする。私達の生活は常に法との関わりをもっている。将来、いかなる方面に進むにせよ、法と無縁の生活は考えられない。もちろん、関わりを有するであろう法を全て知ることはできないし、また、その必要もない。むしろ重要なことは、法的な考え方を身につけることである。本講義においては、各種の問題の分析を通じて、そこでの法的な問題点、解決のための考え方を身につけることを目的とする。できるだけ、具体的な事例等を用いながら、分かりやすく講義を進めたいと考えている。	
	政治学 - 1	政治学の基礎知識を身につけ、政治一般に対する理解を深めていくことを目標とする。現代日本では様々な政治問題が表面化している。これらの諸問題を的確に理解するためには、政治学の基本となる理論を学ぶことが重要である。本講義では立法と行政の具体的な役割や歴史について概観していく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門 関連 科目 C	政治学 - 2	政治学A(前期)で学んだ政治学の基礎知識を元に、より専門的な観点から政治思想について理解を深めていくことを目標とする。米英仏を中心とした近代欧米の政治思想について明らかにしていく。	
	地理学 - 1	本講義を履修することにより、地域をみる(見る、観る、診る)ことの重要性が理解できるとともに地域に対する知見が深まる。また、地理的視点を会得することにより、国際社会に生きる日本人としての自覚と素養が得られる。併せて、人文社会科学的な幅広い見方・考え方が養える。本講義では地理学の基本的な見方・考え方の楽しさ、面白さについて講義していきたい。本講義を進めていく上での中心となる項目は(1)地図、(2)人間の環境、(3)生活と産業、(4)地域空間である。講義内容は講義ならびに板書・OHPを中心とし、必要に応じて映像資料等を用いる。	
	地理学 - 2	本講義を履修することにより、地域をみる(見る、観る、診る)ことの重要性が理解できるとともに地域に対する知見が深まる。また、地理的視点を会得することにより、国際社会に生きる日本人としての自覚と素養が得られる。併せて、人文社会科学的な幅広い見方・考え方が養える。本講義では地理学の基本的な見方・考え方の楽しさ、面白さについて講義していきたい。本講義を進めていく上での中心となる項目は(1)東京大都市圏、(2)都市環境、(3)よりよき都市生活を考えるである。講義内容は講義ならびに板書・OHPを中心とし、必要に応じて映像資料等を用いる。	
	経済学 - 1	経済に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、日本経済が直面する問題について理解し、自分自身の関心を深める。現在、日本の経済はさまざまな問題に直面している。経済社会は日々変化しており、これらを理解するためには、経済的なモノの見方を身に付け、している。さまざまなデータに目を向けていくことが重要である。この授業では、経済問題に関する基礎的なことを理解するとともに、日本経済の抱えるさまざまな問題について取り上げていく。受講する学生には、この授業を通じて、TVや新聞のニュースに目を向け、日本経済に対する関心を高めていってもらいたいと考えている。	
	経済学 - 2	世界経済が抱えるさまざまな問題について理解し、自分自身の関心を深める。経済活動のグローバル化にともない、私たちはいろいろなメリットを享受している。その一方で、さまざまな問題も出てきている。私たちは、日本だけでなく、他の国の経済状況も踏まえて、それらの問題を考えていかなければならない。この授業では、さまざまな国際的な経済問題についての理解を深めるとともに、関連するデータにも目を向けていく。受講する学生には、この授業を通じて、TVや新聞のニュースに目を向け、国際的な経済問題に対する関心を高めていってもらいたいと考えている。	
	数学 - 1	数学の重要項目である集合論の習得と実数や関数理解を深める事を目標とする。数学は理科系文科系を問わずいろいろな分野で応用されています。本講では自分の問題を解決するために数学を利用できるように、数学の基礎的な知識と考え方を学びます。	
	数学 - 2	数列、級数、べき級数の取り扱いに習熟し、いろいろな問題への応用例が理解でき、自分の問題に応用できること。数学の理論の中でも重要かつ便利な微積分学の初歩を関数のべき級数展開を通して学びます。そして、これにより、数学の知識を広げ、数学的思考力を知ることとを目的とします。また、この理論の具体的な応用例も示します。	

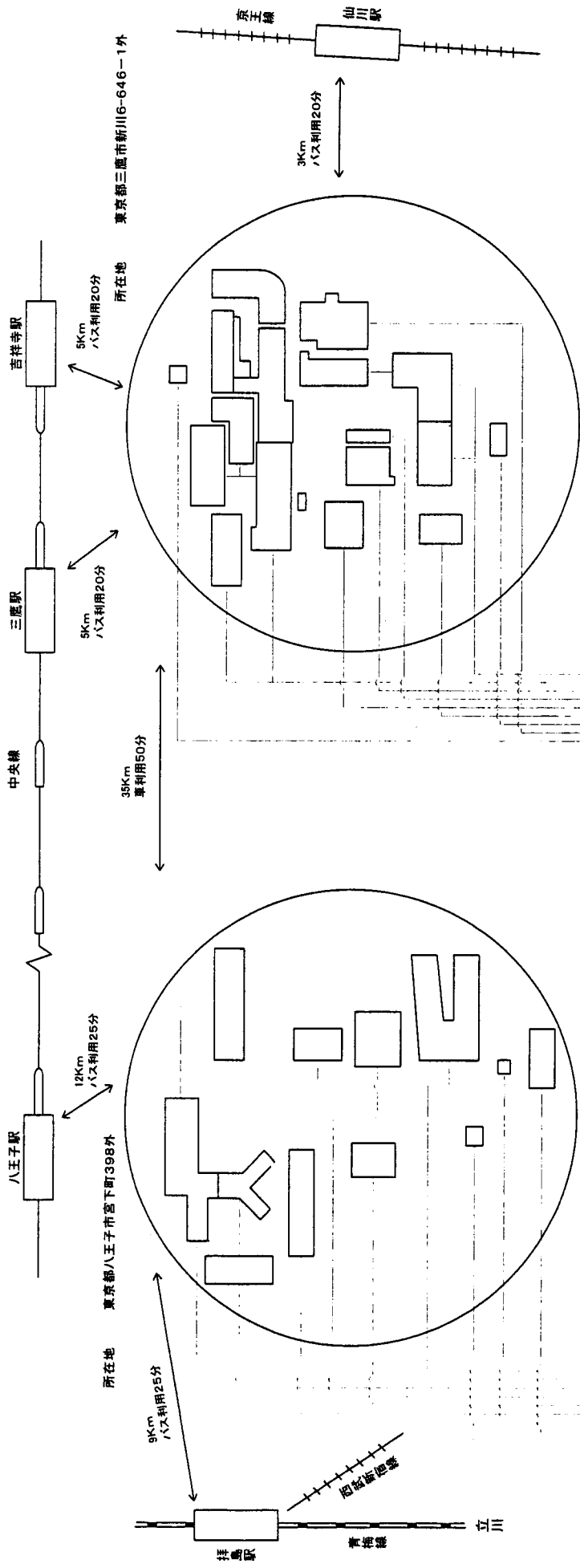
授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	物理学 - 1	物理現象を理解し、それらがどのように応用されているかを理解する。自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問でもあり、物理的なものの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、日常的に経験するであろう現象や事柄を取り上げ、それらの解説をする。その際、数学的手法を使うことになるが、考え方に重点を置く。	
	物理学 - 2	物理現象を理解し、それらがどのように応用されているかを理解する。自然科学は日常的な現象を体系的に整理し、一定の法則を見出そうとする科学である。物理学はこのような自然科学の一分野であるばかりでなく、あらゆる学問の基礎となる学問でもあり、物理的なものの見方、考え方はあらゆる学問に通じるものである。そこで、日常的に経験するであろう現象や事柄を取り上げ、それらの解説をする。その際、数学的手法を使うことになるが、考え方に重点を置く。	
	化学 - 1	高校で化学をほとんど学習していない学生が、化学の基本から現代的知識までを理解できるようになることを目標とする。化学の基本から現代的知識までを、中学レベルから出発してわかりやすく解説する。化学という科目・学問に対して、「計算や覚えることが多くて大変なので、難しい、わからない、つまらない」という感想を持っている学生の、そのような誤解が解ければ成功。	
	化学 - 2	化学の初歩的計算に慣れて、化学式や簡単なモルの計算に対する苦手意識を持たなくなることを目標とする。現代化学の「超」はつかない入門コースであり、高校課程の化学の必修部分は一応履修しているが、入試の勉強はしていない学生を対象とする。化学式や化学の初歩的計算に慣れるよう、毎回、教科書の問題等で練習を行う。前期の「化学 - 1」の単位を取得していることが望ましいが必須ではない。	
	生物学 - 1	一般目標：ヒトの生物的側面と人間としての特性を理解する。個別目標：各講義項目の内容について概略を説明して、いくつかの用語について解説ができる。地球の歴史的産物である生物は、現在200万以上の種類を持つほどの多様性を示しているが、それらはその多様性の中にも生命体としての共通性を持っている。生物の持つ共通性と多様性を把握し、理解することが生物学の目的の一つであり、現代の生物学は生命現象を物質レベルで理解できるまでになっている。また、人類の存続に関わる環境問題にも生物学は重要な位置を占めている。さらには、バイオテクノロジーとかエコロジーとかの生物学分野の名称が一般に使用されている現在では、生物学は自然科学分野はもとより、人間社会においても重要な学問となっている。本講義は、ヒトを題材にして、生命現象の共通性と個性および生物の歴史性を、また、ヒトを含む生物と地球環境及び生物相互の関係を把握し、理解することを目標としている。	
	生物学 - 2	一般目標：生物の細胞、個体、および群集レベルでの生命活動について、その共通性と個性を把握し、理解する。個別目標：各講義項目の内容について概略を説明して、いくつかの用語について解説ができる。地球の歴史的産物である生物は、現在200万以上の種類を持つほどの多様性を示しているが、それらはその多様性の中にも共通の生命現象を持っている。生物の持つ共通性と多様性を把握し、理解することが生物学の目的の一つであり、生物学から発展した現代の生命科学は生命現象を物質レベルで理解できるまでになっている。また、人類の存続に関わる環境問題にも生命科学の諸分野は重要な位置を占めている。さらには、バイオテクノロジーとかエコロジーとかの生命科学分野の名称が一般に使用されている現在では、生命科学は自然科学分野はもとより、人間社会においても重要な学問となっている。本講義は、細胞から群集までの生物の存在形態を、その共通性と個性および歴史性について、生命現象の物質レベルでの動向について、また、生物と地球環境及び生物相互の関連性について把握し、理解することを目標として解説する。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	心理学 - 1	心理学のさまざまな領域に触れることで、心理学の基礎知識を獲得することを目標とする。本講義では、心理学の基礎について学んでいく。講義の内容をもとに、受講生自身が考え、学んでいくことが求められる。そのために、課題、または小テストを毎回実施する予定である。受講生の人数によっては、ワーク等の体験学習を取り入れることも検討している。	
	心理学 - 2	心の健康に関わる心理学の知識・情報への理解を深め、自分自身の心の健康を自覚することを糸口に心理学を身近なものとして捉えることを目標としている。人は自分をとりまく環境との相互関連の中で、日々成長・発達を遂げていく。その成長の過程で精神あるいは心の健康を維持・増進すると同時に、精神的疾病を予防することが必要である。ライフステージにおける心の健康について解説をすすめていく。	
	統計学 - 1	資料の扱い方と確率論の習得を目指す。統計学には、調査資料の科学的解析など様々な応用があります。本講では、資料の処理方法と、推測統計学を学ぶために必要な確率論の基礎を学び、仮説検定の考え方を紹介します。	
	統計学 - 2	いろいろな問題に統計学を応用できるようになること。調査資料の解析等に統計学の方法は広く用いられている。その中でも重要な項目である検定と推定(区間推定)について初歩から学ぶ。さらに、検定と推定のいろいろな応用例を示す。	
	情報処理	Word、Excel、PowerPointを用いて、大学でのレポート、会社で使用する書類などを作成するのに必要な操作の習得を目指します。メモ帳を用いて簡単なホームページを作成します。(受講人数によっては、Dreamweaverも使用します。)・スムーズにコンピュータを操作できるように毎回の授業でタッチタイピングの練習を行います。・演習中心の科目であり、毎回課題を提出してもらいます。	
	体育理論	身体の構造を理解する。体が動くメカニズム、身体能力を維持・向上させるための方法について理解し、実践するため知識を習得する。また、これらを通して学問的な思考態度を養うことを目標としている。身体づくりや身体運動の基本的メカニズム、身体の機能向上のための方法など、身体における構造的・機能的側面に関する科学的理論について学ぶ。	
	体育実技 - 1	バドミントンにおける基本技術やルールなどの知識を身につける。運動前の準備や運動後のクーリングダウンなど、運動実施に関する知識を身につけ、実践できるようになる。バドミントンの実践を通して、身体運動の楽しさを体験し、生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、その方法や態度について学習する。また、身体の構造やストロークなど、運動の仕組みについて理解を深めながらバドミントンの技術向上をはかる。基本的ストローク、シングルスゲーム、ダブルスゲーム、ルール、審判法などについて学ぶ。	
	体育実技 - 2	バドミントンにおける基本技術やルールなどの知識を身につける。運動前の準備や運動後のクーリングダウンなど、運動実施に関する知識を身につけ、実践できるようになる。バドミントンの実践を通して、身体運動の楽しさを体験し、生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、その方法や態度について学習する。また、身体の構造やストロークなど、運動の仕組みについて理解を深めながらバドミントンの技術向上をはかる。基本的ストローク、シングルスゲーム、ダブルスゲーム、ルール、審判法などについて学ぶ。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 関 連 科 目 D	日本語教育概説	日本語教師に必要なとされている基本的な知識を学ぶ。この授業では、日本語を母語としない学習者に日本語を教えるとはどのようなことを様々な観点から幅広く学ぶ。外国語としての日本語、日本語教育の教授法、コースデザイン、日本語教育の歴史、異文化理解、4技能の指導など、基本的な理論から実践まで、日本語教師に必要なとされている知識を概観し、網羅的に学ぶ。	
	日本語教授法概論	日本語の教え方が様々にあることを知る。教授法の多様性とその比較を知る。なぜ様々な外国語教授法が生まれてきたのかを考える。外国語教授法の変遷を、関連学問分野の動向や、社会背景、特にメディアの進歩と絡めながら概観する。下記の4つの教授法についてはとくに、理論的背景・教科書教材の特徴・教室活動の特徴等を詳しく比較する。*文法訳読法*オーディオリンガル・メソッド*ナチュラルメソッドと直接法*コミュニカティブ・アプローチ。その他の教授法についても、特徴、考え方等概略を整理する。	
	日本語学概論	私たちの身の回りにある日本語について、また、外国人に日本語を教えるときの日本語はどのようなものなのか、明らかにする。まず形式を中心に、日本語が諸言語と比べてどのような特性を持っているのか論じる。日本語の音声がどのような仕組みを持ち、どのような構成で出来上がっているか。日本語の文字はどのように考えたらよいのか。音の組み合わせで出来上がる語彙が、どのようなものであるか。その分類と構成、造語法などに触れ、最後に文法的な見方から、日本語の文の構造を明らかにする。	
	日本語音声学	日本語音声学の基礎的な知識を学ぶことを主な目的とする。日本語教育において、音声は非常に重要であるにも関わらず、専門的知識を持つ人が少なく、音声教育も十分になされていないのが現状である。私たちが日常話したり聞いたりしている日本語の中から、日本語学習者にとって難しいとされる発音について客観的にとらえて考察し、日本語教育において必要な日本語音声の知識及びその教授法を学ぶ。	
	日本語文法論	日本語の基本的な文法項目が平易に説明できるようになることをめざします。日本語教育においても生かせる基本的な分析力を身につける。「助詞」「動詞」「テンス」「アスペクト」「感動詞」を中心に考察し、ほかに「ヴォイス」「形容詞」「連体詞」「接続詞」「モダリティ」「副詞」「数量表現」「ノとコト」「条件表現」などにもふれる。	
	日本語意味論	言語は実際に発話された文の内容が、そのまま文の意味になるとは限らない。さまざまな場面の発話行為と発話内行為のズレを例にとって、日本語の文と文章の「意味」とは、どのようなものか考える。また、そのような「意味」の違いが生まれる社会的背景についても考察し、日本語を学ぶ人々に、それを理解してもらう方法を知る。	
	日本語教材教具論	教育現場に立ったときに、学習者にもっともふさわしいやり方で、教科書を使うということはどのようなことだろうか。現在、世界で広く使われている数種類の教科書についてその構成と内容を分析し、教科書を使って日本語を教えていくために必要なことを考える。	
	試験と評価	テストの作成を通して、テストの目的・評価の概要を理解し、良いテストとは何か理解する。また、日本語教師として知っておくべき評価、テスト(試験)に関する知識を整理する。授業は講義を主体とするが、実際にテストやクイズのサンプル作成や分析などの実践的作業も行いたい。	
	日本語語彙論	日本語の語彙は、歴史的に何層かのことなった語種から成り立っている。歴史をおって、語彙の流入と変遷をみていく。それにより、現在日本語を構成する語彙の姿を明らかにし、また、その使われ方をみていく。	

授 業 科 目 の 概 要			
(外国語学部中国語学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
	日本語文字表記概説	日本語に使われている文字・表記の内容及び変遷を理解する。日本の文字の誕生および変遷、そして日本語教育における文字・表記の問題点を考察し、その指導方法を考える。文字・表記の定義及び種類、文字・表記の体系、現代日本語における文字・表記の体系を学習し、次に日本語教育における文字・表記の問題点を知る。	
	日本語史	日本語がどのように生まれ、どのように変化していったのかを、歴史をおって見てゆく。それにより、現代日本語の構造と、その用法について深く理解することを目標とする。	
	日本人の言語行動	日本人の言語行動の特徴を考える。日本人に特有の言語行動というものがあるのか、あるとすればそれはどのようなものか、また、その言語行動が意味することはなにか、などを演習形式でともに考えながら解き明かしてゆきたい。	
	異文化理解とコミュニケーション	異文化コミュニケーションの中で生じるさまざまな現象を考察し、よりよいコミュニケーションのあり方を考える。文化的背景が異なる人々がコミュニケーションを行う中で、個々の文化的背景がどのような影響を及ぼし得るかを分析、検討する。また異文化接触の中で生じるさまざまな誤解やすれ違いと、それらを調整する方法についても検討し、国際化社会におけるより良いコミュニケーションについて考える。	
	日本語教授法演習	日本語教師として、学習者の前で話し、指示をするための、1対多のコミュニケーション能力を身につける。外国語教育においてもっとも多く採用されているのは、媒介語を使用しない「直接法」とよばれる教授形態である直接法での授業においては、教師がすぐれたコミュニケーション能力を身につけていなければならない。この授業では、まず、コミュニケーション能力を高めるための、自己開示能力の育成と、積極性を身につける訓練をする。そして、演劇の訓練方法を使って、身体表現力を高める練習と、「身体表現」としての朗読の練習をおこなう。	
	日本語教育実習	マイクロティーチングの理論にもとづき、テーマを決めておこなう短時間の模擬授業とそのビデオ映像によるフィードバックの繰り返しにより、実際に教室に立った時の実践的教授能力を訓練する。	
	日本語学演習	日本語教育能力検定試験に必要な「日本語」「言語学」に関する分野の重要項目を学ぶ。主に毎年10月に行われる日本語教育能力検定試験を念頭に置き、「日本語」「言語学」に関する分野の基本的な知識を学ぶ。毎回、日本語教育能力検定試験の範囲の一部から重要項目に関して説明を行い、それに関する問題を解いていく。	
	日本語教育演習	日本語教育能力検定試験に必要な「教育」に関する分野の重要項目を学ぶ。主に毎年10月に行われる日本語教育能力検定試験を念頭に置き、「日本語教育」に関する分野の基本的な知識を学ぶ。毎回、日本語教育能力検定試験の範囲の一部から重要項目に関して説明を行い、それに関する問題を解いていく。	

学校の位置及び校地、校舎の配置図の概要



杏林大学八王子校地

校地面積	130,327.49m ² (全部所有)
内運動場用地	(11,566.00m ²)
内職員宿舎敷地	(416.00m ²)
土地小計	130,327.49m ²

鉄筋5階建外	15,134.17m ²
鉄筋6階建外	11,750.43m ²
鉄筋5階建外	8,672.39m ²
鉄骨鉄筋地下2階付3階建	7,746.33m ²
鉄筋3階建	1,058.40m ²
鉄骨鉄筋2階建	1,393.50m ²
プレハブ造平家建	9.90m ²
鉄筋6階建	1,263.60m ²
鉄筋平家建	196.41m ²
建物小計	47,225.13m ²

杏林大学三鷹校地

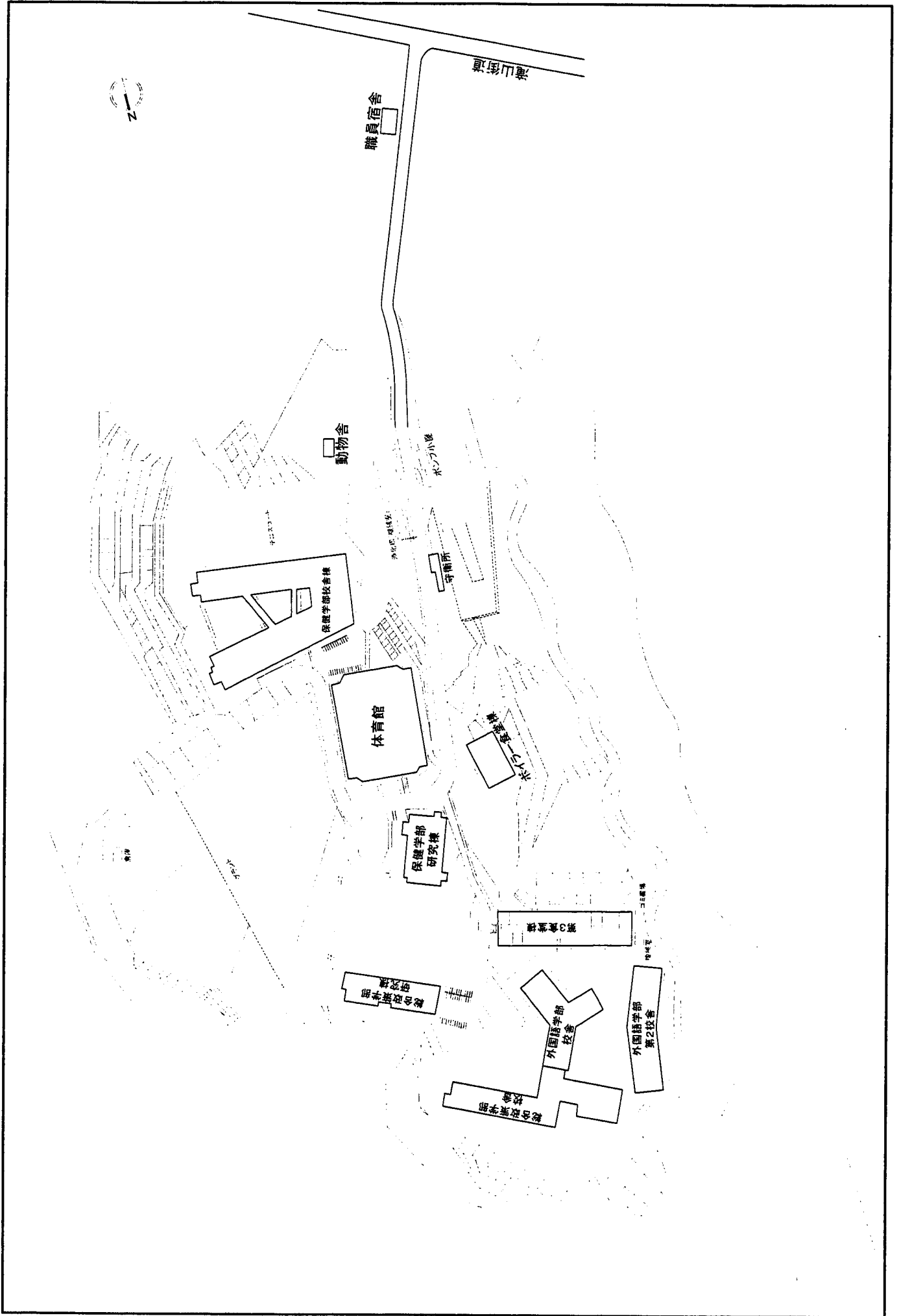
校地面積	57,992.32m ² (全部所有)
内運動場用地	(3,004.00m ²)
内付馬車道駐車場用地	(1,656.00m ²)
上記以外の学校法人所有地	27.09m ²
法人本部 看護敷地	1,582.00m ²
看護専門学校敷地	59,601.41m ²
土地小計	59,601.41m ²

医学部校舎・研究棟	鉄骨鉄筋地下1階付7階建外	27,221.96m ²
病院	鉄骨鉄筋地下2階付10階建外	114,911.47m ²
図書館	鉄筋地下2階付12階建外	3,518.11m ²
資料館	鉄骨鉄筋地下2階付11階建	2,899.32m ²
体育館	鉄骨鉄筋地下1階付3階建	5,148.20m ²
看護・医学教育研究棟	鉄骨鉄筋地下1階付3階建	8,734.57m ²
看護専門学校専用校舎	鉄骨鉄筋5階建	(752.86m ²)
上記以外の学校法人所有建物	鉄筋地下1階付3階建	2,396.88m ²
看護専門学校第1校舎	鉄骨鉄筋地下1階付3階建	7,094.52m ²
駐車場	鉄骨鉄筋平家建外	606.61m ²
守衛所外	建物小計	172,531.64m ²

八王子校地及び建物配置図

八王子市宮下町398番1外

130,329.49㎡(敷地)



杏林大学学則

制定	昭和45年	3月17日		
改正	昭和49年	4月23日	昭和50年	8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年	12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	1月9日
	昭和61年	4月1日	昭和63年	4月1日
	平成2年	12月21日	平成3年	9月25日
	平成4年	9月21日	平成6年	1月24日
	平成7年	7月3日	平成8年	10月23日
	平成9年	3月28日	平成9年	5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年	12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年	6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年	12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年	9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年	2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年	9月13日
	平成14年	12月6日	平成15年	2月17日
	平成15年	9月8日	平成15年	12月5日
	平成16年	5月28日	平成17年	5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年	10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年	12月8日
	平成19年	3月29日	平成19年	12月7日
	平成20年	5月29日	平成20年	9月8日
	平成20年	10月20日	平成21年	3月26日
	平成21年	5月29日	平成21年	10月26日
	平成21年	12月3日	平成22年	5月28日

第1章 目的、使命及び自己評価等

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

（自己評価等）

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第2章 学部、大学院等

（学部、学科）

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科及び作業療法学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

杏林大学教授会規程

制定 昭和49年12月 6日
改正 昭和54年 4月 1日

第1条 杏林大学学則（以下「学則」という。）第12条に規定する本学の各学部教授会（以下「教授会」という。）の運営に関し、同条第8項の規定に基づき、この規程を定める。

第2条 学則第12条第2項の規定に関し、当該学部の学部長に事故あるときは、教務部長たる教授又は学部長の指名する教授が、その職務を代行する。

第3条 教授会は原則として毎月1回定例にこれを開く。ただし、議長が必要と認めるときは臨時にこれを開くことができる。

第4条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決する。議事の表決が可否同数となった場合は、議長の決するところによる。

第5条 教授会の庶務は、各学部の事務部が、それぞれ担当する。

附 則

この規程は、昭和54年 4月 1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

外国語学部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。

3 保健学部

（1）臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。

（2）健康福祉学科は、保健、医療及び福祉の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。

（3）看護学科は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とする。

（4）臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。

（5）救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。

（6）理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。

（7）作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々の QOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的とする。

4 総合政策学部

（1）総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、国際政治・経済、法律・行政及び環境・福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。

（2）企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通暁し、企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

（1）英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを

第3類（杏林大学学則）

陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。

(2) 中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。

(3) 観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

(学生定員)

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	2年次編 入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	111名	-	-	666名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	80名	6名	4名	346名
	健康福祉学科	40名	6名	4名	186名
	看護学科	100名	2名	8名	422名
	臨床工学科	40名	-	-	160名
	救急救命学科	40名	-	5名	170名
	理学療法学科	40名	-	-	160名
	作業療法学科	40名	-	-	160名
総合政策学部	総合政策学科	170名	-	10名	700名
	企業経営学科	100名	-	5名	410名
外国語学部	英語学科	120名	-	5名	490名
	中国語学科	30名	-	15名	150名
	観光交流文化学科	70名	-	3名	286名

(大学院)

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

(付属施設)

第5条 本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、医学部付属看護専門学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、学生支援セ

第3類（杏林大学学則）

ンター、三鷹保健センター及び八王子保健センターを置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

（教員組織）

第6条 本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、医学部付属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長及び八王子保健センター長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 教職員は専任、兼担及び兼任に区分する。

3 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

（副学長の任務）

第10条 副学長は、所管の事項に関し常に学長を補佐し、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。

3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。

4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。

5 各教授会は、その学部における次の事項を審議する。

（1）教育に関する事項

（2）教員人事に関する事項

（3）学生に関する事項

（4）研究に関する事項

（5）その他前各号に関連し、学部長が必要と認めた事項

6 前項第1号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授

第3類（杏林大学学則）

選考委員会において予め審議するものとする。

7 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。

8 教授会運営に関する細則は、別に定める。

（大学評議会）

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

2 評議会は、学長が招集しその議長となる。

3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。

（1）学園長

（2）学長

（3）副学長

（4）学部長

（5）附属図書館長

（6）各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名

4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。

6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。

（1）学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項

（2）大学の自己評価に関する事項

（3）その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項

7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

（学年）

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、総合政策学部及び外国語学部の秋入学者は10月1日に始まり、翌年9月30日に終る。

（学期）

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

（休業日）

第15条 休業日は次のとおりとする。

（1）日曜日

（2）国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

（3）杏林学園創立記念日 11月11日

（4）春季休業 3月10日から4月10日まで

（5）夏季休業 7月11日から9月10日まで

（6）冬季休業 12月23日から翌年1月8日まで

2 学長は、必要により前項各号の休業日を変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

第3類（杏林大学学則）

（修業年限）

第16条 修業年限は次のとおりとする。

医学部	6年
保健学部	4年
総合政策学部	4年
外国語学部	4年

（在学年限）

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第7章 入学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程における12年の学校教育を修了した者
- （3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- （4）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
- （8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

- 2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

第3類（杏林大学学則）

（1）大学を卒業した者又は退学した者

（2）他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限の決定は、当該学部教授会が行う。

第8章 教育課程・履修方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第24条 授業科目の種類並びにその単位数又は履修時間数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部 別表1

保 健 学 部 別表2

総合政策学部 別表3

外 国 語 学 部 別表4

（単位の計算方法）

第25条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

（1）講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。

（2）実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。

（3）授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。

（単位の授与）

第26条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第3類（杏林大学学則）

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

- 2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定められたものについては、他の方法によることができる。
- 3 試験の成績は、A B C Dの4種とし、A B Cを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。
- 4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより、学生が他の大学で履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得したものとみなすことができる。

（外国の大学において修得した単位）

第27条の3 前条の規定は、学生が外国の大学に留学した場合にも準用する。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の4 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の5 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削除

第9章 休学、転学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

- 2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情があると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第31条 疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 休学の期間は、第16条の修学年限及び第17条の在学年限に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学部等）

第34条 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。

2 前項によって転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（転学）

第35条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願い出る者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

(1) 故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者

(3) 第17条に定める在学年限を超える者

(4) 行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し270単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し264単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は6年以上在学し255単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し255単位を修得しなければならない。

2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科においては4年以上在学し137単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。

3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければなら

第3類（杏林大学学則）

ない。

- 4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。
- 6 本学（医学部を除く。）の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。
- 7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第41条 卒業の認定を受けた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語学科	学士（中国語コミュニケーション学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

- 2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第3類（杏林大学学則）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で、改善の見込みのないと認められる者

（2）学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者

（3）正当の理由がなくて、出席常でない者

（4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第3類（杏林大学学則）

第45条 本学学生にあらざるもので、本学の授業科目の一部を聴講することを希望するものがあるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

2 聴講生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 聴講生には本学則を適用する。ただし、聴講生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざるもので本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることが出来る者は、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有するものであって、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 科目等履修生には本学則を準用する。

4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部の教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。

5 科目等履修生には第26条の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者がいるときは、外国人留学生として入学させることができる。

2 外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 入学選考試験に合格した者は、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める入学料、授業料その他の学納金を納入しなければならない。

3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が1学年にわたる者の実験実習費はこれを徴収しない。

第3類（杏林大学学則）

- 4 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。
- 5 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書閲覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 雑則

（改正）

第51条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

附 則

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

学科	年度	54年度	55年度	56年度	57年度以降
	臨床検査技術学科		50名	100名	150名
保健学科		50名	100名	150名	200名

第3類（杏林大学学則）

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50名
	保 健 学 科	50名
社会科学部	社 会 学 科	300名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2 - 2（第24条関連）の適用については次の各号による。
 - (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
 - (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。
 - (3) 昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附 則

本学則は、平成 3年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
社 会 学 部	社 会 学 科	330名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	70名

附 則

- 1 本学則は、平成 3年10月 1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

2 学則第24条別表3は、平成4年4月1日在籍の学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1-2の適用者は、平成6年度の別表1-2に読みかえる。
- 4 別表1-1の時間数は、別表1-2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1-1を適用する学生に別表1-2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-1A及び2-1Bの授業科目で行う。
- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 別表2-3及び別表6-2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90 名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	65 名
	保 健 学 科	65 名

第3類（杏林大学学則）

	看護学科	80名
社会科学部	社会科学科	330名
外国語学部	英米語学科	160名
	中国語学科	70名
	日本語学科	100名

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2 - 3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2 - 3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2 - 1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2 - 2の授業科目で行う。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医学部	医 学 科	90名	90名	90名	90名	90名
保健学部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 科 学 科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名	160名	160名	160名	160名
	中 国 語 学 科	70名	50名	50名	50名	50名
	日 本 語 学 科	100名	100名	80名	80名	80名

- 3 別表1 - 1は、削除する。
- 4 別表1 - 4は、平成12年度入学生から適用する。
- 5 平成8年度以前の入学生は、別表1 - 2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1 - 3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年

第3類（杏林大学学則）

度以前の入学生は、別表1 - 4を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名
社 会 学 部	社 会 学 科	330名	330名	310名	290名
外 国 語 学 部	外 国 語 学 科	310名	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名

第3類（杏林大学学則）

総合政策学部	総合政策学科	330名	310名	290名
外国語学部	外国語学科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。

3 別表1 - 3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5 - 2のとおりとする。ただし、別表5 - 2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。

3 この学則による別表2 - 1保健学科の項中「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術論」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術」「社会福祉援助技術」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術実習」の履修者については、改正前の学則を適用する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

本学則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2 - 2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成18年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2 - 1を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表4 - 2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 別表3 - 2、別表3 - 3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

第3類（杏林大学学則）

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、救急救命学科については別表2-2を適用する。
- 4 別表3-1、別表5-1-1及び別表6-1は、適用学生が平成20年3月31日付けで卒業したことに伴い、それぞれ削除することとし、以降順次繰り上げ、改正後の別表3-1、別表3-2、別表5-1-1、別表5-1-2、別表5-1-3、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4は、平成20年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条及び第41条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生並びに平成23年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の別表3-3及び別表5-1-4は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生及び平成22年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成23年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則改正による改正後の別表2-4は、平成22年4月1日以降の入学生から適用し、平成21年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第39条、第41条、別表2 - 5及び別表4 - 5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 1

医学部授業科目及び単位数

平成9年度入学生から適用

（A表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
臨 床 医 学 総 論			3	
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	4			
英 語	6			
英 語	6			
医 学 英 語			3	
医 学 英 語			3	
ド イ ツ 語			6	
ド イ ツ 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
中 国 語			6	
中 国 語			6	
体 育 実 技	1			小計 56単位

第3類（杏林大学学則）

（B表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学	7			各々の科目は実習を含む
解 剖 学	8			
生 理 学	5			
生 理 学	5			
生 化 学	5			
生 化 学	5			
薬 理 学	6			
病 理 学 総 論	3			
病 理 学 各 論	5			
微 生 物 学	6			
熱 帯 病 ・ 寄 生 虫 学	4			
衛 生 学	4			
法 医 学	4			
公 衆 衛 生 学	5			
公 衆 衛 生 学 実 習	1			

第3類 (杏林大学学則)

(C表)

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
内 科 学	6			
内 科 学 实 习	3			
内 科 学	4			
内 科 学 实 习	2			
内 科 学	4			
内 科 学 实 习	2			
高 龄 医 学	2			
高 龄 医 学 实 习	1			
精 神 神 经 科 学	3			
精 神 神 经 科 学 实 习	2			
小 儿 科 学	6			
小 儿 科 学 实 习	3			
外 科 学	3			
外 科 学 实 习	2			
外 科 学	3			
外 科 学 实 习	2			
小 儿 外 科 学	1			
小 儿 外 科 学 实 习	1			
救 急 医 学	3			
救 急 医 学 实 习	2			
脑 神 经 外 科 学	3			
脑 神 经 外 科 学 实 习	2			
胸 部 外 科 学	3			
胸 部 外 科 学 实 习	2			
整 形 外 科 学	3			
整 形 外 科 学 实 习	2			
皮 膚 科 学	3			
皮 膚 科 学 实 习	1			
形 成 外 科 学	1			
形 成 外 科 学 实 习	1			

第3類（杏林大学学則）

泌 尿 器 科 学	3			
泌 尿 器 科 学 实 习	2			
眼 科 学	3			
眼 科 学 实 习	1			
耳 鼻 咽 喉 科 学	3			
耳 鼻 咽 喉 科 学 实 习	1			
産 科 婦 人 科 学	6			
産 科 婦 人 科 学 实 习	2			
放 射 線 医 学	3			
放 射 線 医 学 实 习	2			
麻 醉 科 学	3			
麻 醉 科 学 实 习	1			
臨 床 病 理 学	2			
臨 床 病 理 学 实 习	1			
臨 床 免 疫 学	2			
臨 床 總 合 演 习	3 0			小計 1 4 1 単位
計				2 7 0 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 2

医学部授業科目及び単位数

平成12年度入学生から適用

（A表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
医 療 科 学	3			
臨 床 医 学 総 論		3		
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	8			
基 礎 生 命 科 学	4			
英 語	6			
英 語	6			
医 学 英 語			3	
医 学 英 語			3	
ド イ ツ 語			6	
ド イ ツ 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
フ ラ ン ス 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
ス ペ イ ン 語			6	
中 国 語			6	
中 国 語			6	
体 育 実 技	1			
				小計 53単位

（B表）

授 業 科 目	必 修	選 択	自 由	備 考
解 剖 学	7			
解 剖 学	8			
生 理 学	5			
生 理 学	5			
生 化 学	5			
生 化 学	5			

第3類（杏林大学学則）

薬理学	6	各々の科目は実習を含む
病理学総論	3	
病理学各論	5	
微生物学	6	
熱帯病・寄生虫学	4	
衛生学	4	
法医学	4	
公衆衛生学	5	
公衆衛生学実習	1	小計 73単位

(C表)

授業科目	必修	選択	自由	備考
内科学	6			
内科学実習	6			
内科学	4			
内科学実習	4			
内科学	4			
内科学実習	4			
高齢医学	2			
高齢医学実習	2			
精神神経科学	3			
精神神経科学実習	1			
小児科	6			
小児科学実習	4			
総合医療学	3			
診断学実習	1			
外科学	3			
外科学実習	2			
外科学	3			
外科学実習	2			
小児外科学	1			
小児外科学実習	1			
救急医学	2			
救急医学実習	2			
脳神経外科学	3			
脳神経外科学実習	2			
心臓血管外科学	2			
心臓血管外科学実習	2			
整形外科学	3			
整形外科学実習	2			

第3類（杏林大学学則）

皮膚科学	3			
皮膚科学実習	2			
形成外科学	1			
形成外科学実習	1			
泌尿器科学	2			
泌尿器科学実習	2			
眼科学	2			
眼科学実習	1			
耳鼻咽喉科学	2			
耳鼻咽喉科学実習	1			
産科婦人科学	6			
産科婦人科学実習	3			
放射線医学	3			
放射線医学実習	2			
麻酔科学	3			
麻酔科学実習	1			
臨床検査医学	2			
臨床検査医学実習	1			
臨床免疫学	2			
臨床総合演習	16			
			小計	138単位
	計			264単位

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 3

医学部授業科目及び単位数

平成16年度入学生から適用

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医 療	科 学 と 医 療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	3			
と 教 養	外 国 語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		スペイン語A			5	
		スペイン語B			5	
		中国語A			5	
中国語B			5			
医 学 の 基 礎	構 造 の 人 体	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝学A	6			
		代謝学B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学総論 病理学総論 感染と防御 熱帯病・寄生虫学 法医学 衛生学 公衆衛生学	4 3 6 2 2 4 5			
臨床 系統 合	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論 神経 呼吸器 循環器 消化器 腎・尿路 内分泌・代謝 血液 精神 感覚器 運動器 皮膚・形成 女性医学	3 5 4 4 6 4 3 3 2 3 2 2 2			
講	老化 誕生・成長・	妊娠・分娩 発育・小児 老化と老年病 生活習慣病	2 2 1 1			
義	系統的異常	感染症 免疫・アレルギー 腫瘍 救命と救急医療 麻酔・全身管理	2 2 1 2 1			
臨床 実習	グループ実習	臨床診断総論 内科学 実習 内科学 実習 内科学 実習 高齢医学実習	8 6 4 4 2			

第3類（杏林大学学則）

	総合医療学実習	1			
	精神神経科学実習	2			
	小児科学実習	4			
	外科学実習	4			
	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255 単位

第3類（杏林大学学則）

別表1 - 4

医学部授業科目及び単位数

平成20年度入学生から適用

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考	
			必修	選択	自由		
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8				
		医療科学B	4				
医療科学C		3					
生物学		6					
生体化学		8					
医学物理学		8					
医学統計学		2					
プレチュートリアル		2					
医療と教養	外国語	英語A	5				
		英語B	5				
		医学英語A	2				
		医学英語B	1				
		ドイツ語A			5		
		ドイツ語B			5		
		フランス語A			5		
		フランス語B			5		
		中国語A			5		
中国語B			5				
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8				
		組織解剖学	5				
	人体の機能	分子生物学	6				
		細胞生物学	3				
		代謝生化学A	6				
		代謝生化学B	2				
		生体統御生理学	4				
		細胞生理学	4				
	生と制御	異常の発	薬理学総論	4			
			病理学総論	3			
			感染と防御	6			

第3類（杏林大学学則）

		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
老化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2			
		発育・小児	2			
		老化と老年病	1			
		生活習慣病	1			
系統的異常		感染症	2			
		免疫・アレルギー	2			
		腫瘍	1			
		救命と救急医療	2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学 実習	6			
		内科学 実習	4			
		内科学 実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			

第3類（杏林大学学則）

	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255単位

別表2 - 1

保健学部学科目構成

（平成12年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
発達心理学		2		
芸		2		
数学系				
数学		2		3単位以上
統計学		1		
医療情報科		2		
計算機演習		2		
物理学系				
物理学		2		3単位以上
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
無機化学		2		3単位以上
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
生命科学概論		2		3単位以上
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			英語・（各2単位）又はフランス語・（各2単位）のどちらかを選択他に4単位以上英会話を履修していること
英語		2		
英語		2		
英語		2		
医学英語		2		
英会話		2		
英会話		2		
フランス語		2		

第3類 (杏林大学学則)

フ	ラ	ン	ス	語			2		
フ	ラ	ン	ス	語			2		
フ	ラ	ン	ス	語	会	話	2		
体育学系									
体	育	実	技				2		
体	育	実	技					1	
健	康	ス	ポ	ー	ツ	科	学		2
基礎医学系									
医	学	概	論				2		
公	衆	衛	生	学			2		
公	衆	衛	生	学				2	
解	剖	学					2		
解	剖	学						2	
解	剖	学	実	験			1		
病	理	学	実	験			2		
病	理	学	実	験			1		
生	理	学					2		
生	理	学						2	
生	理	学	実	験			1		
生	化	学					2		
生	化	学						2	
生	化	学	実	験			1		
血	液	学	実	験			2		
血	液	学	実	験			1		
免	疫	学	実	験			2		
免	疫	学	実	験			1		
微	生	物	学	実	験		2		
微	生	物	学	実	験		1		
医	動	物	学	実	験			2	
医	動	物	学	実	験			1	
薬	理							2	
医学検査系									
生	理	学	検	査				2	
生	理	学	検	査				2	
画	像	診	断	技	術			2	
生	理	学	検	査	実	習		1	
生	化	学	検	査				2	
生	化	学	検	査				2	
病	態	生	化	学				2	
生	化	学	検	査	実	習		1	
病	理	学	検	査				2	
病	理	学	検	査	実	習		1	
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	2
病	理	組	織	・	細	胞	検	査	実
									1

第3類 (杏林大学学則)

血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
臨床病理学	2	
臨床病理学	2	
検査管理	2	
検査総合演習	2	
医療関係法	2	
臨床実習	2	
臨床実習	4	
検査特別講義	1	
細胞検査法	2	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
細胞検査演習	1	
分子生物学系		
分子生物学	2	
分子生物学	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		1 単位 30 時間 (実習を除く)
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
臨床内科学	1	
救急医学概論	1	
救急医学概論	1	
救急医学検査	1	

第3類（杏林大学学則）

救急処置	総論	1		
救急処置	各論	2		
救急・災害	医療	1		
臨床外科	科学	2		
臨床外科	科学	2		
臨床外科	科学	1		
臨床外科	科学	1		
一般救急	救命学	1		
小児科	科学	1		
産婦人科	科学	1		
整形外科	科学	1		
脳外科	科学	1		
精神医	科学	1		
救命救助	学	1		
シミュレーション	法	3		
シミュレーション		3		
シミュレーション		2		
病院内実習		10		
救急車同乗実習		3		
衛生学系				
産業保健	学	2		
環境衛生	工学	2		
放射線概論	学	2		
環境化学		2		
分析化学		2		
分析化学		2		
分析化学	実験学	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養	学	2		
食品衛生	学	2		
食品製造	学	2		
実験動物	学	1		
動物実験	実習	1		実験動物学を履修していること
職業適性	論	2		
労働衛生法規		2		
労働衛生法規		2		
総合				
移植コーディネータ	論	2		
特別講義		2		
特別講義		2		
特別演習		1		
特別演習		1		
卒業研究		4		
計		33	235	124単位以上

第3類 (杏林大学学則)

保健学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
教 育 心 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学系				
数 学		2		3 単位以上
統 計 学 演 習	1			
医 療 情 報 科 学 演 習	2			
物理学系				
物 理 学		2		3 単位以上
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論 実 験		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
無 機 化 学		2		3 単位以上
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
生 命 科 学 概 論		2		3 単位以上
細 胞 生 物 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			英語 ・ (各2 単位) 又はフランス語 ・ (各2 単位) のどちらかを選択他に4 単位以上英会話 を履修していること
英 語		2		
英 語		2		
英 語		2		
医 学 英 語		2		
英 会 話		2		
英 会 話		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		

第3類（杏林大学学則）

体育学系					
体育実技	2				
体育実技		1			
健康スポーツ科学		2			
基礎医学系					
医学概論		2			
公衆衛生学		2			
公衆衛生学		2			
解剖学	2				
解剖学		2			
解剖学実験		1			
病理学	2				
病理学		1			
生理学	2				
生理学		2			
生理学実験		1			
生化学	2				
生化学		2			
生化学実験		1			
血液学	2				
血液学		1			
免疫学	2				
免疫学		1			
微生物学	2				
微生物学		1			
動物学		2			
動物学		1			
薬理学		2			
保健学系					
保健学生概論	2				
人類保健		2			
環境保健		2			
疫学		2			
保健管理		2			
保健社会		2			
母子保健		2			
成人保健		2			
精神保健		2			
保健栄養		2			
人類保健		2			
健康教育		2			
健康教育		2			
人間適応		1			
人間適応		1			
					4 単位以上 小児保健を含む
					食品学を含む
					保健科指導研究 保健科指導研究

第3類（杏林大学学則）

保健学基礎実習	2		
保健学基礎実習	4		
保健学実習 A		1	
保健学実習 B		1	
福祉・養護系			
社会福祉学		2	
社会福祉政策論		2	
老人福祉論		2	
高齢保健学		2	
障害者福祉論		4	
児童福祉論		2	
社会保障論		4	
公的扶助論		2	
地域福祉論		2	
社会福祉援助技術総論		4	
社会福祉援助技術論		2	
社会福祉援助技術論		2	
社会福祉援助技術演習		1	
社会福祉援助技術演習		1	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術演習		2	
社会福祉援助技術実習		4	
社会福祉援助技術現場実習指導		4	
地域保健学		2	
養護学概論		2	
学校保健学		2	学校安全を含む
学校保健学		2	
健康相談		2	
臨床心理学		2	
カウンセリング		2	
看護学		2	
看護学		2	
看護学		2	
看護学実習		2	
救急看護学		2	
国際保健学		1	
移植コーディネータ論		2	
環境・食品系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学		2	
放射線概論		2	
環境化学		2	

第3類 (杏林大学学則)

分析化学	2	
分析化学	2	
分析化学実験	1	放射性同位元素検査学を含む
環境生物化学	2	
食品栄養学	2	
食品衛生学	2	
食品製造学	2	
実験動物学	1	
動物実験実習	1	実験動物学を履修していること
職業適性論	2	
労働衛生法規	2	
労働衛生法規	2	
臨床検査系		
生理学検査	2	
生理学検査	2	
画像診断技術	2	
生理学検査実習	1	
生化学検査	2	
生化学検査	2	
生化学検査実習	1	
病理学検査	2	
病理学検査実習	1	
血液学検査	2	
血液学検査実習	1	
微生物学検査	2	
微生物学検査実習	1	
免疫学検査	2	
免疫学検査実習	1	
一般検査	2	
一般検査実習	1	
臨床医学概論	2	
医療関係法規	2	
臨床実習	2	
臨床実習	4	
検査特別講義	1	
遺伝医学系		
分子生物学	2	
分子生物学	2	
分子生物学実習	1	
臨床遺伝学	2	
遺伝子検査法	2	(実習を含む)
細胞遺伝学	2	
分子細胞生物学	2	
救急医学系		
		1単位30時間(実習を除く)

第3類 (杏林大学学則)

臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
臨床内科学		1		
救急医学概論		1		
救急医学概論		1		
医学検査	査論	1		
救急処置総論	査論	1		
救急処置各論	療	2		
救急・災害医学	療	1		
臨床外科学		2		
臨床外科学		2		
臨床外科学		1		
臨床外科学		1		
一般救急救命学	命学	1		
小児科	学	1		
産婦人科	学	1		
整形外科学	学	1		
脳外科学	学	1		
精神医学	学	1		
救命救助法	法	1		
シミュレーション		3		
シミュレーション		3		
シミュレーション		2		
病院内実習		10		
救急車同乗実習		3		
総合				
特別講義		2		
特別講義		2		
特別演習		1		
特別演習		1		
総合演習		2		
卒業	研究	4		
計		33	327	124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲学倫理学		2		12単位以上
生命倫理学		2		
法法学		2		
日本国憲法学		2		
心理理学		2		
発達心理学		2		
社会福祉学		2		
芸術学		2		1単位以上
体育実技		1		
体育実技		1		
健康とスポーツ論		2		
自然科学系				
統計学		2		6単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		2		
化学概論		2		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語	2			6単位以上 英会話を履修していること
英語	2			
英語		2		
英語		2		
英会話		2		
英会話		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
日本語表現		2		
専門基礎領域				
解剖学	2			
生理学	2			
生殖生理学		1		
生化学	1			
病理学	2			
疾病論	2			
疾病論	2			
微生物学	2			
免疫学		1		

第3類（杏林大学学則）

栄	養	学	2		
薬	理	学	2		
公衆衛生学			1		
臨床心理学				1	
関係法		規	1		
専門領域					
基礎看護学系					
看護学概論			2		
看護学概論			2		
看護方法			2		演習
看護方法			2		演習
看護方法			2		演習
看護方法			2		演習
看護方法			2		演習
カウンセリング				1	
基礎看護学実習			1		
基礎看護学実習			2		
在宅看護学系					
在宅ケア論			1		
在宅ケア論			1		
在宅看護学実習			2		
成人・高齢者看護学系					
成人看護学概論			1		
高齢者看護学概論			1		
成人保健学			1		
高齢者保健学			1		
成人看護学 a			1		
成人看護学 b			1		
成人看護学 a			2		
成人看護学 b			2		
高齢者看護学			1		
高齢者看護学			1		
成人看護学実習			3		
成人看護学実習			3		
成人看護学実習			2		クリティカルケア、バリアティブケア、リハビリテーションから1科目選択
高齢者看護学実習			1		
高齢者看護学実習			3		
精神看護学系					
精神看護学概論			1		
精神保健学			2		
精神看護学			1		
精神看護学実習			2		
母子看護学系					

第3類（杏林大学学則）

母子看護学概論	2		
母性保健学	1		
小児保健学	1		
母性看護学	1		
母性看護学	2		
小児看護学	1		
小児看護学	2		
母性看護学実習	2		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	1		
地域看護活動論	3		
保健指導総論	1		
地域看護学実習	2		
保健学系			
保健管理学	2		
健康教育学	2		
環境保健学	2		
産業保健学	2		
保健福祉行政論	2		
疫	2		
保健統計	2		
学校保健概論	2		学校安全を含む
養護学概論	2		
学校保健学	2		
学校保健学	2		
健康相談	2		
臨床検査学系			
臨床検査管理総論	1		
臨床遺伝学	1		
医用工学概論	1		
放射線概論	1		
助産学系			
助産学概論	1		
助産診断・技術学	1		
助産診断・技術学	3		
助産診断・技術学	3		
助産管理学	1		
助産学特論	1		
助産学実習	7		
助産学実習	1		
総合領域			
医療概論	1		

第3類（杏林大学学則）

看護管理学		1		
看護教育論		1		
移植コーディネータ論		2		
基礎看護学特論		1		
成人看護学特論		1		
高齢者看護学特論		1		
精神看護学特論		1		
母子看護学特論		1		
地域看護学特論		1		
特別講義		2		
特別講義		2		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	112	104		137 単位以上

第3類（杏林大学学則）

臨床工学科（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				10 単位以上
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
芸 術		2		
数学系				
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学		2		
計 算 機 演 習	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				
無 機 化 学		2		3 単位以上
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
生 命 科 学 概 論		2		3 単位以上
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				
日 本 語 表 現 法	2			
英 語		2		英語 ・ (各2単位)又
英 語		2		

第3類 (杏林大学学則)

英語		2	はフランス語・(各2単位)のどちらかを選択他に4単位以上英会話を履修していること	
医学英語		2		
英会話		2		
英会話		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
体育実技	2		2単位以上	
体育実技		1		
健康スポーツ科学		2		
基礎医学系				
医学概論	2			
公衆衛生学	2			
公衆衛生学		2		
解剖学	2			
解剖学		2		
病理学	2			
生理学	2			
生理学	2			
生理学実験	1			
生化学		2		
生化学		2		
血液学		2		
免疫学		2		
微生物学		2		
動物学		2		
薬理学		2		
看護学		2		
医学検査系				
生理学検査	2			
生理学検査	2			
画像診断技術		2		
生理学検査実習		1		
医学検査		2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床病理学	2		
臨床遺伝学	2		
臨床工学系			
医用電気工学	2		
医用電気工学実習	1		
医用電子工学	2		
医用電子工学実習	1		
システム工学	2		
医用情報処理工学	2		
医用情報工学実習	1		
医用計測工学	2		
医用計測工学実習	1		
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学	2		
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
医用計測機器学実習	1		
医用治療機器学	2		
医用治療機器学実習	1		
生体機能代行装置学概論	2		
生体機能代行装置学基礎実習	1		
呼吸関連機器学	2		
呼吸関連機器学実習	1		
血液浄化装置学	2		
血液浄化装置学実習	1		
体外循環機器学	2		
体外循環機器学実習	1		
医用機器安全管理学	2		
医用機器安全管理学	2		
安全管理学実習	1		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
臨床医学総論	2		
医療関係法規	2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床實習講義		1		
臨床實習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学		2		
分析化学		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規		2		
労働衛生法規		2		
救命救助法		1		
総合				
特別講義		2		
特別講義		2		
特別演習		1		
特別演習		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	37	177		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 2

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 倫 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6 単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法	2	10 単位以上
英 語	2	
英 語	2	
英 語	2	
英 語	2	
英 会 話	2	
医 学 英 語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
体育実技	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論	2	
保健学概論	2	
公衆衛生学	2	
公衆衛生学	2	
解剖学	2	
解剖学	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学	2	
生理学	2	
生理学実験	1	
生化学	2	
生化学	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	
遺伝子工学実験	1	

第3類（杏林大学学則）

分子生物学		2	
分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学	2		
生理機能検査学		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学	2		
臨床化学検査学		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学	2		
微生物検査学		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学	2		
免疫検査学		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学		2	
臨床病態学		2	

第3類 (杏林大学学則)

檢 查 管 理 学	2		
分 析 化 学	2		
分 析 化 学	2		
分 析 化 学 实 験	1		
專 門 实 験 ・ 实 習 手 法	1		
臨 地 实 習	6		
保健学系			
医 療 福 祉 概 論	2		
国 際 保 健 学	2		
生 活 習 慣 病 論	2		
衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
環 境 衛 生 工 学	2		
環 境 化 学	2		
食 品 栄 養 学	2		
食 品 衛 生 学	2		
食 品 製 造 学	2		
職 業 適 性 論	2		
勞 働 衛 生 法 規	2		
勞 働 衛 生 法 規	2		
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習	1		
細 胞 診 断 学 演 習	1		
細 胞 診 断 学 演 習	1		
細 胞 診 断 学 演 習	1		
細 胞 診 断 学 演 習	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習	1		
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習	1		
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習	1		
感 染 症 制 御 系 特別演習	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習	1		
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習	1		
化 学 系 特 別 演 習	1		
化 学 系 特 別 演 習	1		
生 理 機 能 系 特 別 演 習	1		

第3類（杏林大学学則）

生理機能系特別演習		1		
治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習		1		
総合医療演習	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		
自然科学系				
数学		2		10単位以上
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

医 用 工 学 实 験		1	
無 機 化 学		2	
生 物 有 機 化 学		2	
生 物 有 機 化 学		2	
化 学 实 験		1	
生 命 科 学 概 論		2	
生 物 学 实 験		1	
言語系			
日 本 語 表 現 法		2	
英 語		2	英語 ・ (各2単位) 又はフランス語 ・ (各2単位) のどちらかを選択 他に4単位以上
英 語		2	
英 語		2	
医 学 英 語		2	
英 会 話		2	
フ ラ ン ス 語		2	
フ ラ ン ス 語		2	
フ ラ ン ス 語		2	
フ ラ ン ス 語 会 話		2	
体育学系			
体 育 实 技		2	
体 育 实 技		1	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
基礎医学系			
医 学 概 論		2	
公 衆 衛 生 学	2		
公 衆 衛 生 学		2	
解 剖 学	2		
解 剖 学		2	
解 剖 学 实 験		1	
病 理 学	2		
病 理 学 实 験		1	
生 理 学	2		
生 理 学		2	
生 理 学 实 験		1	
生 化 学	2		
生 化 学		2	
生 化 学 实 験		1	

第3類（杏林大学学則）

血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
薬理学	2	
救命救助法	1	
専門基礎		
保健学概論	2	
保健学概論	2	
保健学基礎実習	1	
保健学発展実習（社会調査系）	1	
保健学発展実習（健康教育系）	1	
保健学発展実習（環境系）	1	
保健学発展実習（遺伝系）	1	
保健学発展実習（心理検査系）	1	
保健学応用実習A	1	
保健学応用実習B	1	
基礎保健学系		
人類生態学	2	
環境保健学	2	
疫学	2	
保健管理学	2	
健康社会学	2	
母子保健学	2	小児保健を含む
成人保健学	2	
精神保健学	2	
保健栄養学	2	食品学を含む
人類遺伝学	2	
健康教育学	2	
社会福祉学	2	
ライフステージと心理	2	
生活と看護	2	
発展保健学系		
健康教育学	2	
栄養生態学	2	

第3類（杏林大学学則）

人 口 学	2	
地 域 保 健 学	2	
国 際 保 健 学	2	
臨 床 心 理 学	2	
細 胞 遺 伝 学	2	
現 代 社 会 と 心 の 病 理	2	
認 知 心 理 学	2	
社会福祉学系		
社 会 福 祉 政 策 論	2	
老 人 福 祉 論	2	
高 齢 保 健 学	2	
障 害 者 福 祉 論	4	
児 童 福 祉 論	2	
社 会 保 障 論	4	
公 的 扶 助 論	2	
地 域 福 祉 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論	4	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 実 習	6	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導	6	
医 療 福 祉 論	2	
家 族 福 祉 論	2	
セ ル フ ヘ ル プ グ ル ー プ 論	2	
保 健 福 祉 論	2	
初 め て の 社 会 福 祉	2	
学校保健学系		
学 校 保 健 学	2	学校安全を含む
学 校 保 健 学	2	
学 校 看 護 学	1	
健 康 相 談	2	
健 康 相 談	1	

第3類（杏林大学学則）

養護学概論	2		
カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究	2		
保健科指導研究	2		
看護学	2		
看護学	2		
看護学	2		
看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学論	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規	2		
労働衛生法規	2		
総合			
コーディネート論	2		
特別講義	2		
特別講義	2		
特別演習	1		
特別演習	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターシッブ	2		
卒業研究	4		
計	24	273	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		10 単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
芸 術 学		2		
ホスピタリティ論		2		
文 化 人 類 学		2		1 単位以上
国 際 関 係 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		1 単位以上
体 育 実 技		1		
自然科学系				
統 計 学		2		4 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語	2			6 単位以上
英 語	2			
英 語 会 話		2		
英 語 会 話		2		
医 学 英 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		

第3類（杏林大学学則）

専門基礎領域						
基礎医学系						
解	剖	学	2			
生	理	学	2			
生	化	学	2			
荣	養	学	2			
病	態	学	2			
病	態	学	2			
微	生	物	学	2		
薬	理	学	2			
公	衆	衛	生	学	2	
関	係	法	規	1		
力	ウン	セ	リ	ン	グ	1
臨	床	心	理	学	1	
血	液	学	2			
免	疫	学	2			
医	学	概	論	2		
専門領域						
基礎看護学系						
看	護	学	概	論	2	
看	護	方	法	演	習	2
看	護	方	法	演	習	2
看	護	方	法	演	習	2
看	護	方	法	演	習	2
基	礎	看	護	学	実	習
基	礎	看	護	学	実	習
在宅看護学系						
在	宅	ケ	ア	論	2	
在	宅	ケ	ア	演	習	2
在	宅	看	護	学	実	習
成人・高齢者看護学系						
成	人	看	護	学	概	論
成	人	看	護	学	2	
成	人	看	護	学	2	
成	人	看	護	学	演	習
成	人	看	護	学	実	習
成	人	看	護	学	実	習

第3類（杏林大学学則）

高齡者看護学概論	1		
高齡者看護学	2		
高齡者看護学実習	2		
高齡者看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	1		
精神看護学	2		
精神看護学実習	2		
精神看護学演習	1		
母子看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
小児看護学概論	1		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学実習	2		
地域看護学実習	1		
保健学系			
健康教育学		2	
産業保健学		2	
保健福祉行政論	2		
疫学・保健統計学	2		
保健統計学	2		
保健学概論		1	
保健学		1	
保健学	1		
保健学		1	
保健学	1		
養護学概論		2	

第3類（杏林大学学則）

学 校 保 健 学		2	
学 校 保 健 学		2	
健 康 相 談		2	
健 康 教 育 学		2	
地 域 福 祉 論	2		
児 童 福 祉 論		2	
老 人 福 祉 論	2		
臨床検査学系			
医 用 工 学 概 論		2	
助産学系			
助 産 学 概 論		1	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助産診断・技術学		2	
助 産 管 理 学		1	
助 産 学 特 論		1	
助 産 学 実 習		6	
助 産 学 実 習		2	
総合領域			
看 護 管 理 学		1	
看 護 教 育 論		1	
移植コーディネータ論		1	
特 別 講 義		1	
看 護 理 論		1	
看 護 倫 理		1	
疾 病 論		2	
教 職 総 合 演 習		2	
死 生 学		1	
遺 伝 看 護		1	
地 域 活 動 論	2		
総 合 看 護		2	
救 急 看 護 学		2	
医 療 安 全		1	
国 際 看 護 活 動 論		1	
災 害 看 護 活 動 論		1	

第3類（杏林大学学則）

ボランティア活動		2		4 単位以上
インターンシップ		4		
卒業研究		4		
計	109	132		134 単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10 単位以上
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		
心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸民俗学		2		
数学・物理学系				
基礎物理学		1		4 単位以上
物理学		2		
医用工学概論		2		
数学		2		
統計学		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
化学系				
基礎化学		1		3 単位以上
無機化学		2		
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		3 単位以上
生命科学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

細胞生物学		2	
人類遺伝学		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法		2	
英語	2		
英語	2		
英語		2	
英語		2	
英語		2	
医学英語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語会話		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技	2		
体育実技	1		
基礎医学系			
医学概論		2	
公衆衛生学	2		
公衆衛生学		2	
解剖学	2		
解剖学		2	
生理学	2		
生理学		2	
生化学	2		
病理学	2		
微生物学	2		
血液学		2	
免疫学		2	
薬理学	2		
救命救助法	1		
救急医学系			
内科学	2		
内科学	2		

4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

内科学	2		
内科学		2	
内科学		2	
内科学		2	
医療コミュニケーション学		2	
医療安全論		2	
救急医学概論	2		
救急処置総論	2		
救急処置各論	2		
災害医学		2	
外科学		2	
外科学		2	
外傷学		2	
環境障害・急性中毒学		2	
救急搬送論		2	
小児科学		2	
産婦人科学		2	
整形外科学		2	
脳外科学		2	
精神医学		2	
放射線概論		2	
シミュレーション	2		
シミュレーション	2		
シミュレーション		3	
シミュレーション		3	
シミュレーション		2	
シミュレーション		2	
病院内実習		10	
救急車同乗実習		3	
衛生学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規		2	
労働衛生法規		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	

第3類（杏林大学学則）

特 別 講 義		2		
特 別 講 義		2		
特 別 演 習		1		
特 別 演 習		1		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		4		
卒 業 研 究		4		4 単位以上
計	38	168		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 3

保健学部学科目構成

（平成21年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲		2		10単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法	2	10 単位以上
英 語	2	
英 語	2	
英 語	2	
英 語	2	
英 会 話	2	
医 学 英 語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医 学 概 論	2	
医 学 検 査 概 論	2	
保 健 学 概 論	2	
保 健 学 概 論	2	
公 衆 衛 生 学	2	
公 衆 衛 生 学	2	
解 剖 学	2	
解 剖 学	2	
解 剖 ・ 組 織 学 実 験	1	
病 理 学	2	
病 理 学 実 験	1	
生 理 学	2	
生 理 学	2	
生 理 学 実 験	1	
生 化 学	2	
生 化 学	2	
生 化 学 実 験	1	
血 液 学	2	
血 液 学 実 験	1	
免 疫 学	2	
免 疫 学 実 験	1	
微 生 物 学	2	
微 生 物 学 実 験	1	
医 動 物 学	2	
遺 伝 子 工 学	2	
遺 伝 子 工 学 実 験	1	
分 子 生 物 学	2	

第3類（杏林大学学則）

分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学	2		
生理機能検査学		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学	2		
臨床化学検査学		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学	2		
微生物検査学		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学	2		
免疫検査学		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学		2	
臨床病態学		2	
検査管理学		2	

第3類 (杏林大学学則)

分 析 化 学		2	
分 析 化 学		2	
分 析 化 学 实 験		1	
専 門 实 験 ・ 实 習 手 法	1		
臨 地 实 習		6	
保健学系			
医 療 福 祉 概 論		2	
国 際 保 健 学		2	
生 活 習 慣 病 論		2	
衛生学系			
産 業 保 健 学		2	
環 境 衛 生 工 学		2	
環 境 化 学		2	
食 品 栄 養 学		2	
食 品 衛 生 学		2	
食 品 製 造 学		2	
職 業 適 性 論		2	
劳 働 衛 生 法 規		2	
劳 働 衛 生 法 規		2	
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
細 胞 診 断 学 演 習		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習		1	
化 学 系 特 別 演 習		1	
化 学 系 特 別 演 習		1	
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1	
生 理 機 能 系 特 別 演 習		1	

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習		1		
総合医療演習	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義		2		
特別講義		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	50	196		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法学		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		

第3類（杏林大学学則）

基礎物理学	1	10 単位以上
物理学	2	
物理学実験	1	
基礎化学	1	
無機化学	2	
生物有機化学	2	
化学実験	1	
基礎生物学	1	
生命科学概論	2	
生物学実験	1	
言語系		
日本語表現法	2	英語 ・ （各2単位） 又はフランス語 ・ （各2単位）のどちらか を選択、他に4単位以上
英語	2	
英語	2	
英語	2	
医学英語	2	
英会話	2	
フランス語	2	
フランス語	2	
フランス語	2	
フランス語会話	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学基礎実習	1	
公衆衛生学	2	
公衆衛生学	2	
解剖学	2	
解剖学	2	
病理学	2	
生理学	2	
生理学	2	
生化学	2	

第3類 (杏林大学学則)

生 化 学	2	
血 液 学	2	
免 疫 学	2	
微 生 物 学	2	
微 生 物 学 实 験	1	
薬 理 学	2	
实 験 動 物 学	1	
動 物 实 験 实 習	1	
救 命 救 助 法	1	
専門基礎系		
保 健 学 概 論	2	
保 健 学 概 論	2	
保 健 学 基 礎 实 習	1	
保 健 学 発 展 实 習 (社 会 調 査 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 (健 康 教 育 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 (環 境 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 (遺 伝 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 (心 理 検 査 系)	1	
保 健 学 応 用 实 習 A	1	
保 健 学 応 用 实 習 B	1	
保健学系		
人 類 生 態 学	2	
環 境 保 健 学	2	
疫 学	2	
保 健 管 理 学	2	
健 康 社 会 学	2	
母 子 保 健 学	2	小児保健を含む
成 人 保 健 学	2	

第3類（杏林大学学則）

精神保健学	2	食品学を含む
保健栄養学	2	
人類遺伝学	2	
健康教育学	2	
健康教育学	2	
看護と養護	2	
栄養生態学	2	
人口学	2	
地域保健学	2	
国際保健学	2	
臨床心理学	2	
細胞遺伝学	2	
認知心理学	2	
病気の生化学	2	
健康スポーツ科学	2	
社会福祉学系		
社会福祉学	2	150時間
社会福祉政策論	2	
老人福祉論	2	
高齢保健学	2	
障害者福祉論	2	
児童福祉論	2	
社会保障論	4	
公的扶助論	2	
地域福祉論	4	
社会福祉援助技術総論	4	
社会福祉援助技術総論	2	
社会福祉援助技術論	2	
社会福祉援助技術論	2	
社会福祉援助技術演習	1	
社会福祉援助技術演習	1	
社会福祉援助技術演習	2	

第3類（杏林大学学則）

社会福祉援助技術演習	2	180時間 30時間（実習） 60時間（講義・演習）	
社会福祉援助技術演習	2		
社会福祉援助技術演習	2		
社会福祉援助技術実習	6		
社会福祉援助技術現場実習指導	1		
社会福祉援助技術現場実習指導	4		
医療福祉論	2		
保健福祉論	2		
初めての社会福祉	2		
社会調査概論	1		
福祉行政と福祉計画概論	1		
社会福祉経営論	1		
就労支援概論	1		
権利擁護と成年後見概論	1		
更生保護概論	1		
介護福祉論	2		
学校保健学系			学校安全を含む
学校保健学	2		
学校保健学	2		
学校看護学	1		
健康相談	2		
健康相談	1		
養護学概論	2		
カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究	2		
保健科指導研究	2		
保健科教育法 - 1	2		
保健科教育法 - 2	2		
看護学	2		
看護学	2		
看護学	2		

第3類（杏林大学学則）

看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規	2		
労働衛生法規	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義	2		
特別講義	2		
特別演習	1		
特別演習	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	25	269	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10 単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語	2			10 単位以上
英 語	2			
英 語		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			
代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			

第3類（杏林大学学則）

免 疫 学	1		
病 態 治 療 論	2		
病 態 治 療 論	2		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
病 態 治 療 論	1		
健康支援と社会保障制度			
公 衆 衛 生 学	1		
関 係 法 規	1		
保 健 福 祉 行 政 論	2		
健 康 教 育 学		2	
学 校 保 健 学 概 論	2		
学 校 保 健 学		2	
養 護 学 概 論		2	
カ ウ ン セ リ ン グ		2	
健 康 相 談		2	
疫学と統計			
疫 学	2		
保 健 統 計	2		
基礎看護学			
基礎看護学系			
看 護 学 概 論	1		
看 護 学 概 論	2		
生 活 行 動 援 助 技 術	2		
生 活 行 動 援 助 技 術	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看 護 過 程	1		
治 療 ・ 処 置 技 術	2		
基 礎 看 護 学 実 習	1		
基 礎 看 護 学 実 習	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成 人 看 護 学 概 論	2		
成 人 看 護 学	2		

第3類（杏林大学学則）

成人看護学	2		
成人看護学演習	1		
成人看護学実習	3		
成人看護学実習	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習	2		
高齢者看護学実習	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学方法論	2		
地域看護学	2		
地域看護学	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学実習	1		
地域看護学実習	3		

第3類（杏林大学学則）

応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習		2		☐ — どちらか一方を選択
総合看護学実習		2		
特別講義		2		
特別講義		2		
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論		1		
周産期医学		2		
助産診断・技術学		1		
助産診断・技術学		2		
助産診断・技術学		2		
助産診断・技術学		1		
助産管理学		1		
助産学特別講義		1		
助産学実習		8		
助産学実習		1		
計	121	70		137 単位以上

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		☐ — 必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理学	2			
芸術学		2		
社会福祉学		2		
倫理学		2		

第3類（杏林大学学則）

発 達 心 理 学		2			
職 業 適 性 論		2			
自然科学系					
数 学		2			
統 計 学		2			
情 報 処 理 論	2				
基 礎 物 理 学		1			
物 理 学 概 論		2		必修2単位及び 選択4単位以上	
基 礎 化 学		1			
生 化 学 概 論		2			
基 礎 生 物 学		1			
生 命 科 学 概 論		2			
言語系					
英 語	2				
英 語	2				
英 語		2			
英 語		2		必修4単位及び 選択4単位以上	
英 会 話		2			
医 学 英 語		2			
日 本 語 表 現 法		2			
専門基礎分野					
医学系					
解 剖 学	2				
解 剖 学	1				
解 剖 学 実 習	1				
解 剖 学 実 習	1				
生 理 学	2				
生 理 学	1				
生 理 学 実 習	1				
病 理 学	1				
人 間 発 達 学	2				
リハビリテーション概論	1				
臨 床 心 理 学 概 論	1				
精 神 医 学	2				
内 科 学	2			必修27単位及び 選択3単位以上	
内 科 学	2				

第3類（杏林大学学則）

小 児 科 学	1		
神 經 内 科 学	2		
外 科 学	1		
整 形 外 科 学	2		
脳 神 經 外 科 学	1		
リハビリテーション医学	1		
医 療 安 全 論	1		
感 染 症 学		1	
免 疫 学		1	
薬 理 学		1	
栄 養 学		1	
保健学・衛生学系			
保 健 学 概 論		2	
高 齢 保 健 学		2	
産 業 保 健 学		2	
地 域 保 健 学		2	
公 衆 衛 生 学		2	
公 衆 衛 生 学		2	
環 境 衛 生 工 学		2	
看 護 学		2	
救 命 救 助 法		1	
労 働 衛 生 法 規		2	
労 働 衛 生 法 規		2	
専門分野			
基礎理学療法学系			
理 学 療 法 概 論	1		
理 学 療 法 用 語 論		1	
運 動 学	1		
運 動 学 実 習	1		
病 態 運 動 学		2	
運 動 解 剖 学		1	
理学療法評価学系			
理 学 療 法 評 価 学 概 論	1		
理 学 療 法 評 価 学	1		
理 学 療 法 評 価 学	1		
理 学 療 法 評 価 学 実 習	1		

4 単位以上

第3類（杏林大学学則）

動作分析学		1		
理学療法治療学系				
理学療法治療学総論		1		
運動療法学	2			
運動療法学実習	1			
物理療法学	1			
物理療法学	1			
物理療法学実習	1			
義肢学	1			
義肢学実習	1			
装具学	1			
装具学実習	1			
日常生活技術学	1			
日常生活技術学実習	1			
運動器障害系理学療法学	1			
運動器障害系理学療法学	1			
神経障害系理学療法学	1			
神経障害系理学療法学	1			
内部障害系理学療法学	1			
内部障害系理学療法学	1			
小児理学療法学	1			
高次脳機能障害学		1		
高齢者理学療法学		1		
急性期理学療法学		1		
スポーツ障害理学療法学		1		
マニュアルセラピー		1		
プロフェッショナルスキル	4			
クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
生活環境学	1			
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習	2			
評価実習	4			

必修6 2単位及び
選択7単位以上

第3類（杏林大学学則）

総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論		1		
理学療法特論		1		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	4			
特別講義		1		
特別講義		1		
卒業研究	4			
計	97	87		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 4

保健学部学科目構成

（平成22年度入学生から適用）

臨床工学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				10単位以上
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学	2			
発達心理学		2		
芸術		2		
健康スポーツ科学		2		
数学系				
基礎数学		1		
数値演習	2			
統計学演習		1		
医療情報科学	2			
計算機演習	2			
応用数学	2			
物理学系				
基礎物理学		1		
基礎電気学	2			
基礎電子回路	2			
医用工学概論	2			
化学系				3単位以上
基礎科学		1		
無機化学		2		
生物有機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		

第3類 (杏林大学学則)

生命科学概論		2	3 単位以上
細胞生物学		2	
人類遺伝学		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法	2		英語 ・ (各2単位)又はフランス語 ・ (各2単位)、どちらか選択、他に4単位以上。
英語		2	
英語		2	
英語		2	
医学英語		2	
英会話		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語		2	
フランス語会話		2	
基礎医学系			
医学概論	2		2 単位以上
公衆衛生学	2		
公衆衛生学		2	
解剖学	2		
解剖学		2	
病理学	2		
生理学	2		
生理学	2		
生理学実験	1		
生化学		2	
生化学		2	
血液学		2	
免疫学		2	
微生物学		2	
動物学		2	
薬理学		2	
看護学		2	
医学検査系			
生理学検査	2		
生理学検査	2		

第3類 (杏林大学学則)

画像診断技術		2	
生理学検査実習		1	
臨床検査学		2	
臨床遺伝学		2	
臨床工学系			
医用電気工学	2		
医用電気工学実習		1	
医用電子工学	2		
医用電子工学実習		1	
システム工学		2	
医用情報処理工学	2		
医用情報処理工学実習		1	
医用計測工学	2		
医用計測工学実習		1	
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学		2	
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
医用計測機器学実習		1	
医用治療機器学	2		
医用治療機器学実習		1	
生体機能代行装置学概論		2	
生体機能代行装置学基礎実習		1	
呼吸関連機器学		2	
呼吸関連機器学実習		1	
血液浄化装置学		2	
応用血液浄化装置学		2	
血液浄化装置学実習		1	
体外循環機器学		2	
体外循環機器学実習		1	
医用機器安全管理学	2		
医用機器安全管理学		2	
安全管理学実習		1	
臨床医学各論	2		
臨床医学各論	2		
臨床医学各論	2		

第3類 (杏林大学学則)

臨床医学各論	2			
医療関係法規		2		
臨床実習講義		1		
臨床実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学		2		
分析化学		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規		2		
労働衛生法規		2		
救命救助法		2		
総合				
特別講義		2		
特別講義		2		
特別演習		1		
特別演習		1		
総合演習		2		
卒業	4			
計	67	146		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2 - 5

保健学部学科目構成

（平成23年度入学生から適用）

作業療法学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		必修2単位及び 選択6単位以上
社 会 学		2		
法 学		2		
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
芸 術 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
職 業 適 性 学 論		2		
自然科学系				
数 学		2		必修2単位及び 選択4単位以上
統 計 学		2		
情 報 処 理 学 論	2			
基 礎 物 理 学 論		1		
物 理 学 概 論		2		
基 礎 化 学 論		1		
生 化 学 概 論		2		
基 礎 生 物 学		1		
生 命 科 学 概 論		2		
分 子 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
語学系				
英 語	2			必修4単位及び 選択4単位以上
英 語	2			
英 語		2		
英 語		2		
英 会 話		2		

第3類（杏林大学学則）

医学英語		2	
日本語表現法		2	
専門基礎分野			
医学系			
解剖学	2		
解剖学	1		
解剖学実習	1		
解剖学実習	1		
生理学	2		
生理学	1		
生理学実習	1		
病理学	1		
人間発達学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨床心理学概論	1		
精神医学	2		
内科学	2		
内科学		2	
小児科学	1		
神経内科学	2		
外科	1		
整形外科	2		
脳神経外科学	1		
リハビリテーション医学	1		
医療安全論	1		
感染症学		1	
免疫学		1	
薬理学		1	
栄養学		1	
保健学・衛生学系			
保健学概論		2	
高齢保健学	2		
産業保健学		2	
地域保健学		2	
公衆衛生学		2	
公衆衛生学		2	
			必修27単位及び 選択3単位以上
			4単位以上

第3類（杏林大学学則）

環境衛生工学		2		
看護学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規		2		
労働衛生法規		2		
専門分野				
基礎作業療法学系				
作業療法学概論	1			
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
基礎作業学概論	1			
基礎作業学実習	1			
(作業活動の基礎)				
基礎作業学実習	1			
(作業活動の応用)				
作業分析学（基本的分析）	1			
作業分析学（客観的分析）	1			
作業療法管理運営		1		
作業療法諸理論		1		
作業療法評価学系				
作業療法評価学（概要）	1			
作業療法評価学（疾患別）	1			
作業療法評価学実習	1			
(中枢神経系疾患)				
作業療法評価学実習	1			
(発達、精神障害)				
作業療法評価学実習	1			
(老年期障害)				
認知機能評価法		1		
作業療法治療学系				
身体障害作業療法学	1			
(内科系疾患)				
身体障害作業療法学	1			
(運動器系疾患)				
身体障害作業療法学	1			

第3類（杏林大学学則）

（中枢神経系疾患：脳血管） 身体障害作業療法学	1				
（中枢神経系疾患：進行性） 身体障害作業療法学演習	1				
高次脳機能障害作業療法学	1				
精神障害作業療法学（総論）	1				
精神障害作業療法学（疾患別）	1				
精神障害作業療法学演習	1				
発達障害作業療法学（総論）	1				
発達障害作業療法学（疾患別）	1				
発達障害作業療法学演習	1				
老年期障害作業療法学	1				
認知障害作業療法学	1				
職業関連作業療法学	1				
身体機能代償学	1				必修65単位及び 選択4単位以上
義肢装具学	1				
義肢装具学実習	1				
福祉機器適応学	1				
日常生活活動学（治療法）	1				
日常生活活動学（動作内容）	1				
バリアフリー論		1			
レクリエーション概論		1			
クリニカルリーズニング		1			
ハンドセラピー学		1			
地域作業療法学系					
地域生活作業療法学	1				
地域ケアシステム論	1				
住環境整備論	1				
地域生活作業療法学演習	1				
作業療法国際事情		1			
臨床実習系					
見学実習	1				
評価実習	2				
評価実習	4				
総合臨床実習	14				
総合領域					

第3類（杏林大学学則）

作業療法学特論		1		
作業療法学特論		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義		1		
特別講義		1		
卒業研究	4			
計	102	78		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 1（平成14年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

1 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	総合政策論		4		28単位以上
	国際関係論		2		
	国際情勢分析論		2		
	日本経済論		2		
	金融財政論		2		
	経済政策論		2		
	経営学総論		4		
	会計学総論		4		
	情報処理概論		4		
	憲法		4		
	民法総論		2		
	物権法各論		2		
	契約法論		2		
	刑事法概論		2		
	日本政治論		2		
	日本行政論		2		
	社会保険法		4		
	社会福祉法		2		
	社会福祉学		2		
	環境経済学		2		
地域社会学		2			
IT総論		2			
インターネット情報論		2			
キャリア開発論		2			
比較文化論		4			
基礎演習		2			
国際政経コース	国際政治学		2		
	国際政治史		2		
	比較政治学		2		
	外交政策論		2		
	安全保障論		2		
	日本外交論		2		
	アメリカ外交論		2		
	中国外交論		2		
	世界経済論		2		
	国際貿易論		2		
国際金融論		2			
国際投資論		2			

第3類（杏林大学学則）

基 本 科 目		経 済 開 発 論 国 際 協 力 論 資 源 政 策 論 国 際 経 営 論		2 2 2 2				
	経営 情報 コース	経 営 情 報 論 経営情報システム論 日 本 経 営 論 経 営 管 理 論 経 営 戦 略 論 戦 略 マ ネ ジ メ ン ト 論 人 材 マ ネ ジ メ ン ト 論 組 織 心 理 学 e コ マ ー ス 論 マ ー ケ テ ィ ン グ 概 論 会 計 学 原 理 財 務 会 計 論 管 理 会 計 論 会 計 デ ィ ス ク ロ ー ジャ ー 論 会 計 監 査 論 情 報 処 理 論		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 コースを 選択し、所 属コースの 科目を20単 位以上		
		法律 行政 コース	物 権 法 総 論 債 権 法 総 論 不 家 族 法 法 相 会 社 法 法 民 事 訴 訟 法 刑 法 総 論 労 働 基 準 法 行 政 政 法 学 行 政 策 過 程 論 公 共 選 択 論 政 治 組 織 論 立 法 過 程 論		2 2 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2			
			環境 福祉 コース	環 境 科 学 環 境 法 環 境 ア セ ス メ ン ト 論 環 境 政 策 論 社 会 保 障 論 社 会 福 祉 政 策 論 公 的 扶 助 論 現 代 家 族 法 医 事 法			2 2 2 2 4 2 2 2	

第3類（杏林大学学則）

		労働衛生法規	4		
		保健学概論	2		
		人類生態学	2		
		環境保健学	2		
		産業保健学	2		
		国際保健学	2		
発 展 目 科	A群	現代アメリカ政治論	2		36単位以上
		現代ヨーロッパ政治論	2		
		現代ロシア政治論	2		
		現代中国政治論	2		
		現代東アジア政治論	2		
		現代中東政治論	2		
		国際機構論	2		
		国際紛争処理論	2		
		エネルギー戦略論	2		
	B群	国際マクロ経済学	2		
		日本通商政策論	2		
		アメリカ経済論	2		
		ヨーロッパ経済論	2		
		アジア経済論	2		
		開発政策論	2		
	C群	原価計算論	2		
		監査制度論	2		
		企業取引法	2		
		有価証券法	2		
		電子商取引法	2		
		税法	4		
		税法各論	2		
	税務会計論	2			
	D群	日本経営史	2		
		欧米経営史	2		
		組織行動論	2		
		組織デザイン論	2		
国際経営戦略論		2			
マーケティング戦略論		2			
消費者行動論		2			
経営分析		2			
経営財務		2			
流通システム論		2			
現代会社研究		2			
	金融法	2			
	担保法	2			
	住宅関係法	2			
	民事執行法	2			

第3類（杏林大学学則）

E群	民 事 保 全 法	2	
	民 事 清 算 法	2	
	民 事 更 生 法	2	
	経 済 刑 法	2	
	刑 事 訴 訟 法	2	
	労 使 関 係 法	2	
	国 際 私 法	2	
	国 際 法	2	
F群	現 代 日 本 政 策 論	2	
	行 政 救 済 法	2	
	パブリックマネジメント論	2	
	地 方 政 府 論	2	
	日 本 法 制 史	2	
	日 本 政 治 史	2	
	政 治 心 理 学	2	
マスコミュニケーション論	2		
G群	人 口 学	2	
	人 産 業 社 会 学	2	
	保 健 社 会 学	2	
	環 境 保 全 論	2	
	環 境 生 物 学	2	
H群	環 境 衛 生 工 学	2	
	地 域 福 祉 論	2	
	老 人 福 祉 論	2	
	障 害 者 福 祉 論	4	
	児 童 福 祉 論	2	
	社会福祉援助技術総論	4	
	保 健 管 理 学	2	
	地 域 保 健 学	2	
	高 齢 保 健 学	2	
学 校 保 健 学	2		
I群	カウンセリング論	2	
	サイバーポリティクス論	2	
	デジタレコノミー論	2	
	情 報 産 業 論	2	
	コンピユータシステム論	2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 論	2	
	シ ス テ ム 設 計	2	
	法 情 報 学	2	
情 報 社 会 論	2		
研究会	デ ー タ 分 析 論	2	
	演 卒 業 研 習	8	
	業 研 究	4	

第3類（杏林大学学則）

2 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必 修	選 択	自 由	
1 類	人文学分野	宗 教 学	A		2		8 単位以上
		宗 教 学	B		2		
		哲 学	A		2		
		哲 学	B		2		
		倫 理 学	A		2		
		倫 理 学	B		2		
		歴 史 学	A		2		
		歴 史 学	B		2		
		文 学	A		2		
	文 学	B		2			
	音 楽	A		2			
	音 楽	B		2			
	社会科学分野	社 会 学	A		2		8 単位以上
		社 会 学	B		2		
		法 学	A		2		
		法 学 B（日本国憲法）			2		
		政 治 学	A		2		
		政 治 学	B		2		
		地 理 学	A		2		
		地 理 学	B		2		
		経 済 学	A		2		
	経 済 学	B		2			
	自然科学分野	数 学	A		2		8 単位以上
		数 学	B		2		
		統 計 学	A		2		
		統 計 学	B		2		
		物 理 学	A		2		
物 理 学		B		2			
化 学		A		2			
化 学		B		2			
生 物 学		A		2			
生 物 学		B		2			
心 理 学		A		2			
心 理 学		B		2			
2 類	第 1 外国語	英 語	A		2	6 単位以上	
		英 語	B		2		
		英 語	C		2		
		英 発 展	A		2		
		英 発 展	B		2		
		英 発 展			2		
		英 発 展	C		2		

第3類（杏林大学学則）

第2類 外国語	ドイツ語 A		2	ドイツ語・フランス語・中国語のいずれかを選択し、4単位以上
	ドイツ語 B		2	
	発展ドイツ語		2	
	フランス語 A		2	
	フランス語 B		2	
	発展フランス語		2	
	中国語 A		2	
	中国語 B		2	
3類	発展中国語		2	1学期間に他科目を履修しない者は必修
	特別プレゼミナールA		2	
	特別プレゼミナールB		2	
	特別演習		2	
	特別演習		2	
	特別演習		2	
	特別演習		2	
4類	体育実技 A		1	
	体育実技 B		1	
	体育理論		2	
自由科目				

3 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史			2	
日本史			2	
外国史			2	
国誌			2	
地誌			2	
地誌			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 2（平成18年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論		2		16単位以上
	国際関係論		2		
	日本政治論		2		
	日本政治論		2		
	憲法		2		
	憲法		2		
	民法総論		2		
	民法総論		2		
	社会福祉学		2		
	社会福祉学		2		
	経済原論		2		
	経済原論		2		
	財政学概論		2		
	財政学概論		2		
	総合政策論		2		
総合政策論		2			
	国際政治学		2		
	国際政治学		2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 基本科目	比較政治学	2	24単位以上
	比較政治学	2	
	外交政策論	2	
	外交政策論	2	
	経済政策論	2	
	経済政策論	2	
	国際政治史	2	
	国際政治史	2	
	国際貿易論	2	
	国際貿易論	2	
	国際金融論	2	
	国際金融論	2	
	国際投資論	2	
	国際投資論	2	
	経済開発論	2	
	経済開発論	2	
国際法	2		
国際法	2		
アメリカ政治外交論	2		
ヨーロッパ政治外交論	2		
ロシア政治外交論	2		
中国政治外交論	2		
中東政治外交論	2		
エネルギー戦略論	2		
朝鮮半島政治外交論	2		
国際資源論	2		
途上国協力論	2		
国際機構論	2		
日本経済論	2		
世界経済論	2		
アメリカ経済論	2		
ヨーロッパ経済論	2		
アジア経済論	2		
環境経済学	2		
環境政策論	2		
国際企業論	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	国際企業論	2	42単位以上
	国際私法	2	
	環境法	2	
	国際経営論	2	
	国際経営論	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
演習	12		
演習	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	公共選択論	2	24単位以上
	公共選択論	2	
	比較政治学	2	
	比較政治学	2	
	行政学	2	
	行政学	2	
	行政法	2	
	行政法	2	
	物権法	2	
	物権法	2	
	債権法	2	
債権法	2		
家族法	2		

第3類（杏林大学学則）

	家 族 法		2	
	刑 事 法		2	
	刑 事 法		2	
	劳 働 法		2	
	劳 働 法		2	
	経 済 政 策 論		2	
	経 済 政 策 論		2	
	会 社 法		2	
	会 社 法		2	
	刑 法 総 論		2	
	刑 法 各 論		2	
	民 事 訴 訟 法		2	
	刑 事 訴 訟 法		2	
	医 事 法		2	
	医 事 法		2	
	税 法		2	
	税 法		2	
	有 価 証 券 法		2	
	企 業 取 引 法		2	
	現 代 家 族 法 論		2	
	情 報 法 制		2	
	経 済 刑 法		2	
	国 際 私 法		2	
	国 際 法		2	
	国 際 法		2	
	環 境 法		2	
	年 金 ・ 劳 働 保 險 法		2	
	劳 働 衛 生 法 規		2	
	社 会 保 障 論		2	
法律行政	社 会 保 障 論		2	
コース	日 本 法 制 史		2	— 4 2 単位以上
発展科目	日 本 政 治 史		2	
	政 策 過 程 論		2	
	立 法 過 程 論		2	
	地 方 政 府 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	

第3類（杏林大学学則）

	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
	演習	1 2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論	2	24単位以上
	社会保障論	2	
	環境科学概論	2	
	環境科学概論	2	
	人類生態学	2	
	人類生態学	2	
	人体構造機能論	2	
	人体構造機能論	2	
	健康福祉システム論	2	
	健康福祉システム論	2	
	障害者福祉論	2	
	障害者福祉論	2	
	医療経済学	2	
	医療経済学	2	
	医事法	2	
	医事法	2	
家族法	2		
家族法	2		
労働法	2		

第3類（杏林大学学則）

	労働法			
	国際保健学		2	
	環境保健学		2	
	疫学		2	
	カウンセリング論		2	
	社会福祉政策論		2	
	児童福祉論		2	
	老人福祉論		2	
	経済政策論		2	
	経済政策論		2	
	環境経済学		2	
	環境政策論		2	
	環境アセスメント論		2	
	環境保全論		2	
	医療福祉財政論		2	
	社会福祉援助技術総論		2	
	社会福祉援助技術総論		2	
	産業社会学		2	
	地域社会学		2	
環境福祉	環境法		2	
コース	現代家族法論		2	— 42単位以上
発展科目	年金・労働保険法		2	
	労働衛生法規		2	
	キャリア開発論		2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	国際関係論演習		2	
	経済原論演習		2	
	憲法演習		2	
	民法演習		2	
	行政法演習		2	
	行政学演習		2	
	政治学演習		2	
	インターンシップ		2	
	インターンシップ		2	

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習	2	
学 際 演 習	2	
演 習	1 2	
演 習	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
	音 楽 A		2		
	音 楽 B		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
政 治 学 A			2		
政 治 学 B			2		
地 理 学 A			2		
地 理 学 B			2		
自然科学 分 野	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		
	統 計 学 B		2		
	物 理 学 A		2		
					16 単位以上

第3類（杏林大学学則）

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2 類	第 1 外国語	英語		2		
		英語		2		
		英語		2		
		日本語 A		2		留学生のみ
		日本語 B		2		
		日本語 C		2		
	発展英語 A		2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる	
	発展英語 B		2			
	発展英語 C		2			
	ドイツ語 A		2			
	ドイツ語 B		2			
	フランス語 A		2			
	フランス語 B		2			
	中国語 A		2			
	中国語 B		2			
	スペイン語 A		2			
	スペイン語 B		2			
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3 類		特別プレゼミナルA		2		
		特別プレゼミナルB		2		
		特別演習		2		
		特別演習		2		
		特別演習		2		
		特別演習		2		
		特別演習		2		
		特別演習		2		
4 類		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		

第3類（杏林大学学則）

	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	4			
文 章 力 演 習	2			
読 解 力 演 習	2			
計 算 力 演 習	2			
近 現 代 史 論	2			
デ ー タ 分 析 演 習	2			
表 現 力 演 習	2			

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
経 営 学 総 論		2		16単位以上
経 営 学 総 論		2		
会 計 学 総 論		2		
会 計 学 総 論		2		
情 報 処 理 概 論		2		
共 通 科 目 情 報 処 理 概 論		2		

第3類（杏林大学学則）

	マーケティング総論	2	
	マーケティング総論	2	
	経営情報論	2	
	経営情報論	2	
	総合政策論	2	
	総合政策論	2	
経営戦略 コース 基本科目	経営管理総論	2	24単位以上
	経営管理総論	2	
	経営戦略論	2	
	経営戦略論	2	
	人材マネジメント論	2	
	人材マネジメント論	2	
	経営史	2	
	経営史	2	
	経営組織論	2	
	経営組織論	2	
	国際経営論	2	
	国際経営論	2	
	財務管理	2	
	財務管理	2	
	流通システム論	2	
	流通システム論	2	
会社法	2		
会社法	2		
労働法	2		
労働法	2		
	キャリア開発論	2	
	地域社会学	2	
	産業社会学	2	
	情報処理論	2	
	情報処理論	2	
	システム設計	2	
	システム設計	2	
	簿記論	2	
	簿記論	2	
	株式会社簿記論	2	

第3類（杏林大学学則）

経営戦略 コ－ス 発展科目	株 式 会 社 簿 記 論	2	
	財 務 会 計 論	2	
	財 務 会 計 論	2	
	財 務 会 計 各 論	2	
	財 務 会 計 各 論	2	
	税 法	2	
	税 法	2	
	税 法 各 論	2	
	税 法 各 論	2	
	財 政 学 概 論	2	
	財 政 学 概 論	2	
	国 際 関 係 論	2	
	国 際 関 係 論	2	
	世 界 経 済 論	2	
	国 際 貿 易 論	2	
	国 際 貿 易 論	2	
	国 際 金 融 論	2	
	国 際 金 融 論	2	— 4 2 単位以上
	国 際 投 資 論	2	
	国 際 投 資 論	2	
	国 際 企 業 論	2	
	国 際 企 業 論	2	
	環 境 経 済 学 論	2	
	環 境 政 策 論	2	
	憲 法	2	
	憲 法	2	
	民 法 総 論	2	
	民 法 総 論	2	
物 権 法	2		
物 権 法	2		
債 権 法	2		
債 権 法	2		
有 価 証 券 法	2		
有 価 証 券 法	2		
企 業 取 引 法	2		
国 際 法	2		
国 際 法	2		

第3類（杏林大学学則）

	経済刑法	2	
	社会保障論	2	
	社会保障論	2	
	経済政策論	2	
	経済政策論	2	
	経済原論	2	
	経済原論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
	演習	1 2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
	簿記論	2	
	簿記論	2	
	株式会社簿記論	2	
	株式会社簿記論	2	
	財務会計論	2	
	財務会計論	2	
	財務会計各論	2	
	財務会計各論	2	
経営会計	税法	2	
コース	税法	2	
基本科目	税法各論	2	
	税法各論	2	
			24単位以上

第3類（杏林大学学則）

情報処理論	2		
情報処理論	2		
システム設計	2		
システム設計	2		
会社法	2		
会社法	2		
労働法	2		
労働法	2		
管理会計論	2		
会計監査論	2		
経営管理総論	2		
経営管理総論	2		
経営戦略論	2		
経営戦略論	2		
人材マネジメント論	2		
人材マネジメント論	2		
経営史	2		
経営史	2		
財務管理	2		
財務管理	2		
経営組織論	2		
経営組織論	2		
国際経営論	2		
国際経営論	2		
流通システム論	2		
流通システム論	2		
地域社会学	2		
産業社会学	2		
キャリア開発論	2		
財政学概論	2		
財政学概論	2		
国際関係論	2		
国際関係論	2		
世界経済論	2		
国際貿易論	2		
国際貿易論	2		

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 発展科目	国際金融論	2	— 4 2 単位以上
	国際金融論	2	
	国際投資論	2	
	国際投資論	2	
	国際企業論	2	
	国際企業論	2	
	環境経済学	2	
	環境政策論	2	
	憲法	2	
	憲法	2	
	民法総論	2	
	民法総論	2	
	物権法	2	
	物権法	2	
	債権法	2	
	債権法	2	
	有価証券法	2	
	企業取引法	2	
	国際法	2	
	国際法	2	
	経済刑法	2	
	社会保障論	2	
	社会保障論	2	
	経済政策論	2	
	経済政策論	2	
	経済原論	2	
	経済原論	2	
	憲法概論	2	
民法概論	2		
政治学概論	2		
国際関係論演習	2		
経済原論演習	2		
憲法演習	2		
民法演習	2		
行政法演習	2		
行政学演習	2		

第3類（杏林大学学則）

政治学演習	2		
インターンシップ	2		
インターンシップ	2		
学際演習	2		
学際演習	2		
演習	12		
演習	8		
卒業研究	4		

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学分野	宗教学 A		2	
		宗教学 B		2	
		哲学 A		2	
		哲学 B		2	
		倫理学 A		2	
		倫理学 B		2	
		歴史学 A		2	
		歴史学 B		2	
		文学 A		2	
		文学 B		2	
		音楽 A		2	
		音楽 B		2	
	社会科学分野	社会学 A		2	
		社会学 B		2	
		法学 A		2	
		法学 B (日本国憲法)		2	
		政治学 A		2	
		政治学 B		2	
		地理学 A		2	
		地理学 B		2	
数学	数学 A		2		
	数学 B		2		

16 単位以上

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	統計学 A	2		
		統計学 B	2		
		物理学 A	2		
		物理学 B	2		
		化学 A	2		
		化学 B	2		
		生物学 A	2		
		生物学 B	2		
		心理学 A	2		
		心理学 B	2		
2類	第1外国語	英語	2		
		英語	2		
		英語	2		
		日本語 A	2		留学生のみ
		日本語 B	2		
		日本語 C	2		
	第2外国語	発展英語 A	2	最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる	
		発展英語 B	2		
		発展英語 C	2		
		ドイツ語 A	2		
		ドイツ語 B	2		
		フランス語 A	2		
		フランス語 B	2		
		中国語 A	2		
		中国語 B	2		
		スペイン語 A	2		
		スペイン語 B	2		
韓国語 A	2				
韓国語 B	2				
3類	特別プレゼミナルA	2			
	特別プレゼミナルB	2			
	特別演習	2			
	特別演習	2			
	特別演習	2			
	特別演習	2			
	特別演習	2			

第3類（杏林大学学則）

	特 別 演 習		2		
4	類 体 育 実 技 A		1		
	体 育 実 技 B		1		
	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3 - 3（平成22年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	2			8単位以上
社会のしくみ	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論		2	32単位以上
	国際関係論		2	
	経済原論		2	
	経済原論		2	
	憲法		2	
	憲法		2	
	民法総論		2	
	民法総論		2	
	日本政治論		2	
	日本政治論		2	
	社会福祉学		2	
	社会福祉学		2	
	環境保全論		2	
	環境保全論		2	
	健康科学		2	
	健康科学		2	
財政金融論		2		
財政金融論		2		

第3類（杏林大学学則）

	外交政策論	2		
	外交政策論	2		
	刑事法概論	2		
	刑事法概論	2		
	ヒューマンエコロジー	2		
	ヒューマンエコロジー	2		
国際政経 コース 基本科目	国際協力論	2		16単位以上
	国際協力論	2		
	国際政治学	2		
	国際政治学	2		
	経済政策論	2		
	経済政策論	2		
	国際貿易論	2		
	国際貿易論	2		
	国際金融論	2		
	国際金融論	2		
	日本経済論	2		
	アジア経済論	2		
	アメリカ経済論	2		
	ヨーロッパ経済論	2		
	世界経済論	2		
	国際投資論	2		
	経済開発論	2		
	国際経営論	2		
	環境経済学	2		
	環境経済学	2		
	環境政策論	2		
	国際法	2		
	国際法	2		
	国際政治史	2		
	比較政治学	2		
	アジア政治論	2		
	アメリカ政治論	2		
	ロシア政治論	2		
	ヨーロッパ政治論	2		
	資源エネルギー論	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	経営学総論	2	34単位以上
	経営学総論	2	
	マーケティング総論	2	
	マーケティング総論	2	
	基礎簿記	2	
	基礎簿記	2	
	キャリア開発論	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
学際演習	2		
学際演習	2		
演習	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	物権法	2	16単位以上
	物権法	2	
	家族法	2	
	家族法	2	
	刑法	2	
	刑法	2	
	行政学	2	
	行政学	2	
	公共選択論	2	
	公共選択論	2	
行政法	2		

第3類 (杏林大学学則)

	行 政 法		2	
	債 権 法		2	
	債 権 法		2	
	労 働 法		2	
	労 働 法		2	
	会 社 法		2	
	会 社 法		2	
	民 事 訴 訟 法		2	
	刑 事 訴 訟 法		2	
	経 済 刑 法		2	
	医 事 法 総 論		2	
	医 事 法 各 論		2	
	企 業 法 総 論		2	
	企 業 法 取 引 法		2	
	税 法		2	
	税 法		2	
	基 礎 簿 記		2	
	基 礎 簿 記		2	
	国 際 法		2	
	国 際 法		2	
	環 境 法 制		2	
	情 報 法 制		2	
法律行政	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2	
コ ー ス	比 較 政 治 学		2	— 3 4 単位以上
発展科目	日 本 法 制 史		2	
	日 本 政 治 史		2	
	政 策 過 程 論		2	
	立 法 過 程 論		2	
	地 方 政 府 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	
	憲 法 概 論		2	
	民 法 概 論		2	
	政 治 学 概 論		2	
	経 済 原 論 演 習		2	
	憲 法 演 習		2	

第3類（杏林大学学則）

	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップ	2		
	インターンシップ	2		
	学際演習	2		
	学際演習	2		
	学際演習	2		
	学際演習	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論	2		16単位以上
	社会保障論	2		
	環境科学概論	2		
	環境科学概論	2		
	保健医療システム論	2		
	保健医療システム論	2		
	障害者・老人福祉論	2		
	障害者・老人福祉論	2		
	環境経済学	2		
	環境経済学	2		
	環境保健学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	社会福祉援助技術総論	2		
	社会福祉援助技術総論	2		
	経済政策論	2		
	経済政策論	2		
	環境政策論	2		
	資源エネルギー論	2		
	産業社会学	2		
	産業社会学	2		
	経営戦略論	2		
	経営戦略論	2		

第3類（杏林大学学則）

環境福祉 コース 発展科目	国際協力論	2	34単位以上
	国際協力論	2	
	医事法総論	2	
	医事法各論	2	
	環境法	2	
	年金・労働保険法	2	
	労働法	2	
	労働法	2	
	経営学総論	2	
	経営学総論	2	
	マーケティング総論	2	
	マーケティング総論	2	
	基礎簿記	2	
	基礎簿記	2	
	キャリア開発論	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
	学際演習	2	
学際演習	2		
演習	8		
卒業研究	4		

第3類（杏林大学学則）

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学分野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
		人 文 科 学 概 論		2	
	社会科学分野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
		地 理 学 B		2	
		経 済 学 A		2	
	経 済 学 B		2		
	自然科学分野	数 学 A		2	
		数 学 B		2	
		統 計 学 A		2	
		統 計 学 B		2	
		物 理 学 A		2	
		物 理 学 B		2	
		化 学 A		2	
化 学 B			2		
生 物 学 A			2		
生 物 学 B		2			

第3類（杏林大学学則）

		心 理 学 A		2		
		心 理 学 B		2		
		自 然 科 学 概 論		2		
2 類	第 1 外 国 語	英 語	2			— 留学生のみ
		英 語	2			
		日 本 語 A	2			
		日 本 語 B	2			
	第 2 外 国 語	発 展 英 語 A		2		— 最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発 展 英 語 B		2		
		ド イ ツ 語 A		2		
		ド イ ツ 語 B		2		
		フ ラ ン ス 語 A		2		
		フ ラ ン ス 語 B		2		
		ス ペ イ ン 語 A		2		
		ス ペ イ ン 語 B		2		
		中 国 語 A		2		
		中 国 語 B		2		
		韓 国 語 A		2		
		韓 国 語 B		2		
3 類	プ レ ゼ ミ ナ ー ル A	2				
	プ レ ゼ ミ ナ ー ル B	2				
	基 礎 演 習		2			
	基 礎 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
	特 別 演 習		2			
4 類	体 育 実 技 A		1			
	体 育 実 技 B		1			
	体 育 理 論		2			
自 由 科 目						

第3類（杏林大学学則）

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史			2	
日本史			2	
外国史			2	
外国史			2	
地誌学			2	
地誌学			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	2			8単位以上
社会のしくみ	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
経営学総論		2		
経営学総論		2		
マーケティング総論		2		
マーケティング総論		2		
経営情報論		2		
経営情報論		2		
キャリア開発論		2		
キャリア開発論		2		
基礎簿記		2		

第3類（杏林大学学則）

共通科目	基礎簿記	2	32 単位以上
	商業簿記	2	
	商業簿記	2	
	財務会計論	2	
	財務会計論	2	
	会社法	2	
	会社法	2	
	経営管理総論	2	
	経営管理総論	2	
	人材マネジメント論	2	
	人材マネジメント論	2	
	工業簿記	2	
	工業簿記	2	
	基礎簿記各論	2	
基礎簿記各論	2		
経営戦略 コース 基本科目	経営史	2	16 単位以上
	経営史	2	
	経営戦略論	2	
	経営戦略論	2	
	財務管理論	2	
	財務管理論	2	
	流通システム論	2	
	流通システム論	2	
	経営組織論	2	
	経営組織論	2	
	中小企業経営論	2	
	国際経営論	2	
	産業社会学	2	
	産業社会学	2	
	財務会計各論	2	
	財務会計各論	2	
	商業簿記各論	2	
	商業簿記各論	2	
	工業簿記各論	2	
	工業簿記各論	2	
	税法	2	

第3類（杏林大学学則）

	税 法	2	
	劳 働 法	2	
	劳 働 法	2	
	企 業 法 総 論	2	
	企 業 取 引 法	2	
	行 政 法	2	
	行 政 法	2	
	経 済 刑 法	2	
	年 金 ・ 劳 働 保 険 法	2	
	国 際 法	2	
	国 際 法	2	
経営戦略	行 政 学	2	
コース	行 政 学	2	3 4 単位以上
発展科目	国 際 政 治 学	2	
	国 際 政 治 学	2	
	経 済 原 論	2	
	経 済 原 論	2	
	財 政 金 融 論	2	
	財 政 金 融 論	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	経 済 原 論 演 習	2	
	憲 法 演 習	2	
	民 法 演 習	2	
	行 政 法 演 習	2	
	行 政 学 演 習	2	
	政 治 学 演 習	2	
	インターンシップ	2	
	インターンシップ	2	
	学 際 演 習	2	
	学 際 演 習	2	
	学 際 演 習	2	
	学 際 演 習	2	
	演 習	8	
	卒 業 研 究	4	

第3類（杏林大学学則）

経営会計 コース 基本科目	財務会計各論	2	16単位以上
	財務会計各論	2	
	商業簿記各論	2	
	商業簿記各論	2	
	工業簿記各論	2	
	工業簿記各論	2	
	税法	2	
	税法	2	
	労働法	2	
労働法	2		
経営会計 コース	産業社会学	2	34単位以上
	産業社会学	2	
	流通システム論	2	
	流通システム論	2	
	中小企業経営論	2	
	国際経営論	2	
	経営組織論	2	
	経営組織論	2	
	経営戦略論	2	
	経営戦略論	2	
	財務管理論	2	
	財務管理論	2	
	経営史	2	
	経営史	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	家族法	2	
	家族法	2	
	行政法	2	
	行政法	2	
	税法各論	2	
	税法各論	2	
	経済刑法	2	
年金・労働保険法	2		
国際法	2		
国際法	2		

第3類（杏林大学学則）

発展科目	行政学	2		
	行政学	2		
	国際政治学	2		
	国際政治学	2		
	経済原論	2		
	経済原論	2		
	財政金融論	2		
	財政金融論	2		
	憲法概論	2		
	民法概論	2		
	政治学概論	2		
	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップ	2		
	インターンシップ	2		
	学際演習	2		
学際演習	2			
学際演習	2			
学際演習	2			
演習	8			
卒業研究	4			

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
人文科学	宗教学 A		2		
	宗教学 B		2		
	哲学 A		2		
	哲学 B		2		
	倫理学 A		2		
	倫理学 B		2		

第3類（杏林大学学則）

1 類	分野	歴史学 A		2	16 単位以上
		歴史学 B		2	
		文学 A		2	
		文学 B		2	
		音楽 A		2	
		音楽 B		2	
		人文科学概論		2	
	社会科学分野	社会学 A		2	
		社会学 B		2	
		法学 A		2	
		法学 B (日本国憲法)		2	
		政治学 A		2	
		政治学 B		2	
		地理学 A		2	
		地理学 B		2	
		経済学 A		2	
	経済学 B		2		
	自然科学分野	数学 A		2	
		数学 B		2	
		統計学 A		2	
		統計学 B		2	
		物理学 A		2	
		物理学 B		2	
		化学 A		2	
		化学 B		2	
		生物学 A		2	
		生物学 B		2	
心理学 A			2		
心理学 B		2			
自然科学概論		2			
第 1 外国語	英語	2			
	英語	2			
	日本語 A	2	留学生のみ		
	日本語 B	2			
	発展英語 A		2		
	発展英語 B		2		

第3類（杏林大学学則）

2 類	第 2 外 国 語	ド イ ツ 語 A		2	最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		ド イ ツ 語 B		2	
		フ ラ ン ス 語 A		2	
		フ ラ ン ス 語 B		2	
		ス ペ イ ン 語 A		2	
		ス ペ イ ン 語 B		2	
		中 国 語 A		2	
		中 国 語 B		2	
		韓 国 語 A		2	
		韓 国 語 B		2	
3 類		プレゼミナール A	2		
		プレゼミナール B	2		
		基 礎 演 習		2	
		基 礎 演 習		2	
		特 別 演 習		2	
		特 別 演 習		2	
		特 別 演 習		2	
		特 別 演 習		2	
		特 別 演 習		2	
4 類		体 育 実 技 A		1	
		体 育 実 技 B		1	
		体 育 理 論		2	
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史			2	
日 本 史			2	
外 国 史			2	
外 国 史			2	
地 誌 学			2	
地 誌 学			2	
職 業 指 導			2	

別表4 - 1

外国語学部学科目構成

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1		1	英語又は中国語（留学生は日本語）選択必修14単位
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語	-	1		1	
	英 語	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	英 語 会 話	-	1		1	
	英 語 会 話	-	2		1	
	中 国 語 基 礎		1		1	
	中 国 語 基 礎		2		1	
	中 国 語 基 礎		3		1	
	中 国 語 基 礎		4		1	
	中 国 語 基 礎		5		1	
	中 国 語 基 礎		6		1	
	中 国 語 基 礎		7		1	
	中 国 語 基 礎		8		1	
	中 国 語 基 礎		9		1	
	中 国 語 基 礎	1	0		1	
	中 国 語 基 礎	1	1		1	
	中 国 語 基 礎	1	2		1	
	中 国 語 基 礎	1	3		1	
	中 国 語 基 礎	1	4		1	
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
専 門 科 目 A	日 本 語 表 現 法		1	2		必修16単位
	日 本 語 表 現 法		2	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論		1	2		
	現 代 日 本 社 会 特 論		2	2		
	言 語 学		1		2	
	言 語 学		2		2	
	对 照 言 語 学		1		2	
	对 照 言 語 学		2		2	
	社 会 言 語 学		1		2	
	社 会 言 語 学		2		2	
	言 語 と 文 化		1		2	
	言 語 と 文 化		2		2	
	比 較 文 化 論	-	1		2	
	比 較 文 化 論	-	2		2	
	比 較 文 化 論	-	1		2	
	比 較 文 化 論	-	2		2	
	情 報 処 理 基 礎	-	1	1		
	情 報 処 理 基 礎	-	2	1		
	情 報 処 理 基 礎	-	1		1	
	情 報 処 理 基 礎	-	2		1	
	情 報 処 理 基 礎	-	1		1	
	情 報 処 理 基 礎	-	2		1	
	情 報 処 理	-	1		1	
	情 報 処 理	-	2		1	
	情 報 処 理	-	1		1	
	情 報 処 理	-	2		1	
	情 報 処 理 概 論	-	1		2	
	情 報 処 理 概 論	-	2		2	
	情 報 産 業 論		1		2	
情 報 産 業 論		2		2		
ゼ ミ ナ ル	-	1	2			
ゼ ミ ナ ル	-	2	2			
ゼ ミ ナ ル	-	3	2			
卒 業 論 文				4		
専 門 科 目 B	英 語 発 音 聴 取		1		1	
	英 語 発 音 聴 取		2		1	
	実 用 英 語 演 習	-	1		1	
	実 用 英 語 演 習	-	2		1	
	実 用 英 語 演 習	-	1		1	
	実 用 英 語 演 習	-	2		1	
実 用 英 語 演 習	-	1		1		

第3類 (杏林大学学則)

実用英語演習	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
現代英語講読	- 1	1
現代英語講読	- 2	1
英語作文	- 1	1
英語作文	- 2	1
英語作文	- 1	1
英語作文	- 2	1
英語聴解・討論	- 1	1
英語聴解・討論	- 2	1
英語聴解・討論	- 1	1
英語聴解・討論	- 2	1
英語特論	- 1	1
英語特論	- 2	1
英語特論	- 1	1
英語特論	- 2	1
口語英語		2
口語英語		2
英語総合講座	1	2
英語総合講座	2	2
英語文法	1	2
英語文法	2	2
英語文章表現法	1	2
英語文章表現法	2	2
英語学	1	2
英語学	2	2
英語学特論	1	2
英語学特論	2	2
英語史	1	2
英語史	2	2
英語音声学	1	2
英語音声学	2	2
英語音声学特論	- 1	2
英語音声学特論	- 2	2
英米文学概論	1	2
英米文学概論	2	2
英米文学特論	1	2
英米文学特論	2	2
英米文学特論	1	2
英米文学特論	2	2
英米文学史	1	2

第3類（杏林大学学則）

	英米文 学 史	2		2
	イギリ ス 史	1		2
	イギリ ス 史	2		2
	アメリ カ 史	1		2
	アメリ カ 史	2		2
	時事 英 語	1		2
	時事 英 語	2		2
	実務 英 語	1		2
	実務 英 語	2		2
	商業 英 語	1		2
	商業 英 語	2		2
	英米大衆 文化 論	1		2
	英米大衆 文化 論	2		2
	英語 教 育 論	1		2
	英語 教 育 論	2		2
専 門 科 目 C	中 国 語 中 級	1		1
	中 国 語 中 級	2		1
	中 国 語 中 級	3		1
	中 国 語 中 級	4		1
	中 国 語 上 級	1		1
	中 国 語 上 級	2		1
	中 国 語 上 級	3		1
	中 国 語 上 級	4		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 演 習	1		1
	中 国 語 演 習	2		1
	中 国 語 文 章 表 現 法	1		2
	中 国 語 文 章 表 現 法	2		2
	中 国 語 学 概 論	1		2
	中 国 語 学 概 論	2		2
	中 国 語 学 特 論	1		2
	中 国 語 学 特 論	2		2
	中 国 語 音 声 学	1		2
	中 国 語 音 声 学	2		2
	中 国 語 文 学 概 論	1		2

第3類（杏林大学学則）

	中国語文学概論	2	2
	中国語文学特論	1	2
	中国語文学特論	2	2
	中国語現代文学	1	2
	中国語現代文学	2	2
	中国語文学史	1	2
	中国語文学史	2	2
	中国古典概説	1	2
	中国古典概説	2	2
	中国史	1	2
	中国史	2	2
	中国思想史	1	2
	中国思想史	2	2
	時事中国語	1	2
	時事中国語	2	2
	商業中国語	1	2
	商業中国語	2	2
	中国語翻訳法	1	2
	中国語翻訳法	2	2
	中国語通訳法	1	2
	中国語通訳法	2	2
専門科目 D	日本語学概論	1	2
	日本語学概論	2	2
	日本語文字・表記概説		2
	日本語音声学	1	2
	日本語音声学	2	2
	日本語語彙論		2
	日本語文法論	1	2
	日本語文法論	2	2
	日本語意味論		2
	日本語史	1	2
	日本語史	2	2
	日本人の言語行動	1	2
	日本人の言語行動	2	2
	ビジネス日本語	1	2
	ビジネス日本語	2	2
	ビジネス日本語	1	2
	ビジネス日本語	2	2
	日本史	1	2
	日本史	2	2
	日本文化論	1	2
	日本文化論	2	2
	日本語教育教材・教具論		2
	日本語教授法概論	1	2

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教授法概論	2		2
	日本語教授法演習	1		2
	日本語教授法演習	2		2
	日本語教育実習			2
	日本語教育実習			2
	日本語教育概説	1		2
	日本語教育概説	2		2
	日本文学概論	1		2
	日本文学概論	2		2
	日本文学特論	1		2
	日本文学特論	2		2
	日本文学史	1		2
	日本文学史	2		2
	漢文学	1		2
	漢文学	2		2
	書道	1		2
	書道	2		2
専門科目 E	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	中国政治経済	- 1		2
	中国政治経済	- 2		2
	西洋史	- 1		2
	西洋史	- 2		2
	アメリカ社会論	- 1		2
	アメリカ社会論	- 2		2
	国際関係論	- 1		2
	国際関係論	- 2		2
	外交政策論	- 1		2
	外交政策論	- 2		2
	国際観光概論	- 1		2
	国際観光概論	- 2		2
	サービス産業論	- 1		2
	サービス産業論	- 2		2
	ホスピタリティ論			2

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ		2		
	インターンシップ		2		
	観光業務論		2		
	観光業務論 - 1		2		
	観光業務論 - 2		2		
	観光業務論		2		
	観光業務論 -		2		
	観光業務論 - 2		2		
	観光地理		2		
専門 関連 科目 A	フランス語 - 1		1	1言語以上選択で必修6単位。ただし、専門外国語科目で代替することができる。	
	フランス語 - 2		1		
	フランス語 - 1		1		
	フランス語 - 2		1		
	フランス語 - 1		1		
	フランス語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	ドイツ語 - 1		1		
	ドイツ語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	スペイン語 - 1		1		
	スペイン語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	インドネシア語 - 1		1		
	インドネシア語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	韓国語 - 1		1		
	韓国語 - 2		1		
	実用英語 - 1		1		実用英語は留学生のみ履修可
	実用英語 - 2		1		
実用英語 - 1		1			
実用英語 - 2		1			
実用英語 - 1		1			

第3類 (杏林大学学則)

	実用英語	-	2		1	
専門 関連 科目 B	哲学	-	1		2	
	哲学	-	2		2	
	宗教学	-	1		2	
	宗教学	-	2		2	
	歴史学	-	1		2	
	歴史学	-	2		2	
	文学	-	1		2	
	文学	-	2		2	
	音声学	-	1		2	
	音声学	-	2		2	
	民俗学	-	1		2	
	民俗学	-	2		2	
	社会学	-	1		2	
	社会学	-	2		2	
	日本国憲	法		2		2
	日法	法		2		2
	政治学	-	1		2	
	政治学	-	2		2	
	地理学	-	1		2	
	地理学	-	2		2	
	経済学	-	1		2	
	経済学	-	2		2	
	数学	-	1		2	
	数学	-	2		2	
	物理学	-	1		2	
	物理学	-	2		2	
	化学	-	1		2	
	化学	-	2		2	
	生物	-	1		2	
	生物	-	2		2	
	心理学	-	1		2	
	心理学	-	2		2	
	統計学	-	1		2	
統計学	-	2		2		
ポランティア	活		2		2	
体育	理		2		2	
体育	技	-	1		1	
体育	技	-	2		1	
教育	原		2		2	
教育	社会		2		2	
教育	測定	評価	2		2	
教育	育	工	2		2	
教育	心理	理	2		2	

第3類（杏林大学学則）

	英語科教育法		2	
	中国語科教育法		2	
	中国語科教育法		2	
専科 門目 関C 連	他学部 の 設置科目			
自科 由目				

第3類（杏林大学学則）

別表4 - 2（平成18年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
専門外国語科目	英語	-	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
日本語	-	1		1		
日本語	-	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専門科目 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	現代英語講読 - 1	1		
	現代英語講読 - 2	1		
	現代英語講読 - 1		1	
	現代英語講読 - 2		1	
	英語文章表現法 - 1		1	
	英語文章表現法 - 2		1	
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	マルチメディア・イングリッシュ	1		
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
卒業論文・課題指導		4		
専門科目 目	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論 - 2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説 - 1		2	
アメリカ近現代史概説 - 2		2		

第3類 (杏林大学学則)

B	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2		
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2		
	グローバルビジネス論 - 1	2			
	グローバルビジネス論 - 2	2			
	現代北米ビジネス事情 - 1	2			
	現代北米ビジネス事情 - 2	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2			
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2			
	アメリカ経済論		2		
	アメリカ政治外交論		2		
	ヨーロッパ経済論		2		
	ヨーロッパ政治外交論		2		
	経営管理総論		2		
	経営管理総論		2		
	人材マネジメント論		2		
	人材マネジメント論		2		
	マーケティング総論		2		
	マーケティング総論		2		
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスイングリッシュ	1			
	ビジネスコミュニケーション演習I	1			
	ビジネスコミュニケーション演習		1		
	ビジネスコミュニケーション演習		1		
	ビジネス情報処理演習	1			
	ビジネス情報処理演習		1		
	ビジネス情報処理演習		1		
	専 門 科 目 C	英語学 - 1	2		英語教育コース
		英語学 - 2	2		
		英語音声学 - 1	2		
		英語音声学 - 2	2		
英語史 - 1			2		
英語史 - 2			2		
英語学特論 - 1			2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語学特論 - 2		2	
	英語音声学特論 - 1	2		
	英語音声学特論 - 2	2		
	英語教育論 - 1	2		
	英語教育論 - 2	2		
	児童英語教育論		2	
	英米文学		2	
	児童文学論		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英語発音聴取	1		
	英語会話	1		
	英語作文	1		
	英語文法	1		
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	社会人英語教育法 - 1		1	
	社会人英語教育法 - 2		1	
	英語科教育法 - 1		2	
	英語科教育法 - 2		2	
専門 関連 科	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	

第3類 (杏林大学学則)

目	韓 国 事 情	2
A	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	地 域 圏 研 究 - 1	2
	地 域 圏 研 究 - 2	2
	国 際 関 係 論	2
	国 際 関 係 論	2
	経 済 原 論	2
	経 済 原 論	2
	西 洋 史 - 1	2
	西 洋 史 - 2	2
	中 国 史 - 1	2
	中 国 史 - 2	2
	日 本 史 - 1	2
	日 本 史 - 2	2
	言 語 学 - 1	2
	言 語 学 - 2	2
	言 語 と 文 化 - 1	2
	言 語 と 文 化 - 2	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 中 文 化 交 流 史 - 2	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1	2
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2	2
	神 話 学	2
	文 化 人 類 学	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	インドネシア語 - 1		1	
インドネシア語 - 2		1		

第3類（杏林大学学則）

インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2
	哲学	-	2		2
	宗教学	-	1		2
	宗教学	-	2		2
	歴史学	-	1		2
	歴史学	-	2		2
	文学	-	1		2
	文学	-	2		2
	音楽	-	1		2
	音楽	-	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	-	1		2
	政治学	-	2		2
	地理学	-	1		2
	地理学	-	2		2
	経済学	-	1		2
	経済学	-	2		2
	数学	-	1		2
	数学	-	2		2
	物理学	-	1		2
	物理学	-	2		2
	化学	-	1		2
	化学	-	2		2
	生物学	-	1		2
	生物学	-	2		2
	心理学	-	1		2
	心理学	-	2		2
統計学	-	1		2	
統計学	-	2		2	
情報処				2	
理				2	
体育				1	
理論				1	
体育				1	
実技	-	1		1	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 2		1	
専 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

東アジア言語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	日 本 語 - 1		1		
	日 本 語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修	
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	インテンシブ中国語 - 1		1		
	インテンシブ中国語 - 2		1		
	日 本 文 化 論	2			中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修
	異文化交流の実際	2			
専	民 俗 学		2		
門	東アジア対照言語学 - 1		2		
科	東アジア対照言語学 - 2		2		
目	朝鮮半島政治外交論		2		
A	実務英語 - 1	1			
	実務英語 - 2	1			
	交渉英語 - 1	1			
	交渉英語 - 2	1			
	ゼミナール - 1	2			
	ゼミナール - 2	2			
	ゼミナール - 3	2			
	卒業論文・課題指導		4		
	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース	
	日本語教育概説 - 2	2			
専	日本語教授法概論 - 1	2			
門	日本語教授法概論 - 2	2			
科	日本語学概論 - 1	2			

第3類（杏林大学学則）

目	日本語学概論 - 2	2		
B	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	日本語教授法演習 - 1		1	
	日本語教授法演習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
	中国語学概論 - 1	2		

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 C	中国語学概論 - 2	2	中国語ビジネスコミュニケーションコース	
	中国人のコミュニケーションスタイル-1			2
	中国人のコミュニケーションスタイル-2			2
	中国語音声学 - 1			2
	中国語音声学 - 2			2
	中国語翻訳法 - 1			2
	中国語翻訳法 - 2			2
	中国語通訳法 - 1			2
	中国語通訳法 - 2			2
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史			2
	中国文学史			2
	中国古典概説			2
	日中比較文化概論			2
	中国経済概論 - 1	2		
	中国経済概論 - 2	2		
	現代中国ビジネス事情			2
	日中貿易論			2
	アジア経済論			2
	中国近現代史 - 1			2
	中国近現代史 - 2			2
	中国政治外交論			2
	実用中国語演習			1
	実用中国語演習			1
	中国語文章表現法 - 1			1
	中国語文章表現法 - 2			1
	中国語聴解・討論 - 1			1
	中国語聴解・討論 - 2			1
	時事中国語 - 1			1
	時事中国語 - 2			1
	貿易中国語 - 1			1
	貿易中国語 - 2			1
	中国語ビジネス会話 - 1	1		
中国語ビジネス会話 - 2	1			
中国語情報処理 - 1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	中国語情報処理 - 2	1	
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	1		2
	中国語演習	-	2		2
	中国語演習	-	1		2
	中国語演習	-	2		2
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2
	哲学	-	2		2
	宗教学	-	1		2
	宗教学	-	2		2
	歴史学	-	1		2
	歴史学	-	2		2
	文学	-	1		2
	文学	-	2		2
	音楽	-	1		2
	音楽	-	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	-	1		2
	政治学	-	2		2
	地理学	-	1		2
	地理学	-	2		2
	経済学	-	1		2
	経済学	-	2		2
	数学	-	1		2
	数学	-	2		2
	物理学	-	1		2
	物理学	-	2		2
化学	-	1		2	
化学	-	2		2	
生物学	-	1		2	

第3類（杏林大学学則）

	生物学	-	2		2	
	心理学	-	1		2	
	心理学	-	2		2	
	統計学	-	1		2	
	統計学	-	2		2	
	情報処理				2	
	体育理論				1	
	体育実技	-	1		1	
	体育実技	-	2		1	
専科 門目 関連 D	他学部 の 設置科目					
自科 自由 目						

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称		単位数		備考	
		必修	選択		
専 門 外 国 語 科 目	英語	-	1	1	英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
中国語	-	1	1		

第3類（杏林大学学則）

専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 - 1	1	2	
	大衆文化論 - 2	2	2	
	大衆文化論 - 1	1	2	
	大衆文化論 - 2	2	2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1	1	2	
	印刷出版文化論 - 2	2	2	
	翻訳・翻案文化論		2	
	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論		2	
	情報発信特論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	言語芸術表現演習		1	
	言語芸術表現演習		1	
言語芸術表現演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
クリエイティブ・コミュニケーション演習		1		
コンテンツ・デザイン実習		1		

第3類（杏林大学学則）

	カルチャー・マネジメント実習		1	
	アドバタイズメント・デザイン実習		1	
	ライフスタイル・コーディネート実習		1	
	アーツ・セラピー実習		1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2		観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2		
	ホスピタリティ論 - 1	2		
	ホスピタリティ論 - 2	2		
	ホスピタリティ論 - 1	2		
	ホスピタリティ論 - 2	2		
	宿泊産業概論		2	
	宿泊産業経営論		2	
	旅行産業概論		2	
	旅行産業経営論		2	
	フードビジネス概論		2	
	フードビジネス経営論		2	
	観光文化特論 - 1		2	
	観光文化特論 - 2		2	
	観光文化特論 - 1		2	
	観光文化特論 - 2		2	
	観光文化特論 - 1		2	
	観光文化特論 - 2		2	
	観光文化特論 - 1		2	
	観光文化特論 - 2		2	
	観光保健論 - 1		2	
	観光保健論 - 2		2	
	観光地理		2	
	観光地理		2	
	観光業務論		2	
	観光業務論		2	
	観光業務論		2	
	観光業務論		2	
	観光業務論 - 1		2	
	観光業務論 - 2		2	
観光業務特論		2		

第3類（杏林大学学則）

	観光業務特論		2	
	ホスピタリティ演習 - 1		1	
	ホスピタリティ演習 - 2		1	
	ホスピタリティ演習 - 3		1	
	観光手話 - 1		1	
	観光手話 - 2		1	
	観光英語 - 1	1		
	観光英語 - 2	1		
	観光日本語	1		
	観光中国語	1		
	観光実習	1		
専門 関連 科目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	国際関係論		2	
	国際関係論		2	
経済原論		2		
経済原論		2		

第3類 (杏林大学学則)

西 洋 史 - 1		2	
西 洋 史 - 2		2	
中 国 史 - 1		2	
中 国 史 - 2		2	
日 本 史 - 1		2	
日 本 史 - 2		2	
言 語 学 - 1		2	
言 語 学 - 2		2	
言 語 と 文 化 - 1		2	
言 語 と 文 化 - 2		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
神 話 学		2	
文 化 人 類 学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英 語 総 合 講 座 - 1		2	
英 語 総 合 講 座 - 2		2	
英 語 特 論 - 1		2	
英 語 特 論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
キャリア指導 - 1	1		
キャリア指導 - 2	1		
キャリア指導 - 1	1		
キャリア指導 - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
インターンシップ		1	
インターンシップ		1	
インターンシップ		1	
ド イ ツ 語 - 1		1	
ド イ ツ 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

専門 関連 科目 B	ドイツ語	- 1	1
	ドイツ語	- 2	1
	ドイツ語	- 1	1
	ドイツ語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	情報英語		1
	情報英語		1
情報中国語		1	
情報中国語		1	
情報日本語		1	
口語英語	- 1	1	
口語英語	- 2	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
專 門 關 連 科 目 C	哲 学	-	1	2
	哲 学	-	2	2
	宗 教 学	-	1	2
	宗 教 学	-	2	2
	歷 史 学	-	1	2
	歷 史 学	-	2	2
	文 学	-	1	2
	文 学	-	2	2
	音 楽	-	1	2
	音 楽	-	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	-	1	2
	政 治 学	-	2	2
地 理 学	-	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	地 理 学	-	2		2	
	経 済 学	-	1		2	
	経 済 学	-	2		2	
	数 学	-	1		2	
	数 学	-	2		2	
	物 理 学	-	1		2	
	物 理 学	-	2		2	
	化 学	-	1		2	
	化 学	-	2		2	
	生 物 学	-	1		2	
	生 物 学	-	2		2	
	心 理 学	-	1		2	
	心 理 学	-	2		2	
	統 計 学	-	1		2	
	統 計 学	-	2		2	
	情 報 処 理				2	
	体 育 理 論				1	
	体 育 実 技	-	1		1	
	体 育 実 技	-	2		1	
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目					
自 科 由 目						

第3類（杏林大学学則）

別表4 - 3（平成20年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
専門外国語科目	英語	-	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
日本語	-	1		1		
日本語	-	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	現代英語講読 - 1	1		
	現代英語講読 - 2	1		
	現代英語講読 - 1		1	
	現代英語講読 - 2		1	
	英語文章表現法 - 1		1	
	英語文章表現法 - 2		1	
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
実用英語演習	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール - 1	2			
ゼミナール - 2	2			

第3類（杏林大学学則）

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論 - 2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説 - 1		2	
	アメリカ近現代史概説 - 2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2	
	グローバルビジネス論 - 1	2		
	グローバルビジネス論 - 2	2		
	現代北米ビジネス事情 - 1	2		
	現代北米ビジネス事情 - 2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論		2	
	経営管理総論		2	
	人材マネジメント論		2	
	人材マネジメント論		2	
	マーケティング総論		2	
	マーケティング総論		2	
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習		1	
	ビジネスコミュニケーション演習		1	
	ビジネス情報処理演習	1		
	ビジネス情報処理演習		1	

第3類 (杏林大学学則)

	ビジネス情報処理演習		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 - 1	2		英語教育コース
	英 語 学 - 2	2		
	英 語 音 声 学 - 1	2		
	英 語 音 声 学 - 2	2		
	英 語 史 - 1		2	
	英 語 史 - 2		2	
	英 語 学 特 論 - 1		2	
	英 語 学 特 論 - 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 - 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 - 2	2		
	英 語 教 育 論 - 1	2		
	英 語 教 育 論 - 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 - 1		2	
	社 会 言 語 学 - 2		2	
	対 照 言 語 学 - 1		2	
	対 照 言 語 学 - 2		2	
	認 知 言 語 学 - 1		2	
	認 知 言 語 学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
	児 童 英 語 教 育 実 習		1	
	社 会 人 英 語 教 育 法 - 1		1	
社 会 人 英 語 教 育 法 - 2		1		
英 語 科 教 育 法 - 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
日本史 - 1		2	
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基 礎 演 習 - 1	1		
	基 礎 演 習 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 1	1
フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	1		2
	中国語演習	-	2		2
	中国語演習	-	1		2
	中国語演習	-	2		2
	中国語演習	-	1		2
	中国語演習	-	2		2
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2
	哲学	-	2		2
	宗教学	-	1		2
	宗教学	-	2		2
	歴史学	-	1		2
	歴史学	-	2		2
	文学	-	1		2
	文学	-	2		2
	音楽	-	1		2
	音楽	-	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	-	1		2
	政治学	-	2		2
	地理学	-	1		2
	地理学	-	2		2
	経済学	-	1		2
	経済学	-	2		2
	数学	-	1		2
	数学	-	2		2
物理学	-	1		2	
物理学	-	2		2	
化学	-	1		2	

第3類（杏林大学学則）

	化 学 - 2		2	
	生 物 学 - 1		2	
	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理 学		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

中国語・日本語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 - 1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 - 2	1		
	中国語 - 1	1		
	中国語 - 2	1		
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	日本語 - 1		1	
	日本語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	中国語ビジネスコミュニケーションコース希望者は必修
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専門科目A	日本文化論	2		
	異文化交流の実際	2		
	民俗学		2	
	東アジア対照言語学 - 1		2	
	東アジア対照言語学 - 2		2	
	朝鮮半島政治外交論		2	
	実務英語 - 1	1		
	実務英語 - 2	1		
	交渉英語 - 1	1		
交渉英語 - 2	1			

第3類（杏林大学学則）

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類（杏林大学学則）

	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論 - 1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論 - 2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学 - 1	2		
	中国語音声学 - 2	2		
	中国語翻訳法 - 1		2	
	中国語翻訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史 - 1		2	
	中国文学史 - 2		2	
	中国古典概説 - 1		2	
	中国古典概説 - 2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論 - 1		2	
	中国経済概論 - 2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史 - 1		2	
	中国近現代史 - 2		2	
中国政治外交論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	实用中国語演習		1	
	实用中国語演習		1	
	中国語文章表現法 - 1		1	
	中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1	
	中国語聴解・討論 - 2		1	
	時事中国語 - 1		1	
	時事中国語 - 2		1	
	貿易中国語 - 1		1	
	貿易中国語 - 2		1	
	中国語ビジネス会話 - 1	1		
	中国語ビジネス会話 - 2	1		
	中国語情報処理 - 1	1		
	中国語情報処理 - 2	1		
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
地域圏研究 - 2		2		
国際関係論		2		

第3類（杏林大学学則）

国 際 関 係 論		2	
経 済 原 論		2	
経 済 原 論		2	
西 洋 史 - 1		2	
西 洋 史 - 2		2	
中 国 史 - 1		2	
中 国 史 - 2		2	
日 本 史 - 1		2	
日 本 史 - 2		2	
言 語 学 - 1		2	
言 語 学 - 2		2	
言 語 と 文 化 - 1		2	
言 語 と 文 化 - 2		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
神 話 学		2	
文 化 人 類 学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英 語 総 合 講 座 - 1		2	
英 語 総 合 講 座 - 2		2	
英 語 特 論 - 1		2	
英 語 特 論 - 2		2	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 概 論	2		
基 礎 演 習 - 1	1		
基 礎 演 習 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 1	1		
ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 2	1		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
韓国語	- 1	1		
韓国語	- 2	1		
情報英語			1	
情報英語			1	

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語		1	
	情 報 中 国 語		1	
	情 報 日 本 語		1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
專 門 関 連 科 目 C	哲 学	- 1	2	
	哲 学	- 2	2	
	宗 教 学	- 1	2	
	宗 教 学	- 2	2	
	歴 史 学	- 1	2	
	歴 史 学	- 2	2	
	文 学	- 1	2	
	文 学	- 2	2	
	音 楽	- 1	2	
	音 楽	- 2	2	
	日 本 国 憲 法		2	

第3類（杏林大学学則）

	法			学		2	
	政	治	学	-	1	2	
	政	治	学	-	2	2	
	地	理	学	-	1	2	
	地	理	学	-	2	2	
	経	済	学	-	1	2	
	経	済	学	-	2	2	
	数		学	-	1	2	
	数		学	-	2	2	
	物	理	学	-	1	2	
	物	理	学	-	2	2	
	化		学	-	1	2	
	化		学	-	2	2	
	生	物	学	-	1	2	
	生	物	学	-	2	2	
	心	理	学	-	1	2	
	心	理	学	-	2	2	
	統	計	学	-	1	2	
	統	計	学	-	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	-	1	
	体	育	実	技	-	2	
専科 専門 関連 科目	他学部設置科目						
自由 科目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英語	-	1	英語及び中国語（留学生）

第3類（杏林大学学則）

専門外国語科目	英語	-	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	応用コミュニケーション論	2		
	生活文化論		2	
	生活文化論		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	TOEIC演習 - 1		1	
	TOEIC演習 - 2		1	
	日本語表現法 - 1	2		
	日本語表現法 - 2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
ゼミナール - 3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		表現メディアコース
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
印刷出版文化論 - 2		2		

第3類（杏林大学学則）

	翻訳・翻案文化論	2	
	映像文化論	2	
	演劇文化論	2	
	身体表現論	2	
	空間表現論	2	
	意匠・デザイン論	2	
	情報発信特論	2	
	情報発信特論	2	
	言語芸術表現論	2	
	言語芸術表現論	2	
	言語芸術表現論	2	
	比較文学論	2	
	レトリック論	2	
	ファンタジー論	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	こころと身体のメカニズム	2	
	言語芸術表現演習	1	
	言語芸術表現演習	1	
	言語芸術表現演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習	1	
	コンテンツ・デザイン実習	1	
	カルチャー・マネジメント実習	1	
	アドバタイズメント・デザイン実習	1	
	ライフスタイル・コーディネート実習	1	
	アーツ・セラピー実習	1	
専 門 科 目 C	観光文化論入門	2	観光文化コース
	ホスピタリティ・コミュニケーション論入門	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	ホスピタリティ論 - 1	2	
	ホスピタリティ論 - 2	2	
	宿泊産業概論	2	

第3類（杏林大学学則）

宿泊産業経営論		2	
旅行産業概論		2	
旅行産業経営論		2	
フードビジネス概論		2	
フードビジネス経営論		2	
観光文化特論	- 1	2	
観光文化特論	- 2	2	
観光文化特論	- 1	2	
観光文化特論	- 2	2	
観光文化特論	- 1	2	
観光文化特論	- 2	2	
観光文化特論	- 1	2	
観光文化特論	- 2	2	
観光保健論	- 1	2	
観光保健論	- 2	2	
観光地理		2	
観光地理		2	
観光業務論		2	
観光業務論		2	
観光業務論		2	
観光業務論		2	
観光業務論	- 1	2	
観光業務論	- 2	2	
観光業務特論		2	
観光業務特論		2	
ホスピタリティ演習	- 1	1	
ホスピタリティ演習	- 2	1	
ホスピタリティ演習	- 3	1	
観光手話	- 1	1	
観光手話	- 2	1	
観光英語	- 1	1	1
観光英語	- 2	1	1
観光日本語		1	1
観光中国語		1	1
観光実習		1	1

第3類 (杏林大学学則)

	比較文化論	- 1		2
	比較文化論	- 2		2
専	比較文化論	- 1		2
門	比較文化論	- 2		2
関	アメリカ社会論	- 1		2
連	アメリカ社会論	- 2		2
科	中国事情			2
目	韓国事情			2
A	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	地域圏研究	- 1		2
	地域圏研究	- 2		2
	国際関係論			2
	国際関係論			2
	経済原論			2
	経済原論			2
	西洋史	- 1		2
	西洋史	- 2		2
	中国史	- 1		2
	中国史	- 2		2
	日本史	- 1		2
	日本史	- 2		2
	言語学	- 1		2
	言語学	- 2		2
	言語と文化	- 1		2
	言語と文化	- 2		2
	日中文化交流史	- 1		2

第3類 (杏林大学学則)

	日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
	日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
	神 話 学		2	
	文 化 人 類 学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英 語 総 合 講 座 - 1		2	
	英 語 総 合 講 座 - 2		2	
	英 語 特 論 - 1		2	
	英 語 特 論 - 2		2	
	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 概 論	2		
	基 礎 演 習 - 1	1		
	基 礎 演 習 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 1	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習 - 2	1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
専 門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	ド イ ツ 語 - 1		1	
	ド イ ツ 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	
	フ ラ ン ス 語 - 2		1	
	フ ラ ン ス 語 - 1		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	2		2	
	中国語演習	-	1		2	
	中国語演習	-	2		2	
	中国語演習	-	1		2	
	中国語演習	-	2		2	
	中国語実習	-	1		1	
	中国語実習	-	2		1	
	中国語実習	-	1		1	
	中国語実習	-	2		1	
	中国語実習	-	1		1	
	中国語実習	-	2		1	
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2	
	哲学	-	2		2	
	宗教学	-	1		2	
	宗教学	-	2		2	
	歴史学	-	1		2	
	歴史学	-	2		2	
	文学	-	1		2	
	文学	-	2		2	
	音楽	-	1		2	
	音楽	-	2		2	
	日本国憲法				2	
	法学				2	
	政治学	-	1		2	
	政治学	-	2		2	
	地理学	-	1		2	
	地理学	-	2		2	
	経済学	-	1		2	
	経済学	-	2		2	
	数学	-	1		2	
	数学	-	2		2	
物理学	-	1		2		
物理学	-	2		2		
化学	-	1		2		
化学	-	2		2		

第3類（杏林大学学則）

	生物学 - 1		2	
	生物学 - 2		2	
	心理学 - 1		2	
	心理学 - 2		2	
	統計学 - 1		2	
	統計学 - 2		2	
	情報処理論		2	
	体育理論		1	
	体育実技 - 1		1	
	体育実技 - 2		1	
専科 専門 関連 目D	他学部 の 設置科目			
自科 自由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4 - 4（平成22年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備 考
				必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	日米比較文化概論	2		
	英語の文化誌	2		
	日米関係史概論		2	
	ヨーロッパの社会と文化		2	
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	英語演習	1		
	現代英語講読 - 1	1		
	現代英語講読 - 2	1		
	現代英語講読 - 1		1	
	現代英語講読 - 2		1	
	英語文章表現法 - 1		1	
	英語文章表現法 - 2		1	
	英語聴解・討論 - 1		1	
	英語聴解・討論 - 2		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語		1	
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
	実用英語演習	1		
実用英語演習	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼミナール - 1	2			
ゼミナール - 2	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論 - 2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説 - 1		2	
	アメリカ近現代史概説 - 2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2	
	グローバルビジネス論 - 1	2		
	グローバルビジネス論 - 2	2		
	現代北米ビジネス事情 - 1	2		
	現代北米ビジネス事情 - 2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論		2	
	経営管理総論		2	
	人材マネジメント論		2	
	人材マネジメント論		2	
	マーケティング総論		2	
	マーケティング総論		2	
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習		1	
	ビジネスコミュニケーション演習		1	
	ビジネス情報処理演習	1		
	ビジネス情報処理演習		1	

第3類（杏林大学学則）

	ビジネス情報処理演習		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 - 1	2		英語教育コース
	英 語 学 - 2	2		
	英 語 音 声 学 - 1	2		
	英 語 音 声 学 - 2	2		
	英 語 史 - 1		2	
	英 語 史 - 2		2	
	英 語 学 特 論 - 1		2	
	英 語 学 特 論 - 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 - 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 - 2	2		
	英 語 教 育 論 - 1	2		
	英 語 教 育 論 - 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 - 1		2	
	社 会 言 語 学 - 2		2	
	対 照 言 語 学 - 1		2	
	対 照 言 語 学 - 2		2	
	認 知 言 語 学 - 1		2	
	認 知 言 語 学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
児 童 英 語 教 育 実 習		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 - 1		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 - 2		1		
英 語 科 教 育 法 - 1		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法 - 2		2
専門 関連 科目 目 A	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	比較文化論 - 1		2
	比較文化論 - 2		2
	アメリカ社会論 - 1		2
	アメリカ社会論 - 2		2
	中国事情		2
	韓国事情		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	地域圏研究 - 1		2
	地域圏研究 - 2		2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史 - 1		2
	西洋史 - 2		2
	中国史 - 1		2
	中国史 - 2		2
	日本史 - 1		2
日本史 - 2		2	
言語学 - 1		2	
言語学 - 2		2	
言語と文化 - 1		2	
言語と文化 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 1	1
フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語演習	-	1	2
	中国語演習	-	2	2
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
	中国語実習	-	1	1
	中国語実習	-	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1	2
	哲学	-	2	2
	宗教学	-	1	2
	宗教学	-	2	2
	歴史学	-	1	2
	歴史学	-	2	2
	文学	-	1	2
	文学	-	2	2
	音楽	-	1	2
	音楽	-	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	-	1	2
	政治学	-	2	2
	地理学	-	1	2
	地理学	-	2	2
	経済学	-	1	2
	経済学	-	2	2
	数学	-	1	2
	数学	-	2	2
物理学	-	1	2	
物理学	-	2	2	
化学	-	1	2	

第3類（杏林大学学則）

	化 学 - 2		2	
	生 物 学 - 1		2	
	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理 学		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

中国語・日本語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 - 1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		

第3類（杏林大学学則）

	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	日本語教育概説 - 1	2		日本語教育学コース
	日本語教育概説 - 2	2		
	日本語教授法概論 - 1	2		
	日本語教授法概論 - 2	2		
	日本語学概論 - 1	2		
	日本語学概論 - 2	2		
	日本語音声学 - 1		2	
	日本語音声学 - 2		2	
	日本語文法論 - 1		2	
	日本語文法論 - 2		2	
	日本語意味論 - 1		2	
	日本語意味論 - 2		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	社会言語学 - 1		2	
	社会言語学 - 2		2	
	対照言語学 - 1		2	
	対照言語学 - 2		2	
	認知言語学 - 1		2	
	認知言語学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
バイリンガル教育論 - 2		2		
日本語教授法演習 - 1		1		
日本語教授法演習 - 2		1		

第3類（杏林大学学則）

	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語教育実習 - 1		1	
	日本語教育実習 - 2		1	
	日本語学演習 - 1	1		
	日本語学演習 - 2	1		
	日本語教育演習 - 1	1		
	日本語教育演習 - 2	1		
専 門 科 目 C	中国語学概論 - 1	2		中国語ビジネスコミュニケーションコース
	中国語学概論 - 2	2		
	中国人のコミュニケーションスタイル-1		2	
	中国人のコミュニケーションスタイル-2		2	
	中国語音声学 - 1	2		
	中国語音声学 - 2	2		
	中国語翻訳法 - 1		2	
	中国語翻訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国語通訳法 - 1		2	
	中国語通訳法 - 2		2	
	中国の自然地理・風俗習慣	2		
	中国思想史		2	
	中国文学史 - 1		2	
	中国文学史 - 2		2	
	中国古典概説 - 1		2	
	中国古典概説 - 2		2	
	日中比較文化概論		2	
	中国経済概論 - 1		2	
	中国経済概論 - 2		2	
	現代中国ビジネス事情		2	
	日中貿易論		2	
	アジア経済論		2	
	中国近現代史 - 1		2	
	中国近現代史 - 2		2	
中国政治外交論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	实用中国語演習		1	
	实用中国語演習		1	
	中国語文章表現法 - 1		1	
	中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1	
	中国語聴解・討論 - 2		1	
	時事中国語 - 1		1	
	時事中国語 - 2		1	
	貿易中国語 - 1		1	
	貿易中国語 - 2		1	
	中国語ビジネス会話 - 1	1		
	中国語ビジネス会話 - 2	1		
	中国語情報処理 - 1	1		
	中国語情報処理 - 2	1		
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
国際関係論		2		

第3類（杏林大学学則）

国 際 関 係 論		2	
経 済 原 論		2	
経 済 原 論		2	
西 洋 史 - 1		2	
西 洋 史 - 2		2	
中 国 史 - 1		2	
中 国 史 - 2		2	
日 本 史 - 1		2	
日 本 史 - 2		2	
言 語 学 - 1		2	
言 語 学 - 2		2	
言 語 と 文 化 - 1		2	
言 語 と 文 化 - 2		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 中 文 化 交 流 史 - 2		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 1		2	
日 韓 文 化 交 流 史 - 2		2	
神 話 学		2	
文 化 人 類 学		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
英 語 総 合 講 座 - 1		2	
英 語 総 合 講 座 - 2		2	
英 語 特 論 - 1		2	
英 語 特 論 - 2		2	
コミュニケーション概論	2		
基 礎 演 習 - 1	1		
基 礎 演 習 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 1	1		
キ ャ リ ア 指 導 - 2	1		
ホスピタリティ実習 - 1	1		
ホスピタリティ実習 - 2	1		
インターンシップ		1	

第3類（杏林大学学則）

	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	ドイツ語	- 1	1	
	ドイツ語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	フランス語	- 1	1	
	フランス語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	スペイン語	- 1	1	
	スペイン語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	インドネシア語	- 1	1	
	インドネシア語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
	韓国語	- 2	1	
	韓国語	- 1	1	
韓国語	- 2	1		
情報英語			1	
情報英語			1	

第3類 (杏林大学学則)

	情 報 中 国 語		1	
	情 報 中 国 語		1	
	情 報 日 本 語		1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	口 語 英 語	- 1	1	
	口 語 英 語	- 2	1	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 演 習	- 1	2	
	中 国 語 演 習	- 2	2	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
	中 国 語 実 習	- 1	1	
	中 国 語 実 習	- 2	1	
専 門 関 連 科 目 C	哲 学	- 1	2	
	哲 学	- 2	2	
	宗 教 学	- 1	2	
	宗 教 学	- 2	2	
	歴 史 学	- 1	2	
	歴 史 学	- 2	2	
	文 学	- 1	2	
	文 学	- 2	2	
	音 楽	- 1	2	
	音 楽	- 2	2	
	日 本 国 憲 法		2	

第3類（杏林大学学則）

	法			学		2	
	政	治	学	-	1	2	
	政	治	学	-	2	2	
	地	理	学	-	1	2	
	地	理	学	-	2	2	
	経	済	学	-	1	2	
	経	済	学	-	2	2	
	数		学	-	1	2	
	数		学	-	2	2	
	物	理	学	-	1	2	
	物	理	学	-	2	2	
	化		学	-	1	2	
	化		学	-	2	2	
	生	物	学	-	1	2	
	生	物	学	-	2	2	
	心	理	学	-	1	2	
	心	理	学	-	2	2	
	統	計	学	-	1	2	
	統	計	学	-	2	2	
	情	報	処	理		2	
	体	育	理	論		1	
	体	育	実	技	-	1	
	体	育	実	技	-	2	
専 門 関 連 D	他学部 の 設置科目						
自 科 由 目							

応用コミュニケーション学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英 語 - 1	1		英語及び中国語（留学生）

第3類（杏林大学学則）

専門外国語科目	英語	-	2	1	は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	英語	-	1	1	
	英語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	中国語	-	1	1	
	中国語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
	日本語	-	1	1	
	日本語	-	2	1	
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		
インテンシブ中国語	-	1	1		
インテンシブ中国語	-	2	1		

第3類（杏林大学学則）

	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	メディアコミュニケーション論	2		
	生活文化とメディア		2	
	地域の伝統文化		2	
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	英語演習 - 1	1		
	英語演習 - 2	1		
	実用英語 - 1		1	
	実用英語 - 2		1	
	実用英語 - 1		1	
	実用英語 - 2		1	
	実用英語 - 1		1	
	実用英語 - 2		1	
	日本語表現法 - 1	2		
	日本語表現法 - 2	2		
	ITイングリッシュ		1	
	ブロードキャスト・イングリッシュ		1	
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
ゼミナール - 3	2			
卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	感性コミュニケーション論	2		
	情報社会論	2		
	文化産業論	2		
	表象文化論	2		
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	大衆文化論 - 1		2	
	大衆文化論 - 2		2	
	ジャーナリズム論		2	
	印刷出版文化論 - 1		2	
印刷出版文化論 - 2		2		
翻訳・翻案文化論		2		

第3類 (杏林大学学則)

	映像文化論		2	
	演劇文化論		2	
	身体表現論		2	
	空間表現論		2	
	意匠・デザイン論		2	
	情報発信特論		2	
	情報発信特論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	言語芸術表現論		2	
	比較文学論		2	
	レトリック論		2	
	ファンタジー論		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	こころと身体のメカニズム		2	
	言語芸術表現演習		1	
	言語芸術表現演習		1	
	言語芸術表現演習		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習		1	
	クリエイティブ・コミュニケーション演習		1	
	コンテンツ・デザイン実習		1	
	カルチャー・マネジメント実習		1	
	アドバタイズメント・デザイン実習		1	
	ライフスタイル・コーディネート実習		1	
	アーツ・セラピー実習		1	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
韓国事情		2		

第3類（杏林大学学則）

地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
地域圏研究	- 1	2
地域圏研究	- 2	2
国際関係論		2
国際関係論		2
経済原論		2
経済原論		2
西洋史	- 1	2
西洋史	- 2	2
中国史	- 1	2
中国史	- 2	2
日本史	- 1	2
日本史	- 2	2
言語学	- 1	2
言語学	- 2	2
言語と文化	- 1	2
言語と文化	- 2	2
日中文化交流史	- 1	2
日中文化交流史	- 2	2
日韓文化交流史	- 1	2
日韓文化交流史	- 2	2
神話学		2
文化人類学		2
クリエイティブ・コミュニケーション論	- 1	2
クリエイティブ・コミュニケーション論	- 2	2
英語総合講座	- 1	2

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
スペイン語 - 2		1		
インドネシア語 - 1		1		

第3類（杏林大学学則）

インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語演習	- 1	2
中国語演習	- 2	2
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1
中国語実習	- 1	1
中国語実習	- 2	1

第3類 (杏林大学学則)

	中国語実習	-	1		1
	中国語実習	-	2		1
専門 関連 科目 C	哲学	-	1		2
	哲学	-	2		2
	宗教学	-	1		2
	宗教学	-	2		2
	歴史学	-	1		2
	歴史学	-	2		2
	文学	-	1		2
	文学	-	2		2
	音楽	-	1		2
	音楽	-	2		2
	日本国憲法				2
	法学				2
	政治学	-	1		2
	政治学	-	2		2
	地理学	-	1		2
	地理学	-	2		2
	経済学	-	1		2
	経済学	-	2		2
	数学	-	1		2
	数学	-	2		2
	物理学	-	1		2
	物理学	-	2		2
	化学	-	1		2
	化学	-	2		2
	生物学	-	1		2
	生物学	-	2		2
	心理学	-	1		2
	心理学	-	2		2
	統計学	-	1		2
	統計学	-	2		2
情報処				2	
理				2	
体育				1	
理論				1	
体育				1	
実技	-	1		1	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 2		1	
専 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考
				必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	-	1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	英 語	-	1	1		
	英 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	中 国 語	-	1	1		
	中 国 語	-	2	1		
	日 本 語	-	1		1	
	日 本 語	-	2		1	
	日 本 語	-	1		1	
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		
日 本 語	-	2		1		
日 本 語	-	1		1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語	- 2		1	
	日 本 語	- 1		1	
	日 本 語	- 2		1	
	日 本 語	- 1		1	
	日 本 語	- 2		1	
	日 本 語	- 1		1	
	日 本 語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
	インテンシブ中国語	- 1		1	
	インテンシブ中国語	- 2		1	
専 門 科 目 A	観 光 交 流 文 化 論		2		8 単位以上
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
	国 際 観 光 論		2		
	交 流 文 化 論		2		
	異文化コミュニケーション論		2		
	サ ー ビ ス 文 化 論		2		
	サ ー ビ ス 日 本 語		2		
	紀 行 文 学 論			2	
	観 光 メ デ ィ ア 論			2	
	観 光 心 理 学			2	
	観 光 人 類 学			2	
	観 光 地 理 学			2	
	観 光 保 健 論			2	
	福 祉 観 光 論			2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論			2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン		2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン		2		
	観 光 英 語	- 1	1		
	観 光 英 語	- 2	1		
	観 光 英 語	- 1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	観光英語 - 2	1		観光中国語 - 1・2 (各1単位) 又は観光韓国語 - 1・2 (各1単位) のどちらかを選択必修
	観光中国語 - 1		1	
	観光中国語 - 2		1	
	観光韓国語 - 1		1	
	観光韓国語 - 2		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語 - 1		1	
	実用英語 - 2		1	
	観光基礎演習 - 1	1		
	観光基礎演習 - 2	1		
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目B	サービス産業論	2		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
	観光交流文化特論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
専門 関連 科目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	国際関係論		2	
	国際関係論		2	
	経済原論		2	
	経済原論		2	
	西洋史 - 1		2	
	西洋史 - 2		2	
	中国史 - 1		2	
	中国史 - 2		2	
日本史 - 1		2		
日本史 - 2		2		

第3類 (杏林大学学則)

	言語学 - 1		2	
	言語学 - 2		2	
	言語と文化 - 1		2	
	言語と文化 - 2		2	
	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

科目 B	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	フランス語	- 1	1
	フランス語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	スペイン語	- 1	1
	スペイン語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	インドネシア語	- 1	1
	インドネシア語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	韓国語	- 1	1
	韓国語	- 2	1
	情報英語		1
	情報英語		1
	情報中国語		1
	情報中国語		1
	情報日本語		1
	口語英語	- 1	1
	口語英語	- 2	1
	口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1	
口語英語	- 1	1	
口語英語	- 2	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語	-	1	1	
	口 語 英 語	-	2	1	
	口 語 英 語	-	1	1	
	口 語 英 語	-	2	1	
	中 国 語 演 習	-	1	2	
	中 国 語 演 習	-	2	2	
	中 国 語 演 習	-	1	2	
	中 国 語 演 習	-	2	2	
	中 国 語 演 習	-	1	2	
	中 国 語 演 習	-	2	2	
	中 国 語 実 習	-	1	1	
	中 国 語 実 習	-	2	1	
	中 国 語 実 習	-	1	1	
	中 国 語 実 習	-	2	1	
	中 国 語 実 習	-	1	1	
	中 国 語 実 習	-	2	1	
專 門 關 連 科 目 C	哲 学	-	1	2	
	哲 学	-	2	2	
	宗 教 学	-	1	2	
	宗 教 学	-	2	2	
	歷 史 学	-	1	2	
	歷 史 学	-	2	2	
	文 学	-	1	2	
	文 学	-	2	2	
	音 楽	-	1	2	
	音 楽	-	2	2	
	日 本 国 憲 法 学			2	
	法 学			2	
	政 治 学	-	1	2	
	政 治 学	-	2	2	
	地 理 学	-	1	2	
	地 理 学	-	2	2	
	經 济 学	-	1	2	
經 济 学	-	2	2		
数 学	-	1	2		

第3類（杏林大学学則）

	数 学 - 2		2	
	物 理 学 - 1		2	
	物 理 学 - 2		2	
	化 学 - 1		2	
	化 学 - 2		2	
	生 物 学 - 1		2	
	生 物 学 - 2		2	
	心 理 学 - 1		2	
	心 理 学 - 2		2	
	統 計 学 - 1		2	
	統 計 学 - 2		2	
	情 報 処 理		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 科 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4 - 5（平成23年度入学生から適用）
外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称				単位数		備考
				必修	選択	
専門外国語科目	英語	-	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	英語	-	1	1		
	英語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	中国語	-	1	1		
	中国語	-	2	1		
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
	日本語	-	1		1	
	日本語	-	2		1	
日本語	-	1		1		
日本語	-	2		1		
日本語	-	1		1		

第3類（杏林大学学則）

	日 本 語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
	インテンシブ中国語 - 1		1	
	インテンシブ中国語 - 2		1	
専 門 科 目 A	日 米 比 較 文 化 概 論	2		
	英 語 の 文 化 誌	2		
	日 米 関 係 史 概 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ の 社 会 と 文 化		2	
	英 語 演 習	1		
	英 語 演 習	1		
	英 語 演 習	1		
	英 語 演 習	1		
	現 代 英 語 講 読 - 1	1		
	現 代 英 語 講 読 - 2	1		
	現 代 英 語 講 読 - 1		1	
	現 代 英 語 講 読 - 2		1	
	英 語 文 章 表 現 法 - 1		1	
	英 語 文 章 表 現 法 - 2		1	
	英 語 聴 解 ・ 討 論 - 1		1	
	英 語 聴 解 ・ 討 論 - 2		1	
	実 用 英 語		1	
	実 用 英 語		1	
	実 用 英 語		1	
	実 用 英 語		1	
	実 用 英 語 演 習	1		
	実 用 英 語 演 習	1		
	実 用 英 語 演 習	1		
実 用 英 語 演 習	1			
マルチメディア・イングリッシュ	1			
ゼ ミ ナ ー ル - 1	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論 - 1	2		英語ビジネスコミュニケーションコース
	国際コミュニケーション論 - 2	2		
	英米文化論 - 1		2	
	英米文化論 - 2		2	
	アメリカ近現代史概説 - 1		2	
	アメリカ近現代史概説 - 2		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 1		2	
	ヨーロッパ近現代史概説 - 2		2	
	グローバルビジネス論 - 1	2		
	グローバルビジネス論 - 2	2		
	現代北米ビジネス事情 - 1	2		
	現代北米ビジネス事情 - 2	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 1	2		
	現代ヨーロッパビジネス事情 - 2	2		
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	経営管理総論		2	
	経営管理総論		2	
	人材マネジメント論		2	
	人材マネジメント論		2	
	マーケティング総論		2	
	マーケティング総論		2	
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスイングリッシュ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習		1	
ビジネスコミュニケーション演習		1		
ビジネス情報処理演習	1			

第3類（杏林大学学則）

	ビジネス情報処理演習		1	
	ビジネス情報処理演習		1	
専 門 科 目 C	英 語 学 - 1	2		英語教育コース
	英 語 学 - 2	2		
	英 語 音 声 学 - 1	2		
	英 語 音 声 学 - 2	2		
	英 語 史 - 1		2	
	英 語 史 - 2		2	
	英 語 学 特 論 - 1		2	
	英 語 学 特 論 - 2		2	
	英 語 音 声 学 特 論 - 1	2		
	英 語 音 声 学 特 論 - 2	2		
	英 語 教 育 論 - 1	2		
	英 語 教 育 論 - 2	2		
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	英 米 文 学		2	
	児 童 文 学 論		2	
	社 会 言 語 学 - 1		2	
	社 会 言 語 学 - 2		2	
	対 照 言 語 学 - 1		2	
	対 照 言 語 学 - 2		2	
	認 知 言 語 学 - 1		2	
	認 知 言 語 学 - 2		2	
	言語獲得のメカニズム - 1		2	
	言語獲得のメカニズム - 2		2	
	バイリンガル教育論 - 1		2	
	バイリンガル教育論 - 2		2	
	英 語 発 音 聴 取	1		
	英 語 会 話	1		
	英 語 作 文	1		
	英 語 文 法	1		
	児 童 英 語 教 育 教 材 研 究		1	
児 童 英 語 教 育 実 習		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 - 1		1		
社 会 人 英 語 教 育 法 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	英語科教育法 - 1	2	
	英語科教育法 - 2	2	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1	2	
	比較文化論 - 2	2	
	比較文化論 - 1	2	
	比較文化論 - 2	2	
	アメリカ社会論 - 1	2	
	アメリカ社会論 - 2	2	
	中国事情	2	
	韓国事情	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	地域圏研究 - 1	2	
	地域圏研究 - 2	2	
	国際関係論	2	
	国際関係論	2	
	経済原論	2	
	経済原論	2	
	西洋史 - 1	2	
	西洋史 - 2	2	
	中国史 - 1	2	
	中国史 - 2	2	
	日本史 - 1	2	
日本史 - 2	2		
言語学 - 1	2		
言語学 - 2	2		
言語と文化 - 1	2		

第3類 (杏林大学学則)

	言語と文化 - 2		2	
	日中文化交流史 - 1		2	
	日中文化交流史 - 2		2	
	日韓文化交流史 - 1		2	
	日韓文化交流史 - 2		2	
	神話学		2	
	文化人類学		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	

第3類（杏林大学学則）

フランス語	- 2	1
フランス語	- 1	1
フランス語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
スペイン語	- 1	1
スペイン語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
インドネシア語	- 1	1
インドネシア語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
韓国語	- 1	1
韓国語	- 2	1
情報英語		1
情報英語		1
情報中国語		1
情報中国語		1
情報日本語		1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1
口語英語	- 2	1
口語英語	- 1	1

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語	-	2		1	
	中 国 語 演 習	-	1		2	
	中 国 語 演 習	-	2		2	
	中 国 語 演 習	-	1		2	
	中 国 語 演 習	-	2		2	
	中 国 語 演 習	-	1		2	
	中 国 語 演 習	-	2		2	
	中 国 語 実 習	-	1		1	
	中 国 語 実 習	-	2		1	
	中 国 語 実 習	-	1		1	
	中 国 語 実 習	-	2		1	
	中 国 語 実 習	-	1		1	
	中 国 語 実 習	-	2		1	
專 門 関 連 科 目 C	哲 学	-	1		2	
	哲 学	-	2		2	
	宗 教 学	-	1		2	
	宗 教 学	-	2		2	
	歴 史 学	-	1		2	
	歴 史 学	-	2		2	
	文 学	-	1		2	
	文 学	-	2		2	
	音 楽	-	1		2	
	音 楽	-	2		2	
	日 本 国 憲 法 学				2	
	法 学				2	
	政 治 学	-	1		2	
	政 治 学	-	2		2	
	地 理 学	-	1		2	
	地 理 学	-	2		2	
	経 済 学	-	1		2	
	経 済 学	-	2		2	
	数 学	-	1		2	
	数 学	-	2		2	
物 理 学	-	1		2		
物 理 学	-	2		2		

第3類（杏林大学学則）

	化 学 - 1		2
	化 学 - 2		2
	生 物 学 - 1		2
	生 物 学 - 2		2
	心 理 学 - 1		2
	心 理 学 - 2		2
	統 計 学 - 1		2
	統 計 学 - 2		2
	情 報 処 理		2
	体 育 理 論		1
	体 育 実 技 - 1		1
	体 育 実 技 - 2		1
専 科 門 目 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目		
自 科 由 目			

中国語学科

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数		備 考
		必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語 - 1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	英 語 - 1	1		
	英 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		
	中 国 語 - 1	1		
	中 国 語 - 2	1		

第3類（杏林大学学則）

	中国語	- 1	1	
	中国語	- 2	1	
	中国語	- 1	1	
	中国語	- 2	1	
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	異文化コミュニケーション		2	
	日本文化論			2
専 門 科 目 A	インテンシブ中国語	- 1	1	
	インテンシブ中国語	- 2	1	
	インテンシブ中国語	- 1	1	
	インテンシブ中国語	- 2	1	
	インテンシブ中国語	- 1	1	
	インテンシブ中国語	- 2	1	
	インテンシブ中国語	- 1	1	
	インテンシブ中国語	- 2	1	
	実用中国語演習			1
	実用中国語演習			1
	実用中国語演習			1
	実用中国語演習			1
	発展英語	- 1		1
	発展英語	- 2		1
	中国語文章表現法	- 1		1

第3類（杏林大学学則）

	中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1	
	中国語聴解・討論 - 2		1	
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	中国語学概論 - 1	2		
	中国語学概論 - 2	2		
	中国語音声学 - 1	2		
	中国語音声学 - 2	2		
	中国語コミュニケーション論 - 1	2		
	中国語コミュニケーション論 - 2	2		
	中国語通訳概論 - 1	2		
	中国語通訳概論 - 2	2		
	中国語翻訳概論 - 1	2		
	中国語翻訳概論 - 2	2		
	中国文学史 - 1		2	
	中国文学史 - 2		2	
	中国古典概説 - 1		2	
	中国古典概説 - 2		2	
	日中比較文化論 - 1		2	
	日中比較文化論 - 2		2	
	日中コミュニケーション研究 - 1		2	
	日中コミュニケーション研究 - 2		2	
	中国経済概論 - 1		2	
	中国経済概論 - 2		2	
	アジア経済論		2	
	中国政治外交論		2	
	実践中国語演習 - 1		1	
実践中国語演習 - 2		1		
実践中国語演習 - 1		1		
実践中国語演習 - 2		1		
実践中国語演習 - 1		1		
実践中国語演習 - 2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	実践中国語演習	- 1	1
	実践中国語演習	- 2	1
	時事中国語	- 1	1
	時事中国語	- 2	1
	商業中国語	- 1	1
	商業中国語	- 2	1
専門 関連 科目 A	比較文化論	- 1	2
	比較文化論	- 2	2
	比較文化論	- 1	2
	比較文化論	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	地域圏研究	- 1	2
	地域圏研究	- 2	2
	国際関係論		2
	国際関係論		2
	経済原論		2
	経済原論		2
	西洋史	- 1	2
	西洋史	- 2	2
	中国史	- 1	2
	中国史	- 2	2
	日本史	- 1	2
	日本史	- 2	2
	言語学	- 1	2
言語学	- 2	2	
言語と文化	- 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	言語と文化 - 2		2	
	神話学 - 1		2	
	神話学 - 2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座 - 1		2	
	英語総合講座 - 2		2	
	英語特論 - 1		2	
	英語特論 - 2		2	
	コミュニケーション概論 - 1	2		
	コミュニケーション概論 - 2	2		
	基礎演習 - 1	1		
	基礎演習 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	

第3類（杏林大学学則）

スペイン語	- 1	1	
スペイン語	- 2	1	
スペイン語	- 1	1	
スペイン語	- 2	1	
スペイン語	- 1	1	
スペイン語	- 2	1	
インドネシア語	- 1	1	
インドネシア語	- 2	1	
インドネシア語	- 1	1	
インドネシア語	- 2	1	
インドネシア語	- 1	1	
インドネシア語	- 2	1	
韓国語	- 1	1	
韓国語	- 2	1	
韓国語	- 1	1	
韓国語	- 2	1	
韓国語	- 1	1	
韓国語	- 2	1	
□語 英語	- 1	1	
□語 英語	- 2	1	
□語 英語	- 1	1	
□語 英語	- 2	1	
□語 英語	- 1	1	
□語 英語	- 2	1	
□語 英語	- 1	1	
□語 英語	- 2	1	
□語 中国語	- 1	1	
□語 中国語	- 2	1	
□語 中国語	- 1	1	
□語 中国語	- 2	1	
□語 中国語	- 1	1	
□語 中国語	- 2	1	
□語 中国語	- 1	1	
□語 中国語	- 2	1	
哲学	- 1	2	

第3類 (杏林大学学則)

専門 関連 科目 C	哲 学	-	2	2
	宗 教 学	-	1	2
	宗 教 学	-	2	2
	歴 史 学	-	1	2
	歴 史 学	-	2	2
	文 学	-	1	2
	文 学	-	2	2
	音 楽	-	1	2
	音 楽	-	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	-	1	2
	政 治 学	-	2	2
	地 理 学	-	1	2
	地 理 学	-	2	2
	経 済 学	-	1	2
	経 済 学	-	2	2
	数 学	-	1	2
	数 学	-	2	2
	物 理 学	-	1	2
	物 理 学	-	2	2
	化 学	-	1	2
	化 学	-	2	2
	生 物 学	-	1	2
	生 物 学	-	2	2
	心 理 学	-	1	2
	心 理 学	-	2	2
	統 計 学	-	1	2
	統 計 学	-	2	2
	情 報 処 理 論			2
	体 育 理 論			2
	体 育 実 技	-	1	1
	体 育 実 技	-	2	1
	日 本 語 教 育 概 説			2
日 本 語 教 授 法 概 論			2	

第3類（杏林大学学則）

専門 関 連 科 目 D	日 本 語 学 概 論	2	
	日 本 語 音 声 学	2	
	日 本 語 文 法 論	2	
	日 本 語 意 味 論	2	
	日 本 語 教 材 教 具 論	2	
	試 験 と 評 価	2	
	日 本 語 語 彙 論	2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説	2	
	日 本 語 史	2	
	日 本 人 の 言 語 行 動	2	
	異文化理解とコミュニケーション	2	
	日 本 語 教 授 法 演 習	1	
	日 本 語 教 育 実 習	1	
日 本 語 学 演 習	1		
日 本 語 教 育 演 習	1		
専科 関 連 目 目 E	他学部 の 設 置 科 目		
自科 目			

観光交流文化学科

授業科目の名称	単位数		備 考
	必修	選択	
英 語 - 1	1		英語及び中国語（留学生 は日本語から8単位選択） 必修16単位
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
英 語 - 1	1		
英 語 - 2	1		
中 国 語 - 1	1		
中 国 語 - 2	1		

第3類（杏林大学学則）

	中国語	- 1	1	
	中国語	- 2	1	
	中国語	- 1	1	
	中国語	- 2	1	
	中国語	- 1	1	
	中国語	- 2	1	
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	日本語	- 1		1
	日本語	- 2		1
	インテンシブ中国語	- 1		1
	インテンシブ中国語	- 2		1
	インテンシブ中国語	- 1		1
	インテンシブ中国語	- 2		1
	インテンシブ中国語	- 1		1
	インテンシブ中国語	- 2		1
	インテンシブ中国語	- 1		1
	インテンシブ中国語	- 2		1
専 門 科 目 A	観光交流文化論		2	
	ホスピタリティ論		2	
	国際観光論		2	
	交流文化論		2	
	異文化コミュニケーション論		2	
	サービス文化論		2	
	サービス日本語		2	

第3類 (杏林大学学則)

	紀行文論		2		
	観光メディア論		2		
	観光心理学		2	8 単位以上	
	観光人類学		2		
	観光地理学		2		
	観光保健論		2		
	福祉観光論		2		
	観光マーケティング論		2		
	キャリアデザイン	2			
	キャリアデザイン	2			
	観光英語 - 1	1			
	観光英語 - 2	1			
	観光英語 - 1	1			
	観光英語 - 2	1			
	観光中国語 - 1		1	観光中国語 - 1・2 (各1単位) 又は観光韓国語 - 1・2 (各1単位) のどちらかを選択必修	
	観光中国語 - 2		1		
	観光韓国語 - 1		1		
	観光韓国語 - 2		1		
	観光手話基礎		1		
	観光手話		1		
	実用英語 - 1		1		
	実用英語 - 2		1		
	観光基礎演習 - 1	1			
	観光基礎演習 - 2	1			
	ゼミナール - 1	2			
	ゼミナール - 2	2			
	ゼミナール - 3	2			
	卒業論文・課題指導		4		
専 門 科 目 B	サービス産業論	2			
	航空産業論		2		
	航空サービス論		2		
	宿泊産業論		2		
	宿泊サービス論		2		
	外食産業論		2		
	外食サービス論		2		

第3類（杏林大学学則）

	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	観光交流文化特論		2	
	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 - 1		2	
	比較文化論 - 2		2	
	アメリカ社会論 - 1		2	
	アメリカ社会論 - 2		2	
	中国事情		2	
	韓国事情		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	
	地域圏研究 - 1		2	
	地域圏研究 - 2		2	

第3類 (杏林大学学則)

地域圏研究	- 1		2
地域圏研究	- 2		2
地域圏研究	- 1		2
地域圏研究	- 2		2
国際関係論			2
国際関係論			2
経済原論			2
経済原論			2
西洋史	- 1		2
西洋史	- 2		2
中国史	- 1		2
中国史	- 2		2
日本史	- 1		2
日本史	- 2		2
言語学	- 1		2
言語学	- 2		2
言語と文化	- 1		2
言語と文化	- 2		2
日中文化交流史	- 1		2
日中文化交流史	- 2		2
日韓文化交流史	- 1		2
日韓文化交流史	- 2		2
神話学			2
文化人類学			2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1			2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2			2
英語総合講座	- 1		2
英語総合講座	- 2		2
英語特論	- 1		2
英語特論	- 2		2
コミュニケーション概論		2	
基礎演習	- 1	1	
基礎演習	- 2	1	
キャリア指導	- 1	1	
キャリア指導	- 2	1	

第3類（杏林大学学則）

	キャリア指導 - 1	1		
	キャリア指導 - 2	1		
	ホスピタリティ実習 - 1	1		
	ホスピタリティ実習 - 2	1		
	インターンシップ		1	インターンシップ ~ のうち1科目選択必修
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
	インターンシップ		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	ドイツ語 - 1		1	
	ドイツ語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	フランス語 - 1		1	
	フランス語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	スペイン語 - 1		1	
	スペイン語 - 2		1	
	インドネシア語 - 1		1	
	インドネシア語 - 2		1	
	インドネシア語 - 1		1	
	インドネシア語 - 2		1	
	インドネシア語 - 1		1	
インドネシア語 - 2		1		
韓国語 - 1		1		
韓国語 - 2		1		
韓国語 - 1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	韓 国 語	-	2	1
	韓 国 語	-	1	1
	韓 国 語	-	2	1
	情 報 英 語			1
	情 報 英 語			1
	情 報 中 国 語			1
	情 報 中 国 語			1
	情 報 日 本 語			1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	口 語 英 語	-	1	1
	口 語 英 語	-	2	1
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 演 習	-	1	2
	中 国 語 演 習	-	2	2
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
	中 国 語 実 習	-	1	1
	中 国 語 実 習	-	2	1
專 門 關 連	哲 学	-	1	2
	哲 学	-	2	2
	宗 教 学	-	1	2
	宗 教 学	-	2	2
	歷 史 学	-	1	2
	歷 史 学	-	2	2

第3類（杏林大学学則）

科目 C	文 学	-	1	2
	文 学	-	2	2
	音 楽	-	1	2
	音 楽	-	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	-	1	2
	政 治 学	-	2	2
	地 理 学	-	1	2
	地 理 学	-	2	2
	経 済 学	-	1	2
	経 済 学	-	2	2
	数 学	-	1	2
	数 学	-	2	2
	物 理 学	-	1	2
	物 理 学	-	2	2
	化 学	-	1	2
	化 学	-	2	2
	生 物 学	-	1	2
	生 物 学	-	2	2
	心 理 学	-	1	2
	心 理 学	-	2	2
	統 計 学	-	1	2
統 計 学	-	2	2	
情 報 処 理 学			2	
体 育 理 論			1	
体 育 実 技	-	1	1	
体 育 実 技	-	2	1	
専 科 門 関 連 D	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表5 - 1 - 1

教職に関する科目構成

（平成12年度入学者から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法	2	
社会科教育法	2	
公民科教育法	2	
商業科教育法	2	
英語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
中国語科教育法	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
社会科・公民科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
商業科指導研究	2	
商業科指導研究	2	
英語科指導研究	2	
英語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
中国語科指導研究	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育工学	2	
教育測定評価法	2	
生徒指導の研究（進路指導を含む。）	2	
生徒指導の研究	2	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総合演習		
総合演習	2	（保健学部・外国語学部）
基礎演習	2	（総合政策学部）
教育実習	1	
教育実習	2	
教育実習	2	
養護実習	1	
養護実習	4	

第3類（杏林大学学則）

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 1 - 2

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成18年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 - 1	2	
保 健 科 教 育 法 - 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 - 1	2	
商 業 科 教 育 法 - 2	2	
英 語 科 教 育 法 - 1	2	
英 語 科 教 育 法 - 2	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
健康教育学（保健科指導研究）	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 工 学	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習	2	
教 育 実 習	1	
教 育 実 習	2	
教 育 実 習	2	
養 護 実 習	1	
養 護 実 習	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 1 - 3

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成19年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 - 1	2	
保 健 科 教 育 法 - 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 - 1	2	
商 業 科 教 育 法 - 2	2	
英 語 科 教 育 法 - 1	2	
英 語 科 教 育 法 - 2	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
総 合 演 習		
教 職 総 合 演 習	2	（保健学部）
総 合 演 習	2	（総合政策学部・外国語学部）
教 育 実 習	1	
教 育 実 習	2	
教 育 実 習	2	
養 護 実 習	1	
養 護 実 習	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表5 - 1 - 4

教 職 に 関 す る 科 目 構 成

（平成22年度入学生から適用）

授 業 科 目 の 名 称	単 位	備 考
教 職 総 論	2	
教 育 原 理	2	
教 育 心 理 学	2	
教 育 社 会 学	2	
保 健 科 教 育 法 - 1	2	
保 健 科 教 育 法 - 2	2	
社 会 科 教 育 法	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 教 育 法	2	
商 業 科 教 育 法 - 1	2	
商 業 科 教 育 法 - 2	2	
英 語 科 教 育 法 - 1	2	
英 語 科 教 育 法 - 2	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
保 健 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 指 導 研 究	2	
社 会 科 ・ 公 民 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
英 語 科 指 導 研 究	2	
道 徳 教 育 の 研 究	2	
特 別 活 動 の 研 究	2	
教 育 の 方 法 ・ 技 術	2	
生 徒 指 導 の 研 究	2	
進 路 指 導 の 研 究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 中 ・ 高 ）	2	
教 職 実 践 演 習 （ 養 護 教 諭 ）	2	
教 育 実 習	1	
教 育 実 習	2	
教 育 実 習	2	
養 護 実 習	1	
養 護 実 習	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得よう

第3類（杏林大学学則）

とする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

別表6 - 1

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	2,300,000円 (年額)	1,100,000円 (年額)	600,000円 (年額)	600,000円 (年額)
実 験 実 習 費	500,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施設拡充整備費	2,000,000円 (年額)	150,000円 (年額)	250,000円 (年額)	250,000円 (年額)
教 育 充 実 費	2,500,000円			

- 1 平成8年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	300,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,100,000円 （年額）	600,000円 （年額）	600,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施設拡充整備費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	150,000円 （年額）	250,000円 （年額）	250,000円 （年額）

- 1 平成16年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 3

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,150,000円 （年額）	720,000円 （年額）	720,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施 設 設 備 費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）

- 1 平成17年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6 - 4

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 （年額）	1,150,000円 （年額）	720,000円 （年額）	720,000円 （年額）
実 験 実 習 費	1,000,000円 （年額）	300,000円 （年額）		
施 設 設 備 費	4,000,000円 （初年度） 1,500,000円 （2年次以降）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）	200,000円 （年額）

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

杏林大学教授会規程

制定 昭和49年12月 6日
改正 昭和54年 4月 1日

第1条 杏林大学学則（以下「学則」という。）第12条に規定する本学の各学部教授会（以下「教授会」という。）の運営に関し、同条第8項の規定に基づき、この規程を定める。

第2条 学則第12条第2項の規定に関し、当該学部の学部長に事故あるときは、教務部長たる教授又は学部長の指名する教授が、その職務を代行する。

第3条 教授会は原則として毎月1回定例にこれを開く。ただし、議長が必要と認めたときは臨時にこれを開くことができる。

第4条 教授会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 教授会の議事は、出席者の過半数をもって決する。議事の表決が可否同数となった場合は、議長の決するところによる。

第5条 教授会の庶務は、各学部の事務部が、それぞれ担当する。

附 則

この規程は、昭和54年 4月 1日から施行する。

ア 設置の趣旨及び必要性

[設置の母体と経緯]

本学の建学精神は、「眞・善・美の探究」であり、その精神を基に優れた人格を持ち、人のために尽くすことのできる国際的な人材を育成することを教育理念としている。

その母体は、杏林学園短期大学（昭和 41 年）の開設に始まり、その後、昭和 45 年に医学部、昭和 49 年に保健学部、昭和 59 年に社会科学部（平成 4 年より総合政策学部に変更）、昭和 63 年に外国語学部を開設するに至った。

外国語学部は、開設以来一貫して、外国語の習得を通じて「言葉」の持つ豊かな創造性とコミュニケーション機能の可能性を追究するとともに、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、杏林大学の建学の精神である「眞・善・美の探究」を広く国際的視野のもとに実現することを理念・目標としている。そして体系的に編成された教科教育及び課外活動を含む大学内外での幅広い教育活動を通じてこの理念・目標を達成し、21 世紀型市民を養成することを、学位授与の方針としている。

この教育の理念・目標を実現するために、外国語学部としては特に次の 4 点に力を入れている。

- (1) 実践的かつ高度な外国語運用能力を身につけた人材の養成
- (2) 様々なコミュニケーション能力を身につけた人材の養成
- (3) 正しい異文化理解に基づく 21 世紀型世界市民の養成
- (4) 問題解決能力や社会人を身につけた人材の養成

外国語学部創設以来、中国語教育は学部内での位置づけに数回の改編が行われた。すなわち、独立した 1 学科「中国語学科」（昭和 63 年～平成 12 年）、他言語の学科と統合された「外国語学科」の中の「中国語・中国研究」群（平成 13 年～平成 17 年）、3 学科制に再編する中で「東アジア言語学科」の中の「中国語ビジネスコミュニケーションコース」として「日本語教育学コース」との同一学科（平成 18 年～平成 20 年）、その後、学科名称をより実態に即した「中国語・日本語学科」と変更し、コース構成や教育方針は変えずに「中国語ビジネスコミュニケーションコース」（平成 20 年～21 年）という形になった。

以上のような経緯の中で、学部内での位置づけが変わっても、志願してくる者に、中国語の初級から上級までの手ほどきをし、海外留学や海外研修の機会も含めて、十分な語学力獲得のための教育と、できる限り深い文化素養の教育を施して、社会に有用な人材を送り出すための努力を続けてきた。22 年来、一貫して地道な努力とそれによる数々の成果を挙げてきた。

基礎教育に加えて留学経験をさせた後に、専門科目を配置して、コミュニケーション能力を身に付けた専門的職業人養成を目指している既設の「中国語ビジネスコミュニケーションコース」の構想は、枠組としては実務者養成の捷径を具現している。しかしながら、前述の本学部における学位授与の方針をより確実なものとして、現代社会のニーズに応えていくためには、さらなる改善をはかる必要がある。

以下に述べるように、現在の国際情勢のもとで、経済社会はより一層高度でかつ広範な中国語運用能力と問題解決能力を具備した人材を早急に必要としている。この要請に応えるために、既存の「中国語・日本語学科」を母体として新たに独立した学科「中国語学科」を設置し、中国語に堪能な日中間のコミュニケーションの担い手となるより高度な人材育成を可能とする教育課程を計画するに至ったものである。

[経済社会の人材需要]

日中国交回復後、すでに38年の歳月が経過した。この間、中国の対外開放政策の進展と、日中両国間の関係緊密化を背景に、人的往来が大きく伸び、現在ではすでに年間のべ600万人を突破している。それと同時に両国間の交流も着実に拡大してきた。現在では、輸出入総額が年間2600億ドルを超え、38年前と較べて約200倍にもなっている。中国は既にアメリカを抜いて、日本にとっての第一の貿易相手国となっている。

加えて、2008年の北京オリンピック、2009年の中国建国60周年、2010年の上海万博は、中国のみならず、我が国としても、またアジアにとっても記念すべきビッグイベントで、日中関係はもとより、中国語教育にとって大きな刺激やポジティブな影響を与えるものである。本格的な交流に対応するために、通訳者や翻訳者をはじめとする高度で実践的なコミュニケーション能力を有する人材がますます求められており、その育成は時代の急務である。

[学生確保の見通し]

- a 学士課程における中国語教育では、コミュニケーション能力の涵養に重点を置きその目標を十分に達成することはなかなか容易ではなく、上述の日中関係の急速な発展という実情に十分対応しきれないでいる。本学では、ことに近年来、学外の複数のスピーチコンテストでも目覚ましい成果をみせており、養成機関としての実力が示されているところであるが、これを一層進化させて、本課程の有用性を広く社会に周知させることで、初歩から学んでも大きな成果のあがるプログラムであることを広く伝えることにより志願増が見込める。
- b 高校から中国語を学び、一定の基礎力のある者に対して、無駄のないカリキュラムを用意することによって、他大学との差別化をはかることができ、志願者の確保が見込める。現在、我が国の高等学校では、中国語を第一ないし第二外国語として指定し、強化しようとしている学校も増えてきており、受講生数はあわせて2万人強にも達している。それにもかかわらず、大学のカリキュラムではきめ細かい対応ができず、せっかく身についた基礎力にリンクしたカリキュラムが用意できず、既習者クラスが作れずに、結果として、入門レベルから再学習させられるケースが多く、そのために高校卒業後、あえて中国語を引き続き履修することなく、違った分野へ進まざるを得ないという実情がある。本学科はこうした意欲のある既習者の受け皿としての役割を果たすことができる。高大連携の形を通じて、入学以前から高いモチベーションを持った学生に対して、入学後にさらに中国語の能力を向上させ、関連知識を学ばせ、真に社会で活躍できる人材として育てることで、社会のニーズに応えていくことができる。
- c 日本育ちの中国人子女で、日本語と中国語の一定の基礎力と両国の文化に対する一定の理解をもつ青年が、通訳者・翻訳者を目指しているケースが増えている。本学科はこうした青年の受

け皿となりうる。

- d 中国語圏で修学経験のある日本人子女が、2言語の基礎を習得したという経験を活かしてさらに研鑽を積む場所を求めている。本学科は有効なプログラムを提供できる。
- e 中国の大学で日本語を2年以上学び、編入生として入学する条件を具備した者の受け入れを計画に組み込んでいる。編入生については、すでに今までにもかなりの受入実績がある。これまでの、日本語関連科目や日本語教育関連科目の履修に加えて、通訳・翻訳に特化した授業に履修者が増加している。海外協定校からの交換留学生や派遣留学生には、現在開講している通訳・翻訳関連科目は特に好評である。より多くの希望者に道を開いてもらいたいとの要望が海外の協定校をはじめとして複数の大学から打診されている。

上記、a～dまでで、学生確保に結びつく数の志願者がみこまれるが、入学者の数を絞って、質の高い教育を丁寧に行って確実に所期の目的の人材を育てるために、定員を30名とした。30名を初学者と既習者にわけて、少人数教育を実施する。また、既習者は習熟度に応じてさらにクラス編成と授業内容を調整する。また、eで記した状況に対応するべく、3年次の編入定員を15名とし、海外の多くの志願者から厳選して教育していく計画である。

[人材の養成]

社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成する。

[教育研究上の目的]

高度な中国語能力を修得させるために、入学時より初学者と既習者のそれぞれに適したクラスを設け着実かつ無駄の無いカリキュラムを準備すると共に海外留学・夏期集中研修などを有機的に組み入れ、実感をともなった異文化理解をはかる中で、世界市民としての意識の涵養を図る。また、初年次教育・キャリア教育・教養教育を適切に配置して、問題解決能力や社会人を涵養する。

[卒業後の具体的な進路]

公務員、関連の外郭団体など公的機関、司法通訳者、会議通訳者、貿易商社、銀行などの金融機関、製造業、流通業、旅行会社などの国際的な交渉・交流が必要とされる各分野への進路を目指す。さらに本学の大学院国際協力研究科に進学して本格的な研鑽をつむ道も開かれている。同時通訳者をめざす資質のある者には、国際言語コミュニケーション専攻の日中通訳翻訳研究コースがあり、また、日中比較文化研究や外国人に対する日本語教育の教員を目指す者には、国際文化交流専攻がある。

[組織としての研究対象と中心的な学問分野]

言語学、翻訳学、中国語学、中国文学、中国語教育、日本語教育

イ 学科等の特色

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の提言する「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」を参照すれば、外国語学部としては主要な機能 7 つのうち、特に「幅広い職業人の養成」であるが、本学科においては、中国語運用能力の涵養という専門性を特色として教育を行うものである。

すなわち、充実した中国語基盤教育はもちろんのこと、ア、で示した現実の経済社会が必要としている人材を育てるために、高い目標と、カリキュラムならびに教員配置に特に工夫をした周到なプログラムを特色とする。

本学大学院に設置されている通訳者翻訳者を本格的に養成するプログラムにつながりうる実力の涵養を最高到達目標の一つとして掲げる。

ウ 学科の名称及び学位の名称

[学科の名称]

設置する学科の名称は、
「中国語学科 (Department of Chinese Communication)」
とする。

[学位の名称]

本学科が授与する学位の名称は「学士 (中国語コミュニケーション学)」とする。
(英 : Bachelor of Chinese Communication)

エ 教育課程の編成の考え方及び特色

[教育課程編成の考え方]

中国語に堪能で、日中両国間のコミュニケーションの担い手となる人材を重点的に養成する学科を構想するにあたり、既存の学科内の 1 コースとしての実績の上に、さらにより高い目標を目指しての教育課程の編成を行う。

「専門教育を施す前提としての語学力の基礎固め」として、1, 2 年次の中国語は必修科目として、レベルに応じた集中講座として配置する。レベル別クラスの構成、授業内容、進度の扱い、テキスト、などは後述のとおりである。1, 2 年次には英語も必修科目として配置している。

2 年次以降の専門科目には従来にも増して、コミュニケーション能力の育成のための科目を充実させる。一定の語学力を持って入学してくる入学者のために配当年次に工夫をし、より高度な能力の修得を保障する。同時に、入学時には初学者であっても飛躍的に語学力を向上させる緻密なプログラムを実行する。

言語環境の確保としての留学や海外研修を推奨するとともに、来日している留学生との交流を促す。留学と研修は必修ではないが協定校との間での優れたプログラムを持ち、単位認定の制度もあることを含めて参加を強く推奨する。留学生との交流は、同一授業内での切磋琢磨の

機会の他に、課外活動でも多くの機会を設ける。

語学力をささえる周辺知識の修得のために、関連科目の履修を通じて深い文化素養を身につけるとともにコミュニケーションそのものに対する知識と理解を深めて、理論的な裏づけのある運用能力を高めるための科目を配置する。1年次には「コミュニケーション概論」、2年次には「異文化コミュニケーション」、3年次には「中国語コミュニケーション論」の各科目を必修として設置している。また、選択科目として「日中コミュニケーション研究」をおき、より具体的な事例研究の場を用意している。

学士力としての基礎的教養の涵養するために教養科目を効果的に配置し、基礎教養の補完を行う。1年次から履修可能な科目を増やすとともに、一定の視座を確立してからの受講が望ましい科目は2年次以降に受講するように調整をしている。

社会人基礎力の涵養のために、科目を配置し、社会倫理の養成、IT指導、就業意識向上のためのキャリア指導を行っていく。

1年次には、「ホスピタリティ実習」、2年次には「キャリア指導」、3年次には「キャリア指導」の各科目を必修として設置している。また、選択科目として「インターンシップ」をおき、社会における実践の場での研修や、社会人基礎力の涵養のための集中研修などを企画する。

上記の6つのポイントはいずれも、ア、で述べた本学部の学位授与の方針を具現するものである。既存のコースの中で実績を持つものがほとんどであるが、とととに特にこのたび設置する新学科としての特色がより鮮明に示されている。

[教育課程編成の体系性の確保]

具体的には、本学科は以下に示す専門科目群の編成により教育課程の体系性を確保する。

日中両国間のコミュニケーションの担い手となる人材の養成が本学科の目的であるが、その教育内容の質を確保するためには、適切な少人数での学生に目が行き届く指導が重要である。そこで、学部全体の方針として、とりわけ後述する専門外国語科目、専門科目A・Bにおけるゼミナール・演習系科目、専門科目Aにおける「社会人基礎力」の養成を目的とした科目について少人数での運営を行うのに加えて、本学科では定員が1年次入学30名、3年次編入15名、という少人数であり、科目によってはそれをさらにクラス分けをして、より密度の濃い授業展開をしていく。

また、本学科が属する外国語学部では、学習目標とその達成プロセスを明示することで、学生に授業に対する緊張感を持たせるため、また、4月入学生と10月入学生双方において教育課程の体系性を確保し学習効果を向上させるため、セメスター制を導入しており、本学科もそれを踏襲する。また、セメスター制の効果を最大化するためにセメスターごとに履修登録させ、時間割を決定させる。

専門外国語科目

外国語学部では、全ての学科で英語と中国語を必修科目としている。それぞれ8科目計16単位である。留学生のためには、日本語強化の科目を用意している。中国語学科生も、1~2年次

に必修として英語を履修し、さらに英語を学びたい場合には、他の科目群の中に選択科目が配置されている。中国語に関しては、「専門外国語科目」の8科目8単位に加えて、次項目の「専門科目A」におかれた必修科目8科目8単位と併せて1～2年次に計16単位が必修で、2年間で教室での授業(90分)を240回実施する。入学時の中国語学習歴と到達度・習熟度に応じたクラス編成を行う。

専門科目A

日中間のコミュニケーターになるための素養として、異文化理解のための基礎としての科目「異文化コミュニケーション」を必修として設置する。そして、自国の理解を深めるために「日本文化論」を開講する。また、1～2年次の中国語集中学習の16科目16単位の半数を構成する「インテンシブ中国語 ～ 」8科目8単位は必修である。

さらに「実用中国語演習」「中国語文章表現法」「中国語聴解・討論」等の科目を配して、総合的な中国語能力の涵養を図る。

3年次からの必修である「ゼミナール」と、4年次の「卒業論文・課題指導」によって、学生ひとりひとりの特性と志向に適合したきめ細かい指導を行ない、あわせて、社会人力の育成にも力を注ぐ。

専門科目B

本学科が養成目標とする日中間のコミュニケーターとしての深い知識と広い見識を修得するための科目群である。「中国語コミュニケーション論」と「日中コミュニケーション研究」は重点科目である。さらに、対象となる地域の文化を深く理解するための科目、ならびに通訳や翻訳に関する講義科目と演習科目も系統立てて配置している。

専門関連科目A・C

基礎教養の補完、社会倫理の養成、IT指導、そして就業意識の向上のための学部共通科目である。今後の日中間のコミュニケーションの担い手となる人材に求められる基礎的教養を広く涵養することを目的とする。学部所属の1年次生全員の必修科目である「コミュニケーション概論」は専門関連科目Aの区分に設置してある。

また、本学科の目的のひとつである「幅広い職業人養成」の達成を進めるため、専門関連科目Aにプレゼンテーション能力向上を目的とする「基礎演習」、就業意識の涵養を目的とする「キャリア指導」「キャリア指導」、社会における各自の心を表現する実践的スキルを確立させる「ホスピタリティ実習」を設置している。これは学部所属学生全員の必修科目でもある。

専門関連科目B

より高度な語学力を養成するための科目で、英語の応用的科目を1年次以上から選択履修できるようにし、また、必修ではないが、ドイツ語、フランス語、インドネシア語、韓国語の各言語についても2年次・3年次向けに科目を配置する。夏期集中講座や短期海外研修の形で学ぶ中国語科目も準備し、全学部生が受講できるような時期に設定して実施している。

専門関連科目D

副専攻として日本語教員養成課程の履修を希望する学生のための日本語教育関連の科目群として配置する。日本語を母語としない留学生の日本理解のための教育科目としての意義もある。

このほか、課外活動の一環で、中国語能力の到達度の確認と学習の励みにするために中国語検定試験や漢語水平考試（HSK）の受験を推奨する。中国語検定試験は6月と11月に学内を委託会場として実施する。中国に長期留学する場合は、現地でHSKの受験をさせる。学外のスピーチコンテストや学園祭での学科発表としての活動も盛り込んで多種多彩な学習の場を提供していく。

[履修順序（配当年次）の考え方]

中国語初学者には、1～2年次に集中的な訓練を施して中級レベル到達を目標に指導する。2年間で90分の教室での授業が240回実施できるようにカリキュラムを組んである。

また、2年次の前期の半年間、もしくは前期後期をあわせた1年間に海外協定校への留学を推奨し、夏期集中講座や短期海外研修も用意して基礎力の涵養につとめ、3年次からの通訳翻訳訓練も含めたより高度な学習に進めるように配慮している。

入学時にすでに一定程度中国語力のある中国語既習者のために、既習者クラスを用意している。1～2年次におこなう90分授業240回は、既習者クラスでは上級レベルに到達・習熟することになる。高校ですでに中国語の基礎を学んだ者や、留学経験者、帰国子女などが足踏みすることなくさらに上の段階へすすめるようにし、3～4年次での高度な訓練に備えさせる。

「中国語通訳概論」「中国語翻訳概論」の必修2科目は既習者クラスでは2年次に、初心者クラスには3年次で履修させる。

3年次と4年次には上級レベルの語学科目と、各領域の知見を深める専門科目を配置している。また、3年次と4年次の2年間、必修としてゼミナールに所属して研鑽を積む。

[秋入学者への配慮について]

本学科では、留学生を主たる対象とし、母国の学校制度も考慮して10月入学の設置を行う。10月入学時期の定員設定は若干名とし、入試要項によって決定する。

なお、前述の通り本学では Semester 制度を導入しており、1学期で完結する講義によるカリキュラムを編成しているため、教育課程の体系性・教員の負担などの教育体制は、4月入学同様の形で確保可能である。加えて、入学時に各学生と教員が面接を行い、履修について適正な指導を行うこととする。

オ 教員組織の編成の考え方及び特色

[教員組織の基本的考え方]

本学科の教員組織について、設置の趣旨や学部学科の特色、教育課程の考え方及び特色などをふまえ、学科の目標を達成するのに必要かつ最適な編成を行う。

本学科では、学科に設置される「専門科目 A」「専門科目 B」の講義形式の必修科目は基本的にすべて専任教員が担当する。また、ゼミナール、基礎演習、キャリア指導などの演習形式の必修科目は、すべて専任教員が担当する。

兼任・兼任教員が担当する科目を含めたカリキュラム全体についても、学科の目標達成に向けて、専任教員が管理運営を行う。特に、チームを組んで連動した授業を行う場合には、専任

教員が中核となり、兼任・兼任教員との連携を綿密にとりながら授業をすすめる。

「中国語通訳概論」「中国語翻訳概論」「中国語コミュニケーション論」「実践中国語演習 ～」「時事中国語」「商業中国語」等は、実務経験豊富な専任教員ならびに兼任教員が担当する。

言語学・翻訳学・文学・中国語教育・日本語教育などの関連分野の研究において成果のある研究者とともに、現役の通訳者翻訳者や関連産業の実務経験者を専任教員として配置し、既述のような特色を持つカリキュラムが効果的に展開されるように配慮する。

[学科の研究対象分野、教育課程における中核的科目・必修の理論科目等への教員配置]

本学科は、科目区分「専門科目 A」「専門科目 B」の必修科目を中核的科目とし、専任教員を中心に配置する。また、科目区分「専門関連科目 A」の必修科目についても専任教員を配置する。これらの科目を専任教員が担当することによって、カリキュラム全体の調整や各科目間の連携が可能になる。

科目区分「専門外国語科目」

本学科が属する外国語学部では、必修の外国語として、英語と中国語の 2 言語を設定している。また、それぞれについて独自に開発した教材および教授法があり、学部で統一的に展開している。本学科の「専門外国語科目」の必修科目「英語 - 1」～「英語 - 2」は英語学科の専任教員の管理運営のもとで兼任・兼任教員が担当する。「中国語 - 1」～「中国語 - 2」については中国語学科の専任教員が中核となり、兼任・兼任教員との連携を綿密にとりながら授業をすすめる。

科目区分「専門科目 A」「専門科目 B」

中核的科目は、言語学を専門領域とする教授・講師、文学や比較文化を専門領域とする教授・講師、通訳翻訳分野を専門領域とする教授・講師、が中心となって担当する。各教員は、それぞれの科目に関連する学位(修士号または博士号)またはそれに相当する実務経験を有する。

「ゼミナール 1～3」および「卒業論文・課題指導」も複数の専任教員が担当する。

「専門科目 B」は学科が対象とする分野の理解ならびにスキルアップを目指した科目である。当該科目が対象とする分野の研究・実務に精通した専任教員および兼任・兼任教員が担当する。

科目区分「専門関連科目 A」「専門関連科目 B」および「専門関連科目 C」

科目区分「専門関連科目 A」「専門関連科目 B」および「専門関連科目 C」は、基礎教養の補完、社会倫理の養成、IT 指導、そして就業意識の向上のための学部共通科目である。当該科目が対象とする分野の研究・実務に精通した専任教員および兼任・兼任教員が担当する。

学生 1 人ひとりの就業意識を高めキャリア形成を助ける科目(「基礎演習」「キャリア指導」「ホスピタリティ実習」など)を国際人に欠かせない知識と教養を身に付けるための諸科目(「比較文化論」「地域圏研究」などの講義科目、ならびに「フランス語」「韓国語」などの演習科目)を配置し、特に、1～2 年次の必修科目である「基礎演習」・「キャリア指導」・「ホスピタリティ実習」では、すべて専任教員による少人数クラスで基礎教養の補完、IT 指導、そして就業意識の向上を図る。

科目区分「専門関連科目 D」

「科目区分 D」は、副専攻として日本語教員養成課程の履修を希望する学生のための日本語教育関連の科目群である。日本語を母語としない留学生の日本理解のための教育科目としての意義もある。当該科目が対象とする分野の研究・実務に精通した複数の教授職を含む専任教員および兼任・兼任教員が担当する。

[教員組織の年齢構成]

教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化に支障がないように、教員組織の年齢構成について次のように配慮する。

本学科設置時、60 歳代の教授が 3 名、50 歳代の教授が 4 名、40 歳代の教授が 1 名、50 歳代の講師が 1 名、40 歳代の講師が 2 名、30 歳代の講師が 2 名の構成である。それぞれ、言語学、文学、翻訳学、中国語教育、日本語教育、等の分野で教育研究または実務での実績を有している。

学科の完成時にも年齢構成を維持することが可能であり、さらにそれ以降に定年退職者等がある場合には、教育研究に支障がないように、また適切な年齢構成となるように当該分野の専任教員を補充する。

カ 教育方法、履修指導及び卒業要件

[教育方法（学部全体）]

まず、学部全体の教育目標を達成するために、次のような教育方法を徹底する。

- 語学・演習授業における、少人数クラス編成
- クラス担任、ゼミナール担当教員による学習指導
- 厳格な成績評価
- 教育効果向上のための教育改善

語学・演習授業においては、学部全体において、少人数クラスを徹底する。とりわけ、1・2年次必修の「英語」「中国語」「日本語（留学生のみ）」「基礎演習」「キャリア指導」では、習熟度別の少人数クラス編成をおこなう。本学科は定員が少ないこともあり、上記科目のほかでも確実に少人数教育が実施できる。

授業形態としては、通常の授業、集中講義、「インターンシップ」や海外研修などの事前・事後指導の授業などを組み合わせた授業を展開する。

また、平成 17 年の「杏林学園中長期改革委員会の提言」に基づき、学部の ICT 化、マルチメディア化されたコンピューター室、CALL 教室、同時通訳ブースのある演習室などを利用した授業を行なう。同様に、全教室に整備されたビデオ DVD などの AV 機器、PC・プロジェクター、LAN コンセント、無線 LAN を積極的に活用する。

さらに、遠隔授業については、「口語英語」の授業の一部でイギリスの学校とのあいだで実施するもので、ネット回線を利用し、学部教員とイギリス人教員の二人でチームティーチングを行うという独自の授業方法を採用する。

既述のような教育目標を実現するには、従来のキャンパスおよび教室内で理論を中心とした講義形式とともに、それを学生が主体的かつ経験的に理解する実践的な教育法・指導法の導入が必要である。

すでに述べたように、本学科には関連分野の研究において成果のある研究者教員のみならず、会議通訳や翻訳といった分野におけるハイレベルの実務経験をもつ教員を複数配置する。社会の現場第一線での実績を踏まえて、実践的な教育法・指導法により、必要なスキルと知見を授けることに重点をおいて指導する。

[本学科での特色のある教育方法ならびに配当年次]

1 「学士（中国語コミュニケーション学）」を授与するにあたって、理論的側面を強化するための一連の科目群を系統的に配置している。1年次「コミュニケーション概論」、2年次「異文化コミュニケーション」、3年次「中国語コミュニケーション論」「日中コミュニケーション研究」である。

2 専門外国語科目の中国語の履修に関する授業システム

2 - 1 中国語初学者向けに、1～2年次で行う必修 16 単位の仕組み

1～2年次の基礎力養成時期には、専門外国語科目の必修科目と専門科目 A の必修科目を組み合わせ、集中的な総合講座を展開する。

中国語初学者は、1年次に週 5 コマの連動した授業と、2年次に週 3 コマの授業を必修で配置す

る。クラス人数は10名～15名とする。2009年度の進捗表（実績）は別添資料のとおりである。

週5回の初級クラスの効果的な履修のために、進捗の統一と調整、授業方式の検討、小テストと期末テストの配置と実施、日常の練習問題と夏休みならびに春休みの宿題の作成など多くの工夫を行なう。すでに2004年度から本格的に編纂がなされたオリジナルテキスト『中国語レッスン70』は、2007年に市販教材として出版された。当該テキストは、初歩から無理なく着実に中国語の基礎の力を身につけられるように、本学部の中国語教育研究チームが長年の教育現場での経験をもとに作成したものである。

週5回の授業によって毎日90分の授業が年間で120回あまり行なえるシステムにあわせて作成されたテキストで、1年次で初級の力をつけて、中国語検定3級レベルの実力の獲得し、そして2年次前期の海外留学を効果のあるものにすることを目標にしている。

授業の進め方については、年度初めに担当教員の連絡会を開いて確認を行う。また、同一クラスを担当する教員のチームでは日常的に十分に連絡を取り合って確認しつつ授業を進める。記録簿・出席簿・連絡簿がクラスごとに用意され、またメール連絡などで受講生の状況を常に把握しつつ授業をすすめる。

学期末ごとに、各担当者の授業内容報告を集約し、全担当者にフィードバックすることで、教育実践研究の素材とし、不断に改善を図っている。

2 - 2 中国語既習者向けに、1～2年次で行う必修16単位の仕組み

中国語既習者にも、1～2年次に、集中的な中国語総合講座を展開する。既習者に対する中国語必修科目としては、1年次に週4科目（年間8科目8単位）、2年次にも週4科目（年間8科目8単位）を配当する。

授業は、中国語ネイティブ教員によって行われる「中国の中学・高校の国語の教科書で扱うレベル」の中国語教育と、日本語ネイティブ教員によって行われる中文読解力の涵養ならびに日本語能力の向上をはかる教育とをバランスよく配置する。

3 専門科目の履修について

1～2年次での中国語集中訓練や留学を経た後、3年次には中国語の中上級レベルの科目を配置して教育を行なう。必修科目のうち「中国語通訳概論」「中国語翻訳概論」は、入学時に中国語既習者クラスへ配属された者は2年次で履修し、入学時に初学者であった者は3年次に履修するように指導する。

既習者は3年次以降には、さらに実践的な演習科目を効果的に学べるように配慮したものである。

また、言語文化の背景知識やコミュニケーション論や比較文化論などの科目も本学科においては幅広い知見を修得する上で欠かせない科目で、一部は2年次から、多くは3年次から学べるように配当している。

4 外国語教育を支える言語環境としての海外留学や海外研修

4 - 1 留学先の確保

中国語圏への留学は、中国語学習の一貫として望ましいものである。協定校はもちろん、その

他の大学への留学も、事前に申請して認められると、留学期間が本学での在籍期間に数えられ、留学先の大学で得た成績を単位認定することのできる制度がある。留学期間は半年から1年が多く、4年間の学習プログラムの中に組み入れて効果的な学習ができる。中国に長期留学する場合は、中国語能力の到達度の確認と学習の励みにするために現地でHSKの受験を奨励している。

今までの実績のある主な留学先には以下の大学がある。

北京第二外国語学院大学、河北大学、香港中文大学、国立政治大学（台湾）
北京師範大学、北京語言大学、南開大学、華東師範大学、中央戯劇学院、
対外経済貿易大学、中央民族大学、大連外国語大学、福建大学、首都連合大学

4 - 2 海外研修の実施

春休みと夏休みにそれぞれ30日間の研修を実施し、通常の学修を補完するものとしている。研修先は北京語言大学で、修了した者には単位が認定される。

5 課外活動

5 - 1 留学生との交流

中国語圏からの留学生が同じキャンパスで学んでいる。中国語を学ぶ学生と交流をすることで、キャンパスにいながらにしての国際交流と語学学習の機会となる。

中国語クラスと留学生の日本語クラスの交流は早い時期から行なわれていた。主として当該クラスの教員たちの連携による授業内の時間を利用した相互訪問の形をとった。最初のきっかけができれば、積極的な学生であれば、留学生との交流でみるみるうちに成長していく。ゼミやサークルでも留学生との付き合いがひろがっている。外国語学部で、中国語を学部生全員必修にした2006年からは、学生たちの交流は以前にも増して広がっている。

本学科の設立により、学修面では、よりレベルの高い研鑽の場としての交流が可能となる。すなわち、特に3年次以降に、中国語圏からの編入生が相当数加わってくると、ほとんど全ての専門科目において、日本語母語話者と中国語母語話者の二つのタイプの学生が同席して学ぶことになる。

5 - 2 中国語検定試験を委託会場として学内にて実施し、受験を奨励する。

6月と11月の中国語検定試験を委託会場として学内にて実施し、学力確認の目安とし、日々の学習の励みとするために実施して受験を奨励する。学内会場での試験実施は2年前からおこなっているが、受講者は増加傾向にある。

5 - 3 学外のスピーチコンテストへの参加ならびに学園祭での学科発表としての活動としてのスピーチコンテストや朗読大会や通訳付きの語劇なども盛り込んで多種多彩な学習の場を提供していく。

[卒業要件]

授業科目は、講義科目と演習科目からなり、「学則」第25条および「大学設置基準」第6章第21条の定めに従い、講義科目については週1時間15週をもって1単位とし、演習科目について

は、週 2 時間 15 周をもって 1 単位とする。

海外研修は実授業数に応じて学内での演習に相当する単位数を事前に設定し、長期留学の場合
は、成績証明書と実授業時数による換算にて帰国後に単位認定をすることができる。

卒業要件は以下の必修 64 単位を含めて、124 単位以上の修得である。

必修単位 64 単位の内訳は次のとおりである。

専門外国語科目は英語及び中国語（留学生は日本語から 8 単位選択）必修 16 単位とする。

専門科目 A では、「異文化コミュニケーション」「ゼミナール - 1」「ゼミナール - 2」「ゼミナール - 3」がそれぞれ 2 単位。「インテンシブ中国語 - 1」から「インテンシブ中国語 - 2」までの 8 科目がそれぞれ 1 単位で、計 16 単位が必修である。

専門科目 B では「中国語学概論」「中国語音声学」「中国語通訳概論」「中国語翻訳概論」「中国語コミュニケーション論」がそれぞれ通年の講義科目で、計 20 単位が必修である。

専門関連科目 A では、「コミュニケーション概論」が通年の講義科目、「基礎演習」「キャリア指導」「キャリア指導」「ホスピタリティ実習」がそれぞれ通年の演習科目で、計 12 単位が必修である。

科目区分	配当単位数	卒業要件単位数		総合計
		必修	選択	
専門外国語科目	30	16	60	
専門科目 A	32	16		
専門科目 B	56	20		
専門関連科目 A	92	12		
専門関連科目 B	46			
専門関連科目 C	66			
専門関連科目 D	30			
専門関連科目 E				
計	352	64	60	124

注：専門関連科目 E は他学部設置科目であり、配当単位数の総計には含めていない。

[履修モデル]

（資料 1 参照）

[年間登録の上限]

1 学期の履修科目の登録の上限は 24 単位とする。

[多様なメディアの利用]

本学科の各科目において特に用いるのは CALL 教室である。1～2 年次の発音教育、3 年次以降の翻訳や通訳の講義や演習、音声学の講義などで多く用いる。

また、大学院で会議通訳者養成の科目で主として使用している同時通訳演習室は、本学科では通訳関連科目で使用する場合があり、また、課外活動やゼミナールでの中国語による演劇発表の

際の日本語同時吹替による通訳実践にも用いている。

[各専任教員が担当する主要科目の資料]

(別添資料「5. 授業科目の概要」参照)

ク 入学者選抜の概要

入学者選抜は、学部の入試審議委員会や教授会で決定した入試制度をもとに、学部の担当委員会および全学的な入試委員会においてその方法を企画・立案する。それに基づき、全教職員協力のもと、進学相談会、オープンキャンパス、高校訪問などを実施し、その周知を図る。また、大学・学部案内のパンフレットや募集要項は、希望者はもちろん、主要な高校や予備校、さらには日本語学校や海外の学校等にも送付する。同時に、大学のホームページにおいても公表する。

社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を身につけ、さらに高度な知見と技能の修得を果たして、日中両国間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備して社会貢献したいと願う者を募集する。既述のような学科の学位授与、教育課程編成の方針に則し、訓練に耐え得る一定の知識水準に達した有為な人材を求めるため、言語能力と学習意欲を測ることを基礎とした多様な選抜方法の入試を実施する。

1) 4月入学

一般入試(大学試験および「大学入試センター試験」利用)

推薦入試(指定校制、公募制、資格取得者制、学科特別推薦制)

A0入試

外国人留学生・社会人入学・帰国子女入試

2) 10月入学(外国人留学生対象)

全学組織である入学センターと連携し、次のような体制で入学者選抜を実施する。

学部内に、学部長、各委員会委員長、学科責任者からなる入試審議委員会を設置し、基本方針の策定など入学者選抜に関する基本的なことがらを審議すると同時に、合否判定の原案を作成する。

入試問題作成については、学部長からの推薦をもとに学長から入試問題作成委員を委嘱する。作成委員が過年度入試データをもとに、その難易度、出題範囲、高校教科書の点検をした上で作成する。また、それをチェックする委員を指名し、入試問題の適切性を検証する。

また、A0入試については、数名の専任教員が担当し、課題の添削指導および面接等を実施し、その結果を総合的に検討して合否を判定する。

入試の実施にあたっては、学部入試委員会が中心となって実施態勢を組み、全専任教員が試験監督、面接などの業務にあたる。また、選抜基準の透明性を確保するために、推薦入試やA0入試ではその出願資格を「募集要項」などに明示し、面接や添削指導についても複数の教員が担当することで判定の客観性を確保する。一般入試についても配点などを公表し、さらに過年度入試の最高点・最低点などの情報や入試問題なども公表する。

[科目等履修生]

本学科では、開かれた大学と生涯教育の場を提供するために、科目等履修生、聴講生を受け入れる。科目等履修生制度は、本学・本学科で授業が聴講できるだけでなく、単位の認定も行う。聴講生制度については、単位の認定は行わない。

募集人員はそれぞれ若干名とし、出願資格は高等学校を卒業または、学校教育法施行規則第 69 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者とする。選考方法は、科目等履修生、聴講生ともに書類審査と面接によって審査する。

サ 学外実習としての海外語学研修の具体的計画

海外語学研修は、学期中に実施する長期留学（半年～1年）と、春と夏の長期休暇中に行う短期集中海外研修がある。

長期留学は、滞在先大学の成績証明書と授業受講の実時間数で、認定可能な単位数に換算して、杏林大学での単位として認定することができる。また、留学期間を在学期間に算入することができる。

短期海外研修は、相当する科目の単位を履修したものとして認定される。

長期留学には、海外協定校との間で実施している交換留学、派遣留学がある。

交換留学は1年間で、学費は本学に納入するだけで留学先大学の学費は免除される。現在、北京第二外国語大学、河北大学、国立政治大学（台湾）、香港中文大学へ恒的に派遣している。また近年協定校となり、今後交換留学の実施が可能となった大学として、北京外国語大学、北京語言大学、天津外国語大学、大連外国語大学、上海外国語大学などがある。交換留学には人数の制限がある。

そのほか、上記協定校ならびにその他の大学であっても、事前に申請して認められると、先方の大学の学費支払も自費で行う必要があるが、派遣留学として扱われる。在籍期間として算入されることと成績証明書によって単位認定がなされる点は交換留学と同様である。

短期集中海外研修は、春休みと夏休みにそれぞれ30日間の研修を実施している。研修先は北京語言大学で、世界各国からの多くの留学生と一緒に学ぶ。中国語でのクラス分け試験を受けて相応のレベルの授業が受けられるため、1年生の夏休みからでも参加可能である。また、滞在期間中にHSK受験ができるプログラムであり、春は普通クラス（週20時間×4週間）、夏は普通クラスに加えて強化クラス（週30時間×4週間）という選択もできる。すでに複数回参加した学生もいる。

ス 編入学定員の設定についての具体的計画

本学科は、3年次に編入学生を受け入れる。入学定員は15名とする。主として中国の大学で日本語を2年以上学び、編入生として入学する条件を具備したものの受け入れを計画している。編入留学生については、すでに今までもかなりの受入実績がある。ことに、現在すでに開講している通訳・翻訳関連科目は特に好評であり、海外の協定校などからの受け入れ要請があり、本学

科の社会的役割を示すものといえる。また、日本国内からの一般の編入学生も条件に合致すれば受け入れる。

出願に当たっては、本学が定める条件を満たしていることを求める。また、編入学生の選抜にあたっては、本学科の3年次以降の科目履修が可能な中国語と日本語の運用能力を具備していることを確認するための、筆記試験や面接試験などを行って、厳選して教育していく計画である。

[既修得単位の認定方法]

編入学時に、原則として既修得単位のうち62単位を一括して認定する。卒業要件は、4学期以上在籍し、62単位以上を修得することとする。

[履修指導]

入学時のオリエンテーションをはじめ、各学期開始時にオリエンテーション期間を設け、履修に関するガイダンスと個別履修相談を実施する。「履修案内」「簡易版シラバス」「学生ハンドブック」「時間割表」など履修に必要な冊子・書類は全学生に配布するとともに、平成18年度から導入されているWEB履修システム「Universal Passport」でいつでも関連する情報を確認できるようにする。

[編入後の履修モデル]

(資料2参照)

[教育上の配慮]

編入学生については、これまでの学修歴などの事情を配慮しながら個別履修相談等を実施し学習支援を行う。第5学期から第8学期次にはゼミナール担当教員が、履修相談をはじめ個人的な悩みや進捗相談にあたる。また、各専任教員はオフィスアワーを週1回以上設けて学生に対応する。

ツ 管理運営

学部の最高意思決定機関は、4学部それぞれの教授会である。教授会は学部長が議長となって毎月1回開かれ、入試時期など必要時には臨時教授会も開かれる。教授会は過半数の出席をもって成立し、教育、教員人事、学生、研究などに関する事項を審議する。各学部は、教務委員会をはじめとする各種委員会を設置し、審議事項を学部長に報告している。

大学評議会は学園長、学長、学部長、図書館長、各教授会構成員から選任された各2名で構成される大学の最高意思決定機関である。学則や諸規定改正の必要が生じたときに召集される。

(杏林大学学則第12条)

テ 自己点検・評価

大学の理念、目的を達成するために、常に自らの教育研究活動等の状況を点検、評価する一方、定期的に認証評価を受審し、教育研究水準の向上を図っている。

杏林大学学則（第1条の2）は、教育研究水準の向上を図り、大学の使命、目的を達成するために、本学における教育研究活動の状況を自ら点検、評価することを定めている。自己評価は大学評議会の審議事項となっている（杏林大学学則代12条の2）。

大学評議会は、自己点検・評価の実実施計画、実施要領等の基本方針を定め、評価の実施は、各学部、各研究科、病院におかれた自己評価委員会がその任に当たる。各学部の自己評価委員会は、学部長、教務部長、学生部長、および数名の教員から構成されている。評価項目は、杏林大学自己点検・評価規程（平成11年11月制定）によって定められた12項目にわたる。すなわち、教育理念及び教育目標に関すること。教育研究上の組織に関すること。学生の受け入れに関すること。教育課程に関すること。研究活動に関すること。教員組織に関すること。施設・設備に関すること。図書等の資料及び図書館に関すること。学生生活への配慮に関すること。

経理運営に関すること。自己点検・評価の組織体制に関すること。その他必要な事項。以上の12項目である。評価委員会がまとめた結果は、大学評議会に報告され、大学評議会の依頼に基づき自己点検・自己評価編集委員会が「杏林大学の現況」を作成している。「杏林大学の現況」は平成5年度より毎年発行されている。

自己点検・評価結果の客観性・妥当性を確保するために、平成6年に大学基準協会の維持会員加盟判定審査を、平成13年に同協会の相互評価を受け、助言等の指導を受けた。

平成20年度には大学基準協会の大学認証評価を受審し、ほぼ7年毎に外部者による評価を受けており、またその結果を公表している。

ト 情報の提供

[教育研究活動の状況に関する情報の提供]

学部および学科の理念・目的は大学案内、ホームページ、さらに学生に配布する「履修案内」に掲載し周知を図っている。カリキュラム、シラバス、学則や履修規程等の諸規程については、ホームページや「履修案内」で情報を提供している。専任教員のプロフィールは、ホームページや独立行政法人科学技術振興機構のReaDに、研究成果や教育活動については、独立行政法人科学技術振興機構のReaDおよび年一回刊行する「杏林大学外国語学部紀要」「杏林大学の現況」に掲載している。

定員、学生数、教員数等の大学の基本的な情報については、ホームページや「杏林大学の現況」に掲載し、周知を図っている。自己点検報告書は、「杏林大学の現況」、大学基準協会の認証評価受審のための「杏林大学の点検・自己評価報告書」を冊子にまとめ公表するとともに、ホームページで公開している。

設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況報告書については、学園本部で個人情報に関する部分を除いて閲覧できる。なお、本届出書については、設置の趣旨、科目表などを中心に大学ホームページで公開する予定である。

ナ 授業内容方法の改善を図るための組織的な取組

全学的取組として、学生による授業評価アンケートを各学期末に実施し、教員の授業改善に活用している。また、外部評価者を招いてFDに関するシンポジウムや講演会を実施し、教員の参加を義務づけている。さらに2年間の試行期間を経て、平成22年度より教員評価制度が全学的に導入され、教員の資質の維持向上をはかることになっている。

外国語学部 of 学部内研究会「Academia」は、研究発表部門と教育開発部門からなり、教育改善のための研修の場となっている。

外国語学部では、毎年、新年度を迎える時期に、専任教員と非常勤講師が連絡会を開き、授業内容についての詳細な打ち合わせや検討を行う場としている。

中国語教育の担当教員は、1～2年次の基礎教育の各クラスの担当内容について、各学期末に報告書を提出し、その後、当該担当者全員にフィードバックすることで、授業改善に役立てている。

ニ 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

[教育課程内の取組について]

社会人基礎力の涵養のために、科目を配置し、社会倫理の養成、ICT指導、就業意識向上のための指導を行っていく。

1年次には、「ホスピタリティ実習」、2年次には「キャリア指導」、3年次には「キャリア指導」の各科目を必修として設置している。また、選択科目として「インターンシップ」をおき、社会における実践の場での学習や、社会人基礎力の涵養のための集中研修などを企画する。

3年次からは、全員が必修でゼミナールに所属する。ゼミナール担当教員を通してきめ細かい指導を行う。(資料3参照)

[教育課程外の取組について]

大学のキャリアサポートセンターにおいて各種の研修会や資格講座の取組がなされている。支援プログラムには、個人面接、エニアグラム、新入生キャリアガイダンス、ジョブカフェ(企業の採用担当者が来学して業界説明や採用情報を話すもの)、ジョブスタディ(企業見学)、就職対策ミニ講座、女子学生魅力アップガイダンス、プレゼミ講座、ゼミ出張講座、学内資格講座、模擬面接、インターンシップ、就職ガイダンス、模擬テスト(SPI・一般常識)、エントリーシート対策講座、就活力徹底セミナー、学内合同企業説明会、The 模擬面接(集団・個人)などがある。

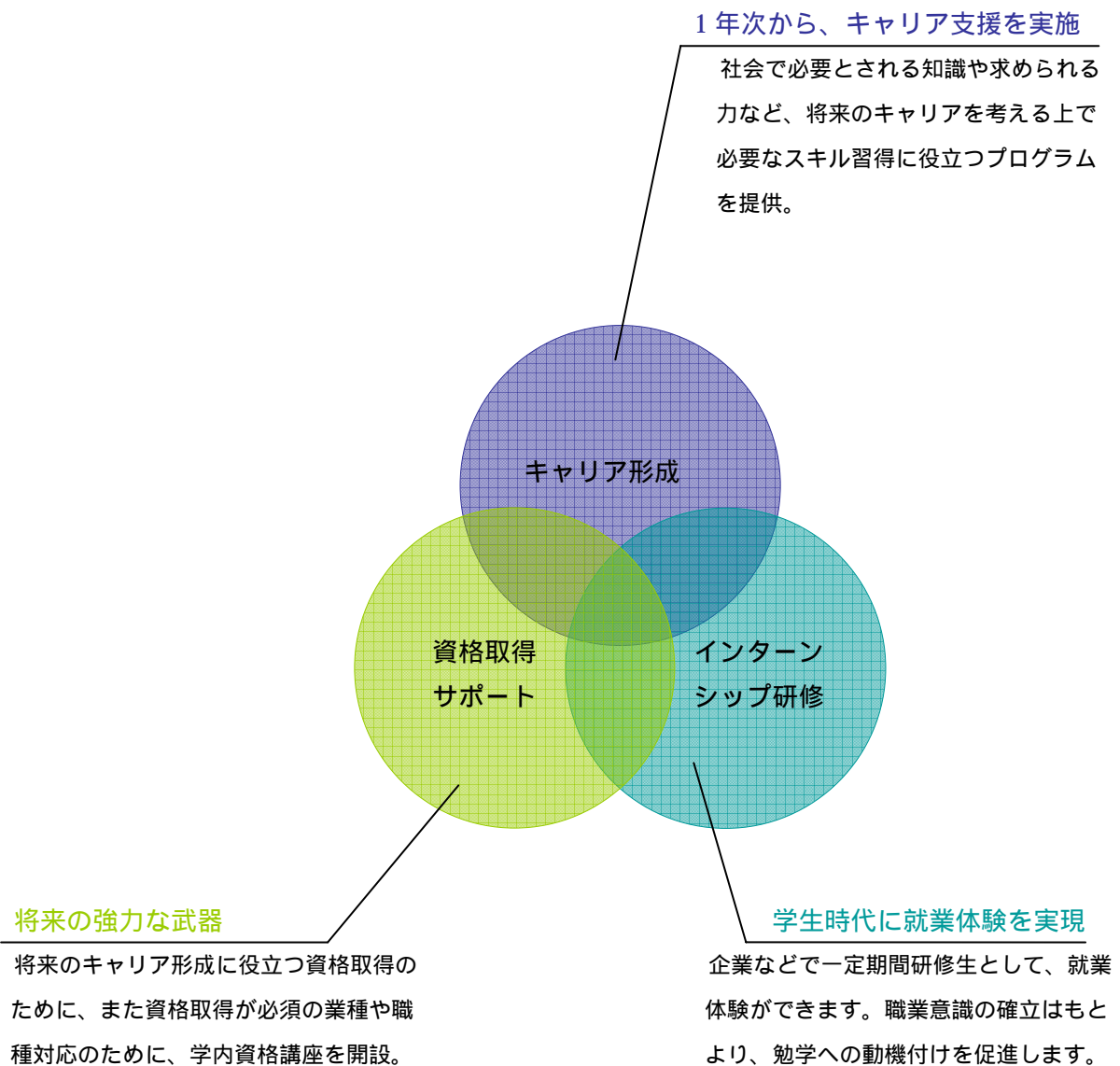
学内資格講座には、公務員教養講座、公務員総合講座、旅行業務取扱管理者講座、TOEIC集中講座、Basic英会話講座、ファイナンシャルプランニング検定講座、色彩能力検定講座、販売士講座、ビジネス基礎・マナー講座、英語表現鋼材(基礎・応用)、パソコン技能種検定講座、などがある。

これらの取組が評価され、平成21年度のGP、文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援プログラムに本学の「初年次からの就業意識醸成・キャリアスキルアッププログラム」が

採択された。これによって、いっそうの体系的な取組が促進されることになった。

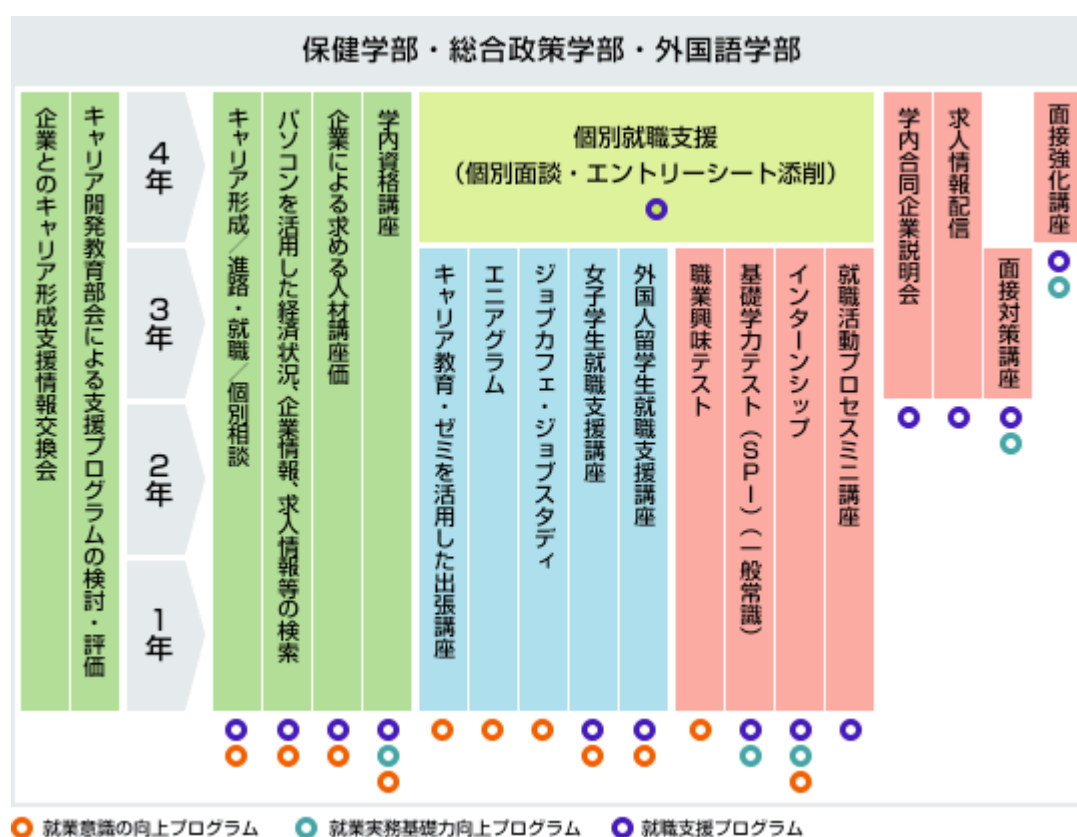
[適切な体制の整備について]

「将来なりたい自分像」へのキャリア支援の全体像は次のように図示できる。



また、GP にも採択された「初年次からの就業意識醸成・キャリアスキルアッププログラム」として、学部を超えてキャリアサポートセンターでは次のような設定で体制の整備をしている。

この取り組みでは、社会に有用な人材を輩出するという、社会のニーズに応え得る実践的能力を身につけた学生を育てること主たる目的においてプログラムを推進している。そのための施策として就業意識の向上と就業実務能力向上をめざしたキャリア教育の充実を図ることを中軸に据え、知識教育だけにとどまらない体験学習を織り込んだ総合的な学習プログラムをプランし、最終的には就職率の向上につなげることに狙いを置いて展開する。現在、本取り組みの目的である就業意識の涵養並びに就業基礎力の習熟度が1年次から4年次と段階的に図れるようにプログラム構成を考慮して実施を進めている。具体的には、就業意識開発演習、適職診断テスト、就職実践セミナー等のプログラムを実施して就職マインドの醸成を図り、一方ではパソコンを用いたネットワーク活用によるスキル研修により就職基礎力向上に取り組んでいる。



(杏林大学ホームページより)

資料 1

1. 一年次入学生用「履修モデル」(総取得単位 124 単位の場合)

(1) 中国語初心者で入学、将来通訳者翻訳者として活躍する人材

一年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	経済原論	選択	2
1 後	専門関連科目 A	経済原論	選択	2
1 前	専門関連科目 A	中国史 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	中国史 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	言語と文化 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	言語と文化 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 1	必修	2
1 後	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 2	必修	2
1 前	専門関連科目 A	基礎演習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	基礎演習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 C	心理学 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 C	心理学 - 2	選択	2

二年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	異文化コミュニケーション	必修	2
2 後	専門科目 A	日本文化論	選択	2
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
2 後	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
2 前	専門科目 B	中国語学概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語学概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国文学史 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	中国文学史 - 2	選択	2
2 前	専門科目 B	日中比較文化論 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	日中比較文化論 - 2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	地域圏研究 - 1	選択	2
2 後	専門関連科目 A	地域圏研究 - 2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 後	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
2 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	中国語文章表現法 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語文章表現法 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2

3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	時事中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	時事中国語 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	商業中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	商業中国語 - 2	選択	1
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
4 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2

(2) 中国語初心者で入学、将来幅広く日中交流の現場で活躍する人材

一年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1

1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	中国史 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	中国史 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	言語と文化 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	言語と文化 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 1	必修	2
1 後	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 2	必修	2
1 前	専門関連科目 A	基礎演習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	基礎演習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 C	文学 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 C	文学 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 C	音楽 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 C	音楽 - 2	選択	2

二年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1

2 前	専門科目 A	異文化コミュニケーション	必修	2
2 後	専門科目 A	日本文化論	選択	2
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
2 後	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
2 前	専門科目 B	中国語学概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語学概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国文学史 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	中国文学史 - 2	選択	2
2 前	専門科目 B	中国古典概説 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	中国古典概説 - 2	選択	2
2 前	専門科目 B	日中比較文化論 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	日中比較文化論 - 2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 後	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
2 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	中国語文章表現法 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語文章表現法 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	時事中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	時事中国語 - 2	選択	1

3 前	専門科目 B	商業中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	商業中国語 - 2	選択	1
3 前	専門関連科目 A	地域圏研究 - 1	選択	2
3 後	専門関連科目 A	地域圏研究 - 2	選択	2
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
4 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2

(3) 中国語既習者(入学時に中国語中級レベル)で通訳者翻訳者として活躍する人材 一年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	経済原論	選択	2
1 後	専門関連科目 A	経済原論	選択	2
1 前	専門関連科目 A	中国史 - 1	選択	2

1 後	専門関連科目 A	中国史 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	言語と文化 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	言語と文化 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 1	必修	2
1 後	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 2	必修	2
1 前	専門関連科目 A	基礎演習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	基礎演習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 C	心理学 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 C	心理学 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 C	情報処理	選択	2

二年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	異文化コミュニケーション	必修	2
2 後	専門科目 A	日本文化論	選択	2
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 B	中国語学概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語学概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
2 前	専門関連科目 A	地域圏研究 - 1	選択	2
2 後	専門関連科目 A	地域圏研究 - 2	選択	2

2 前	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 後	専門関連科目 A	国際関係論	選択	2
2 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
2 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	発展英語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	発展英語 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	中国語文章表現法 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語文章表現法 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	中国経済概論 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	中国経済概論 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	中国政治外交論	選択	2
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	時事中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	時事中国語 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	商業中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	商業中国語 - 2	選択	1
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1

(4) 中国語既習者(入学時に中国語中級レベル)で幅広く日中交流の現場で活躍する人材
一年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
1 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
1 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	中国史 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	中国史 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	言語と文化 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 A	言語と文化 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 1	必修	2
1 後	専門関連科目 A	コミュニケーション概論 - 2	必修	2
1 前	専門関連科目 A	基礎演習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	基礎演習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 1	必修	1
1 後	専門関連科目 A	ホスピタリティ実習 - 2	必修	1
1 前	専門関連科目 C	文学 - 1	選択	2

1 後	専門関連科目 C	文学 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 C	音楽 - 1	選択	2
1 後	専門関連科目 C	音楽 - 2	選択	2
1 前	専門関連科目 C	情報処理	選択	2

二年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	英語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	英語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門外国語科目	中国語 - 1	必修	1
2 後	専門外国語科目	中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	異文化コミュニケーション	必修	2
2 後	専門科目 A	日本文化論	選択	2
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 1	必修	1
2 後	専門科目 A	インテンシブ中国語 - 2	必修	1
2 前	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
2 前	専門科目 B	中国語学概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語学概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
2 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
2 前	専門科目 B	日中比較文化論 - 1	選択	2
2 後	専門科目 B	日中比較文化論 - 2	選択	2
2 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
2 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	発展英語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	発展英語 - 2	選択	1

3 前	専門科目 A	中国語文章表現法 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語文章表現法 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国文学史 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	中国文学史 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	中国古典概説 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	中国古典概説 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
3 前	専門関連科目 A	地域圏研究 - 1	選択	2
3 後	専門関連科目 A	地域圏研究 - 2	選択	2
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1
3 前	専門関連科目 C	心理学 - 1	選択	2
3 後	専門関連科目 C	心理学 - 2	選択	2

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 後	専門科目 A	実用中国語演習	選択	1
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
4 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2
4 前	専門関連科目 A	英語特論 - 1	選択	2
4 後	専門関連科目 A	英語特論 - 2	選択	2

資料 2

2. 編入学生用「履修モデル」(総取得単位 124 単位の場合 うち 62 単位は入学時に認定済み)

(1) 日本語母語話者で、日中交流の場で活躍する人材

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	日中比較文化論 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中比較文化論 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	時事中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	時事中国語 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	商業中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	商業中国語 - 2	選択	1
3 前	専門科目 A	発展英語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 A	発展英語 - 2	選択	1
3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 A	中国語文章表現法 - 1	選択	1
4 後	専門科目 A	中国語文章表現法 - 2	選択	1

4 前	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 1	選択	1
4 後	専門科目 A	中国語聴解・討論 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
4 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
4 前	専門科目 B	中国経済概論 - 1	選択	2
4 後	専門科目 B	中国経済概論 - 2	選択	2
4 後	専門科目 B	アジア経済論	選択	2
4 前	専門科目 B	中国政治外交論	選択	2
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1

(2) 中国語母語話者で、日中交流の場で活躍する人材

三年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
3 前	専門科目 A	ゼミナール - 1	必修	2
3 後	専門科目 A	ゼミナール - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語音声学 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語音声学 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語通訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語通訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語翻訳概論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 1	必修	2
3 後	専門科目 B	中国語コミュニケーション論 - 2	必修	2
3 前	専門科目 B	日中比較文化論 - 1	選択	2
3 後	専門科目 B	日中比較文化論 - 2	選択	2
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
3 前	専門科目 B	商業中国語 - 1	選択	1
3 後	専門科目 B	商業中国語 - 2	選択	1
3 前	専門関連科目 A	言語と文化 - 1	選択	2
3 後	専門関連科目 A	言語と文化 - 2	選択	2

3 前	専門関連科目 A	キャリア指導 - 1	必修	1
3 後	専門関連科目 A	キャリア指導 - 2	必修	1

四年次

年次	科目区分	科目名	必修選択	単位数
4 前	専門科目 A	ゼミナール - 3	必修	2
4 通	専門科目 A	卒業論文・課題指導	選択	4
4 前	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 1	選択	2
4 後	専門科目 B	日中コミュニケーション研究 - 2	選択	2
4 前	専門科目 B	中国経済概論 - 1	選択	2
4 後	専門科目 B	中国経済概論 - 2	選択	2
4 前	専門科目 B	中国政治外交論	選択	2
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 前	専門科目 B	実践中国語演習 - 1	選択	1
4 後	専門科目 B	実践中国語演習 - 2	選択	1
4 後	専門関連科目 D	日本語音声学	選択	2
4 前	専門関連科目 D	日本人の言語行動	選択	2
4 後	専門関連科目 D	異文化理解とコミュニケーション	選択	2

資料3

担当教員	木崎 英司
科目	ホスピタリティ実習 - 1
授業概要	ホスピタリティに関する基礎知識ならびに実践スキル、基本マナーの演習を行う。 基礎知識として、ホスピタリティの起源・文化・構成要素などから考察し、サービス概念との比較から学ぶ。実践スキルの演習として、基礎表現法と応用表現法をトレーニングする。基礎表現では、身だしなみ・表情・話し方・挨拶・立ち居振る舞いのトレーニングを実施する。応用表現では、ビジネス電話対応、訪問・来客対応の演習を実施する。基本マナーでは、敬語・文書・メール・挨拶状・冠婚葬祭場面のワークを行う。
到達目標	ホスピタリティの理解および体現化に向けて、各種の方法論や実効的な検証により、知識を深め、各自の心（ホスピタリティ・マインド）を志向し、表現法（実践スキル）の習得を到達目標とする。この習得により、人との関わり方において、ビジネスや接客、就職活動の場面で活用することができる。
授業計画	第1回： オリエンテーション ～今、なぜホスピタリティなのか～ 第2回： ホスピタリティの概念 第3回： ホスピタリティとサービスの概念比較 第4回： CS活動の重要性 第5回： ホスピタリティ基本表現法1（身だしなみ、表情、話し方） 第6回： ホスピタリティ基本表現法2（立ち居振る舞い、挨拶） 第7回： 基本動作の演習 第8回： マナーの基礎知識 第9回： 敬語、ビジネス電話対応 第10回： 訪問のマナー 第11回： 来客対応 第12回： 文書、メール、挨拶状、冠婚葬祭 第13回： 理解度チェック（筆記試験） 第14回： スキルチェック（実技試験） 第15回： 全体のまとめ
準備学習	知識に関しては、各章のまとめをワークシートにて確認すること。 実技に関しては、実施したトレーニングは正確な手順を体で覚えられるよう練習すること。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。プリントは適宜配布する。
参考書	「ホスピタリティ」 商業界 服部勝人著 「ホスピタリティ学のすすめ」 丸善株式会社
評価方法	筆記試験 30%、実技試験 30%、平常点 40%により総合的に評価する。

担当教員	木崎 英司
科目	ホスピタリティ実習 - 2
授業概要	近年、さまざまな企業において「ホスピタリティ」という言葉が数多く使われている。ホスピタリティはサービスよりも新しい概念である。「ホスピタリティとは何か」本科目では、この問いを明らかにすることをテーマとし、経営的視点、社会倫理的視点からのアプローチによる、ホスピタリティの社会的実践の可能性を探求する。
到達目標	ホスピタリティの理解および体現化に向けて、各種の方法論や実効的な検証により、知識を深め、各自の心（ホスピタリティ・マインド）を志向し、表現法（実践スキル）の習得を到達目標とする。この習得により、人との関わり方において、ビジネスや接客、就職活動の場面で活用することができる。
授業計画	第1回： オリエンテーション ～ホスピタリティ・コミュニケーションについて～ 第2回： ノンヴァーバル・コミュニケーション 第3回： ヴァーバル・コミュニケーション 第4回： 情報の共有、意見の提供 第5回： ディスカッションの基礎知識 第6回： プレゼンテーションの基礎知識 第7回： ディスカッションの実践（グループワーク） 第8回： プレゼンテーションの準備（グループワーク） 第9回： プレゼンテーションの実践（グループワーク） 第10回： グループワークにおけるホスピタリティ実践行動の振り返り 第11回： CSの重要性（前期復習）とクレーム対応法 第12回： クレーム事例研究 第13回： 理解度チェック（筆記試験） 第14回： 実践スキルのチェック（実技試験） 第15回： 全体のまとめ
準備学習	知識に関しては、各章のまとめをワークシートにて確認すること。 実技に関しては、学んだ内容を日常のコミュニケーションで実践する機会をもつこと。
テキスト	パワーポイントを使用して授業を行う。プリントは適宜配布する。
参考書	
評価方法	筆記試験 30%、実技試験 30%、平常点 40%により総合的に評価する。

担当教員	井上 俊治
科目	キャリア指導Ⅰ - 1
授業概要	<p>授業概要 授業形態は以下の3種類の組合せとなる。</p> <p>各分野の第一線で活躍する人たちを外部講師として招聘し講義していただく。</p> <p>各分野で活躍する卒業生による講義。</p> <p>就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。</p> <p>これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる</p>
到達目標	大学生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。
授業計画	<p>外部講師の依頼をおこなう関係から、講義開始時にスケジュール表を配布する。おおむね以下の講義を予定している。</p> <p>社会人としてのマナー講座</p> <p>論説員による新聞の読み方。</p> <p>業界人事担当者からみた日本経済。</p> <p>卒業生と語る。</p> <p>一般常識テスト・SPI テストによる実力判定及びその指導。</p> <p>各講座は、それぞれに複数回に及ぶことになる。</p>
準備学習	各学科担当講師により、重きを置く項目が異なるので、小グループに分かれた時の講師のアナウンスを傾聴しそれに従った準備をして授業に臨むこと。
テキスト	『2011年度版就活 JUMP の一般常識問題集』ユーキャン就職試験研究会（著）自由国民社
参考書	
評価方法	<p>出席 35%</p> <p>各学科内でのレポート提出 30%</p> <p>就職用テストの成績 35%</p> <p>以上を総合的に評価する。パーセンテージ内訳は目安なので、各学科の担当講師により異なる場合がある。</p>

担当教員	井上 俊治
科目	キャリア指導Ⅰ - 2
授業概要	<p>授業形態は以下の3種類の組合せとなる。</p> <p>各分野の第一線で活躍する人たちを外部講師として招聘し講義していただく。</p> <p>各分野で活躍する卒業生による講義。</p> <p>就職活動に必要な実力を開発するための各種試験の実施。</p> <p>これらを踏まえた上で、学科の枠を越えて現代社会を学ぶ時間と、各学科の特性に合う講義を組み合わせる。</p>
到達目標	大学生活の中で自分の進路を模索するための材料を様々な形で提供する。
授業計画	<p>外部講師の依頼をおこなう関係から、講義開始時にスケジュール表を配布する。おおむね以下の講義を予定している。</p> <p>社会人としてのマナー講座</p> <p>論説員による新聞の読み方。</p> <p>業界人事担当者からみた日本経済。</p> <p>卒業生と語る。</p> <p>一般常識テスト・SPI テストによる実力判定及びその指導。</p> <p>各講座は、それぞれに複数回に及ぶことになる。</p>
準備学習	各学科担当講師により、重きを置く項目が異なるので、小グループに分かれた時の講師のアナウンスを傾聴しそれに従った準備をして授業に臨むこと。
テキスト	『一般常識 THE BEST 2011 年度版』芝原 信幸 (著), 吉母 淳 (著) 一ツ橋書店
参考書	
評価方法	<p>出席 35%</p> <p>各学科内でのレポート提出 30%</p> <p>就職用テストの成績 35%</p> <p>以上を総合的に評価する。パーセンテージ内訳は目安なので、各学科の担当講師により異なる場合がある。</p>

担当教員	柳田 義男
科目	キャリア指導ⅠⅠ-1
授業概要	現代日本理解促進のために用意され、一連のテーマの開講と講演によって構成される実学的教養科目である。激変する政治・経済・社会に対する活きた知識と認識座標の獲得は社会人予備軍としての学生諸君に必要であり、講義を通じて社会人基礎力の涵養に努め、将来の進路選択や生活設計を自ら考える動機を用意する。
到達目標	毎回ではないが実業界から講師を招き、実業社会知識醸成及び就職活動上の情報集積の場とする。実業の世界では「異業種」に学ぶということがごく普通に行われている。自分にとって関心のない業界、進路としない業界であっても、そこから学ぶことはたくさんあるはずである。
授業計画	第1回： 授業計画説明キャリアガイダンス(20分) 第2回： 新聞の読み方 第3回： マナー講座 第4回： 企業の採用戦略(就職環境を知る) 第5回： 公務員を目指す為に 第6回： 業界研究 旅行業界 第7回： 業界研究 金融業界 第8回： 業界研究 ホテル業界 第9回： マナー講座 第10回： 就職情報誌の登録 第11回： キャリアガイダンス自己分析・業界研究のコツ 第12回： リクルートスーツの選び方 第13回： 卒業生による就職体験記 第14回： 就職模擬試験(一般常識) 第15回： まとめ
準備学習	毎回、次回の授業に向けて適宜指示を行う。
テキスト	適時プリント、小冊子を配布する。
参考書	
評価方法	出席回数、受講姿勢、(60点) 受講ノート、レポート(20点)、模擬試験(20点)などの結果を総合的に評価する。 毎回ではないが講義後に受講ノートの提出を求められることがあるので、カーボンペーパーを使って自分用コピーを残すことを勧める。出席不良者の受講・受験を認めない。

担当教員	柳田 義男
科目	キャリア指導ⅠⅠ-2
授業概要	春学期に引き続いて実業各界(マスメディア・外交・航空・旅行・ホテル・外食・流通・不動産など)から講師を招き、最新の企業情報と企業経営の実際などについて学ぶ。
到達目標	就職活動開始を間じかに控え、実業社会の生きた情報に接することで就業意識の向上を図ることを目的とする。同様に実業社会で求められる一般知識・教養・マナーについても学びながら、人格陶冶を図る。
授業計画	第1回： 業界研究の仕方と履歴書の書き方 第2回： キャリアガイダンス 第3回： 就職模擬試験(SPI) 第4回： 企業が求める人材像(社会人基礎力の必要性) 第5回： マナー講座 第6回： 業界研究 放送業界 第7回： 業界研究 建設(建材卸売)業界 第8回： 業界研究 住宅業界 第9回： 業界研究 製造(家電)業界 第10回： 先輩からのメッセージ 第11回： 内定をとる条件とは 第12回： マナー講座 第13回： テスト 第14回： キャリアガイダンス実践：履歴書の書き方 第15回： まとめ
準備学習	毎回、次回の授業に向けて指示を行う。
テキスト	毎時間、講師の先生の手作りのプリントを講義開始時に配布します。
参考書	
評価方法	各時間の出席状況 60 点、レポート提出 30 点、就職用試験結果 10 点を、基準に柔軟に採点します。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月) (任期)
-	学 長	アミ ヲカ 跡見 裕 <平成22年4月>		医学博士		杏林大学長 (平22. 4)

教 員 の 氏 名 等												
(外国語学部中国語学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 過当たり平 均 日 数
1	専	教授	イノウエ シュンジ 井上 俊治 <平成23年4月>		文学士		インテンス中国語 - 1 インテンス中国語 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 中国語翻訳概論 - 1 中国語翻訳概論 - 2 キャリア指導 - 1 キャリア指導 - 2	1前 1後 3前 3後 4前 4通 2前 2後 2前 2後	1 1 2 2 2 4 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	富士通総合技術有限公 司(昭和53年4月)	4日
2	専	教授	キンダイチ ヒデホ 金田一 秀穂 <平成23年4月>		文学 修士		日本語学概論 日本語文法論	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	4日
3	専	教授	セン ミツエ 倉 満江 <平成23年4月>		博士 (文学)		インテンス中国語 - 1 インテンス中国語 - 2 インテンス中国語 - 1 インテンス中国語 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 中国文学史 - 1 中国文学史 - 2 日中比較文化論 - 1 日中比較文化論 - 2 口語中国語 - 1 口語中国語 - 2	1前 1後 1前 1後 3前 3後 4前 4通 2前 2後 2前 2後 1前 1後	1 1 1 1 2 2 2 4 2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	4日
4	専	教授	タムムラ ヨシオ 玉村 禎郎 <平成23年4月>		博士 (文学)		日本文化論 日本語意味論 日本語語彙論 日本人の言語行動	2後 1前 1後 1前	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	4日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学の職務に 従事する 週当たり平均 日 数
5	専	教授	ツカモト ヒロ 塚本 尋 <平成23年4月>		文学 修士		ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 中国語音声学 - 1 中国語音声学 - 2 中国語コミュニケーション論 - 1 中国語コミュニケーション論 - 2 口語中国語 - 1 口語中国語 - 2	3前 3後 4前 4通 3前 3後 3前 3後 1前 1後	2 2 2 4 2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 教授 (平成18年4月)	4日
6	専	講師	アヲシ(カガリ)ヨウコ 嵐(田川) 洋子 <平成23年4月>		博士 (文学)		日本語 - 2 日本語教育概説 日本語音声学 日本語教育演習	1後 1前 1後 1前	1 2 2 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	4日
7	専	講師	チノ マリコ 千野 万里子 <平成23年4月>		学術 修士		中国語 - 1 中国語 - 2 インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2 実用中国語演習 実用中国語演習 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 基礎演習 - 1 基礎演習 - 2 口語中国語 - 1 口語中国語 - 2	2前 2後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4通 1前 1後 2前 2後	2 2 1 1 1 1 2 2 2 4 1 1 1 1	2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	4日
8	専	講師	チヨン ヨンスク 鄭 英淑 <平成23年4月>		博士 (文学)		異文化コミュニケーション 地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 日本語文字表記概説	2前 2前 2後 1前	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成18年4月)	4日
9	専	講師	アラカ(ハシモト)ミドリ 荒川(橋本) みどり <平成23年4月>		西洋史学 修士		日本語教授法概論 日本語史 日本語学演習	1前 1後 1後	2 2 1	1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成19年4月)	4日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 過当たり平 均 日 数
10	専	講師	チヨウ コウ (ミヤクビヒロコ) 張 弘 (宮首 弘子) <平成23年4月>		文学士		インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2 インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2 インテンシブ中国語 - 2 ゼミナール - 1 ゼミナール - 2 ゼミナール - 3 卒業論文・課題指導 中国語通訳概論 - 1 中国語通訳概論 - 2 時事中国語 - 1 時事中国語 - 2 口語中国語 - 1 口語中国語 - 2	1前 1後 1前 1前 1後 1後 3前 3後 4前 4通 2前 2後 3前 3後 2前 2後	1 1 1 1 1 1 2 2 2 4 2 2 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 中国語・日本語学科 講師 (平成19年4月)	4日
11	兼任	教授	エド ジュンコ 江戸 淳子 <平成23年4月>		博士 (歴史学)		地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2	2前 2後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 教授 (平成18年4月)	
12	兼任	教授	サカモト ロビン 坂本 ロビン <平成23年4月>		博士 (教育学)		英語総合講座 - 1	1前	2	1	杏林大学外国語学部 英語学科 教授 (平成22年4月)	
13	兼任	教授	クサヤ シゲトシ 楠家 重敏 <平成23年4月>		文学 修士		比較文化論 - 1 比較文化論 - 2	2前 2後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成18年4月)	
14	兼任	教授	ハセガワ ヒロコ 長谷川 弘子 <平成23年4月>		修士 (文学)		ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2 ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2 文学 - 1 文学 - 2	2前 2後 3前 3後 1前 1後	1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 教授 (平成21年4月)	
15	兼任	教授	キザキ エイジ 木崎 英司 <平成23年4月>		修士 (経営学)		ホスピタリティ実習 - 1 ホスピタリティ実習 - 2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 教授 (平成22年4月)	
16	兼任	教授	コヤマ サブロー 小山 三郎 <平成23年4月>		博士 (法学)		比較文化論 - 1 比較文化論 - 2 地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2	2前 2後 2前 2後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 教授 (平成22年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等に 従事する 週当たり平 均 日 数
17	兼担	教授	ホンダ ヒロユキ 本田 弘之 <平成23年4月>		修士 (学術)		言語と文化 - 1 言語と文化 - 2 日本語教材教具論 日本語教授法演習 日本語教育実習	1前 1後 1前 1後	2 2 2 1 1	1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 教授 (平成22年4月)	
18	兼担	教授	ヤナギダ ヨシオ 柳田 義男 <平成23年4月>		修士 (観光学)		キャリア指導 - 1 キャリア指導 - 2 インターンシップ	3前 3後 2後	1 1 1	1 1 1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 教授 (平成22年4月)	
19	兼担	教授	カワスミ イワオ 川澄 岩雄 <平成23年4月>		工学 博士		物理学 - 1 物理学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成3年4月)	
20	兼担	教授	ニシ タカシ 西 孝 <平成23年4月>		経済学 修士		経済原論 経済原論	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 教授 (平成14年4月)	
21	兼担	准教授	イワモト カズヨシ 岩本 和良 <平成23年4月>		Teaching English to Speakers of Other Languages (米国)		英語 - 1 英語 - 2 口語英語 - 1 口語英語 - 2	2前 2後 1前 1後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成21年4月)	
22	兼担	准教授	クラバヤシ ヒデオ 倉林 秀男 <平成23年4月>		Applied Linguisti cs(豪州)		口語英語 - 1 口語英語 - 2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成21年4月)	
23	兼担	准教授	タカギ マサコ 高木 眞佐子 <平成23年4月>		修士 (文学)		英語 - 1 英語 - 2 インターンシップ 口語英語 - 1 口語英語 - 2	1前 1後 2前 1前 1後	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 准教授 (平成18年4月)	
24	兼担	准教授	イアン B.M. ランバ ート IAIN B.M. LAMBERT <平成23年4月>		Applied Linguisti cs Masters (米国)		クリエイティブ・コミュニケーション論 - 1 クリエイティブ・コミュニケーション論 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 応用コミュニケーション学科 准教授 (平成21年4月)	
25	兼担	准教授	フルモト ヤスユキ 古本 泰之 <平成23年4月>		修士 (観光学)		インターンシップ	2後	1	1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 准教授 (平成22年4月)	
26	兼担	准教授	カトウ トモヒサ 加藤 誠久 <平成23年4月>		理学 修士		数学 - 1 数学 - 2 統計学 - 1 統計学 - 2	1前 1後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成8年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 週当たり平 均 日 数
27	兼担	准教授	ヒラオカ アツシ 平岡 厚 <平成23年4月>		理学 博士		化学 - 1 化学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)	
28	兼担	准教授	イトウ アツシ 伊藤 敦司 <平成23年4月>		法学 修士		法学	1前	2	1	杏林大学総合政策学部 企業経営学科 准教授 (平成18年4月)	
29	兼担	准教授	イワクマ ミチヒロ 岩隈 道洋 <平成23年4月>		修士 (法学)		日本国憲法	1後	2	1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成21年4月)	
30	兼担	准教授	サイトウ タカシ 斉藤 崇 <平成23年4月>		博士 (経済学)		経済学 - 1 経済学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成22年4月)	
31	兼担	准教授	ワタナベ タケシ 渡辺 剛 <平成23年4月>		修士 (法学)		中国政治外交論	3前	2	1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成19年4月)	
32	兼担	講師	ヤギハシ ヒロシ 八木橋 宏勇 <平成23年4月>		修士 (文学)		コミュニケーション概論 - 1 コミュニケーション概論 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 英語学科 講師 (平成21年4月)	
33	兼担	講師	イデ タクロウ 井手 拓郎 <平成23年4月>		修士 (観光学)		インターンシップ	2前	1	1	杏林大学外国語学部 観光交流文化学科 講師 (平成22年4月)	
34	兼担	講師	マツイ トモコ 松井 知子 <平成23年4月>		博士 (保健学)		心理学 - 1 心理学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 講師 (平成21年4月)	
35	兼担	講師	マツモト セイジ 松本 誠治 <平成23年4月>		理学士		生物学 - 1 生物学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成22年4月)	
36	兼担	講師	クノ アラタ 久野 新 <平成23年4月>		修士(政 策・メ ディア)		アジア経済論	3後	2	1	杏林大学総合政策学部 総合政策学科 講師 (平成22年4月)	
37	兼任	講師	イジマ(クニマツ) ヒトミ 飯島(國松) ひとみ <平成23年4月>		修士 (教育学)		日本語 - 1 日本語 - 2	2前 2後	2 2	2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成15年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 過当たり平 均 日 数
38	兼任	講師	イタバシ タカコ 板橋 貴子 <平成23年4月>		修士(日 本語教育 学)		日本語 - 1 日本語 - 2 日本語 - 1 日本語 - 2	1前 1後 2前 2後	1 1 2 1	1 1 2 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成18年1月)	
39	兼任	講師	エンドウ コウスケ 遠藤 祐介 <平成23年4月>		修士 (文学)		中国語 - 1 中国語 - 2 実践中国語演習 - 1 実践中国語演習 - 2	1前 1後 4前 4後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
40	兼任	講師	オグラ ヒデタカ 小倉 英敬 <平成23年4月>		文学 修士		地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2 国際関係論 国際関係論 スペイン語 - 1 スペイン語 - 2	2前 2後 2前 2後 3前 3後	2 2 2 2 1 1	1 1 1 1 1 1	神奈川大学 教授 (平成22年4月)	
41	兼任	講師	カ ウケイ (カン カウケイ) 夏 宇継 (関 夏宇継) <平成23年4月>		文学 学士		中国語文章表現法 - 1 中国語文章表現法 - 2 中国語聴解・討論 - 1 中国語聴解・討論 - 2	3前 3後 3前 3後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成3年4月)	
42	兼任	講師	カキヌマ ツトム 柿沼 勉 <平成23年4月>		文学士		インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2 インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2 インドネシア語 - 1 インドネシア語 - 2	2前 2後 2前 2後 3前 3後	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成9年4月)	
43	兼任	講師	カタヨセ コウキ 片寄 浩紀 <平成23年4月>		法学士		中国経済概論 - 1 中国経済概論 - 2	3前 3後	2 2	1 1	日本国際貿易促進協会 専務理事 (昭和43年4月)	
44	兼任	講師	カトウギ ヨシフミ 加藤木 能文 <平成23年4月>		教育学 修士		英語 - 1 英語 - 2	2前 2後	1 1	1 1	中央大学 准教授 (平成5年4月)	
45	兼任	講師	カラサワ コウイチ 唐澤 晃一 <平成23年4月>		修士 (文学)		西洋史 - 1 西洋史 - 2 歴史学 - 1 歴史学 - 2	1前 1後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
46	兼任	講師	カワスミ ユキコ 河住 有希子 <平成23年4月>		修士(日 本語教育 学)		異文化理解とコミュニケーション	1後	2	1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成17年4月)	
47	兼任	講師	キノシタ ケイジ 木下 恵二 <平成23年4月>		修士 (法学)		インテンシブ中国語 - 1 インテンシブ中国語 - 2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成1年1月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等に 従事する 週当たり平 均 日 数
48	兼任	講師	キヨスエ イツコ 清末 逸子 <平成23年4月>		修士 (教育学)		日本語 - 1 日本語 - 1 日本語 - 1 日本語 - 2	1前 1前 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成18年1月)	
49	兼任	講師	クチイ ナリコ 久池井 紀子 <平成23年4月>		文学 修士		日本語 - 2 日本語 - 1 日本語 - 2	1後 2前 2後	1 2 2	1 2 2	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	
50	兼任	講師	クラニシ マサコ 倉西 雅子 <平成23年4月>		修士 (法学)		地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2	2前 2後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成22年4月)	
51	兼任	講師	コウ ケイカ (ニシガイ モモエツ) 耿 景華 (西貝 百悦) <平成23年4月>		修士 (文学)		中国語 - 1 中国語 - 2 中国語 - 1 中国語 - 2 インテンスイブ中国語 - 1 インテンスイブ中国語 - 2 実用中国語演習 日中コミュニケーション研究 - 1 日中コミュニケーション研究 - 2	1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 3前 3後	1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成6年4月)	
52	兼任	講師	コグレ(ミズオカ) ミノリ 小暮(水岡) 実乃里 <平成23年4月>		修士 (学術)		日本語 - 1 日本語 - 2 日本語 - 1 日本語 - 2 試験と評価	1前 1後 2前 2後 1後	1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成17年4月)	
53	兼任	講師	サイトウ ケイコ 齋藤 圭子 <平成23年4月>		修士 (哲学)		フランス語 - 1 フランス語 - 2	2前 2後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	
54	兼任	講師	シバタ ユタカ 柴田 豊 <平成23年4月>		修士(国 際コミュ ニケー ション)		日本語 - 1 日本語 - 2	1前 1後	1 1	1 1	浦和国際教育センター 講師 (平成18年4月)	
55	兼任	講師	ジョ コウトウ (チヨウ ヨシエ) 徐 向東(張 佳恵) <平成23年4月>		修士 (文学)		インテンスイブ中国語 - 1 インテンスイブ中国語 - 2	1前 1後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成18年4月)	
56	兼任	講師	ショウジ クニコ 小路 邦子 <平成23年4月>		文学 修士		神話学 - 1 神話学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成21年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務に 従事する 過当たり平 均 日 数
57	兼任	講師	スウ ビンリ 鄒 敏俐 <平成23年4月>		文学士		中国語 - 1 中国語 - 2 中国語 - 1 中国語 - 2	2前 2後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成19年4月)	
58	兼任	講師	タイ イチネイ 戴 一寧 <平成23年4月>		修士 (学術)		実践中国語演習 - 1 実践中国語演習 - 2	3前 3後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成21年4月)	
59	兼任	講師	ダイゴ ミワコ 醍醐 美和子 <平成23年4月>		文学 修士		中国語 - 1 中国語 - 2 実用中国語演習 実践中国語演習 - 1 実践中国語演習 - 2 商業中国語 - 1 商業中国語 - 2	1前 1後 2後 3前 3後 3前 3後	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成2年4月)	
60	兼任	講師	タジマ ヒロヒサ 田島 裕久 <平成23年4月>		文学 修士		日本史 - 1 日本史 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成7年4月)	
61	兼任	講師	ダン イ 段 威 <平成23年4月>		修士 (経済学)		中国語 - 1 中国語 - 2 中国語 - 1 中国語 - 2	1前 1後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成7年4月)	
62	兼任	講師	ナガイ ミツヒト 永井 弥人 <平成23年4月>		修士 (文学)		中国古典概説 - 1 中国古典概説 - 2 中国史 - 1 中国史 - 2	2前 2後 1前 1後	2 2 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成11年4月)	
63	兼任	講師	ナカシマ メグミ 中嶋 めぐみ <平成23年4月>		文学 修士		日本語 - 1 日本語 - 2 日本語 - 2	1前 1後 2後	1 1 1	1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成13年4月)	
64	兼任	講師	ナカムラ トシユキ 中村 信幸 <平成23年4月>		文学 修士		中国語 - 1 中国語 - 2 中国語学概論 - 1 中国語学概論 - 2	1前 1後 2前 2後	1 1 2 2	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成22年4月)	
65	兼任	講師	ノト ショウジ 能登 省二 <平成23年4月>		文学 修士		フランス語 - 1 フランス語 - 2 フランス語 - 1 フランス語 - 2	2前 2後 3前 3後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成4年4月)	
66	兼任	講師	バク ミョンジュン 朴 明濬 <平成23年4月>		博士 (文学)		韓国語 - 1 韓国語 - 2 韓国語 - 1 韓国語 - 2	2前 2後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成2年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等に 従事する 週当たり平 均 日 数
67	兼任	講師	ハム ジュウワン 咸 周完 <平成23年4月>		博士 (学術)		韓国語 - 1 韓国語 - 2	3前 3後	1 1	1 1	目白大学 講師 (平成11年4月)	
68	兼任	講師	マナカ ワカエ 間中 和歌江 <平成23年4月>		修士 (文学)		英語 - 1 英語 - 2	1前 1後	1 1	1 1	東京純心女子大学 講師 (平成16年4月)	
69	兼任	講師	モリ コウセイ 森 公成 <平成23年4月>		文学 修士		ドイツ語 - 1 ドイツ語 - 2	2前 2後	1 1	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成4年4月)	
70	兼任	講師	ユハラ イチロウ 柚原 一郎 <平成23年4月>		博士 (言語学)		言語学 - 1 言語学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成2年1月)	
71	兼任	講師	ヨシダ コキヒコ 吉田 悠樹彦 <平成23年4月>		修士 (政策・メ ディア)		発展英語 - 1 発展英語 - 2 情報処理	3前 3後 1前	1 1 2	1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成21年4月)	
72	兼任	講師	リ ライ 李 蕾 <平成23年4月>		修士(人 文学)		中国語 - 1 中国語 - 2 実践中国語演習 - 1 実践中国語演習 - 2	1前 1後 4前 4後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成2年4月)	
73	兼任	講師	ゲイリー ウォーレン キャンター Gary Warren Cantor <平成23年4月>		哲学博士		地域圏研究 - 1 地域圏研究 - 2	2前 2後	2 2	1 1	中央大学 教授 (平成15年4月)	
74	兼任	講師	マリア ルルデス ドミ ニク アロンソ Maria Lourdes Domenech Alonso <平成23年4月>		B.A. English philology(西欧)		スペイン語 - 1 スペイン語 - 2 スペイン語 - 1 スペイン語 - 2	2前 2後 2前 2後	1 1 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成8年4月)	
75	兼任	講師	ポール ナイトン Paul Knighton <平成23年4月>		M.A. Philosophy (米国)		英語総合講座 - 2	1後	2	1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成9年1月)	
76	兼任	講師	ト - マス デイロン Thomas Dillon <平成23年4月>		M.A. Teaching English as a second language (米国)		英語特論 - 1 英語特論 - 2 口語英語 - 1 口語英語 - 2	1前 1後 2前 2後	2 2 1 1	1 1 1 1	杏林大学外国語学部 兼任講師 (平成16年4月)	
77	兼任	講師	オオイシ マナブ 大石 学 <平成23年4月>		修士 (文学)		哲学 - 1 哲学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成19年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担 当 単 位 数	年 間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る 大学等に 従事する 週当たり平 均 日 数
78	兼任	講師	タケイチ マサル 竹市 勝 <平成23年4月>		博士 (工学)		体育理論 体育実技 - 1 体育実技 - 2	1前 1前 1後	2 1 1	1 1 1	国土館大学 教授 (平成6年4月)	
79	兼任	講師	ナミキ カツコ 並木 和子 <平成23年4月>		博士 (史学)		宗教学 - 1 宗教学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成11年4月)	
80	兼任	講師	ハラ ケイスケ 原 啓介 <平成23年4月>		博士 (地理学)		地理学 - 1 地理学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成16年4月)	
81	兼任	講師	ハンダ ヒデシ 半田 英俊 <平成23年4月>		修士 (開発学)		政治学 - 1 政治学 - 2	1前 1後	2 2	1 1	杏林大学総合政策学部 兼任講師 (平成17年4月)	
82	兼任	講師	ヨシエ ヒデカズ 吉江 秀和 <平成23年4月>		修士 (音楽)		音楽 - 1 音楽 - 2	1前 1後	2 2	1 1	株式会社 市進学院 (平成20年10月)	